

令和5年度（2023年度）

事業報告書

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会

目次

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業	地域ネットワーク事業	・・・	1
	日野市生活支援体制整備事業	・・・	3
	介護予防・フレイル予防推進業務	・・・	8
	地域介護予防活動支援事業	・・・	10
	障害者および高齢者団体等のバス借上補助	・・・	12
	みんなといっしょの運動会（障害者運動会）	・・・	13
	日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務	・・・	13
	日野市子どもの学習・生活支援事業（ほっとも南平）	・・・	14
	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務	・・・	17
	ICT（情報通信技術）を活用したシニア支援事業	・・・	18
在宅福祉事業	在宅高齢者ケアサービス事業	・・・	20
	訪問型サービスA 生活援助型事業	・・・	22
	訪問型サービスB 生活援助型事業	・・・	23
	移送サービス（日野ハンディキャブ）事業	・・・	25
	移動困難高齢者ワクチン接種会場移送支援業務事業	・・・	27
	高齢者食事宅配サービス事業	・・・	27
	産後家庭向け配食サービス事業	・・・	29
	車椅子貸出事業	・・・	31
	コミュニケーション支援事業	・・・	31
	ウクライナ避難者支援	・・・	34
ボランティア活動推進事業	日野市ボランティア・センター	・・・	36
	防災・減災をテーマにした地域づくり	・・・	46
	日野市介護サポーター制度	・・・	50
	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know!」	・・・	51
助成事業	歳末たすけあい地域福祉活動助成	・・・	53

	地域支え合い福祉活動助成	・・・	54
生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	・・・	56
	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	・・・	59
	新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付事業	・・・	59
権利擁護センター事業	地域福祉権利擁護事業	・・・	62
	財産保全・管理サービス	・・・	64
	応急日常金銭管理サービス	・・・	65
	成年後見制度利用促進事業	・・・	65
福祉人材育成事業	手話通訳者研修事業	・・・	69
	手話講習会事業	・・・	69
	福祉のしごと相談・面接会	・・・	72
	福祉人材育成研修事業	・・・	73
	障害福祉人材育成事業	・・・	75
	社会福祉士養成のための実習生の受入	・・・	79
法人運営事業	組織運営事業	・・・	81
公益事業拠点区分			
福祉センター管理事業	日野市立中央福祉センターの管理運営	・・・	89
収益事業拠点区分			
自動販売機設置等管理事業		・・・	90
日野市役所内売店の運営		・・・	91
共同募金運動			
赤い羽根共同募金運動	日野地区協力会・日野地区配分推せん委員会	・・・	92
歳末たすけあい募金運動	歳末たすけあい運動の実施	・・・	95
日野市社会福祉協議会	組織体制	・・・	96

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業

事業名	地域福祉ネットワーク事業
事業形態	自主事業
財源内訳	会費
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	住民や様々な団体と連携・協働して多様なネットワークの構築を図り、課題発見の仕組みづくりや住民による主体的な地域福祉・交流活動を支援し、地域共生社会を目指す。 既存の団体や活動との整合性を図り、住民が無理や無駄がなく活動していける基盤整備を市と協力して進める。
内容	1. 多様な機関・団体と連携した地域づくり
実績報告	<p>1) 第1・2層生活支援コーディネーターの連携による地域づくり [協議・連携の場] 第1層協議体、第2層協議体、生活支援コーディネーター連絡会 地域包括支援センター連絡会ほか 参照「日野市生活支援体制整備事業」(詳細3頁)</p> <p>2) ふれあいサロンや介護予防活動団体との連携による地域づくり [協議・連携の場] フレイル予防推進員によるモニタリングやサロンでのスマホ講座の実施 参照「介護予防・フレイル予防推進事業」(詳細8頁) 「ICTを活用したシニア支援事業」(詳細18頁)</p> <p>3) 社会福祉法人・施設等との連携による地域づくり [協議・連携の場] 日野市内社会福祉法人ネットワーク(幹事会) 参照「組織運営事業」(詳細83頁)</p> <p>4) 地区社会福祉協議会「ぶらっと協議会」との連携による地域づくり 南平地区の地域課題解決を協議している「南平地区社会福祉協議会」と連携し地域づくりを推進する [協議・連携の場] ぶらっと南平役員会・運営委員会 参照「ぶらっと協議会」(詳細2頁)</p> <p>5) 日野市が実施する委員会・会議体との連携による地域づくり 地域懇談会を始め日野市が実施する地域づくりに関係する会議等と連携し地域づくりを推進する。 [協議・連携の場] 職員による日野市等の委員会への参加 参照「組織運営事業」(詳細85頁)</p>
事業効果・評価 方向性等	・様々な会議や企画を通じて地域課題を把握し、市民主体の取り組みにつながるよう支援していく。

内 容	2. “みんなでつくる” ぷらっと協議会（地区社協）の運営支援
実績報告	<p>7年目を迎え、引き続き会の安定的な運営と維持に努め、合わせて多くの市民の方に知っていただくために、①伝える(広報・啓発活動)、②つなぐ(ネットワーク化)、③続ける(継続していく)の3つを柱として推進し、地区の活性化と住みやすいまちづくりを目指して活動した。</p> <p>1) 役員会 12回 (4/19, 5/17, 6/15, 7/20, 8/17, 9/21, 10/25, 11/22, 12/20, 1/24, 2/21, 3/27)</p> <p>2) 運営委員会 3/23</p> <p>3) 南平まちづくり協議会 (地域包括支援センターすずらん地区第2層協議体) への関わり 協議内容 ①みなみだいらボランティアマップ制作 ②南平ちょこっとお助け隊の情報共有・事業報告 開催日 6回 (4/22, 7/8, 9/30, 11/25, 1/20, 3/23)</p> <p>4) 南平ちょこっとお助け隊 (互近助サービスちょこすけ) 〔活動実績〕 79回 〔活動内容〕 網戸張替・草取り・小修繕 等</p> <p>5) (社福) 友遊の家実施の買い物お助けサービスへの協力 公共交通機関空白地域の南平5丁目地区からスーパーヤオコー南平店へ車両送迎サービスと買い物時の見守り協力 〔実施〕 28回 (第1・3土曜日 13:00~14:30) 〔利用者述べ〕 119人 〔協力者述べ〕 118人</p> <p>6) 勉強会 南平地区で市民主体の移送サービスを行うための勉強会を実施 〔日時〕 9/30 (土) 13時~「市民参画の移動支援について」 〔講師〕 伊藤みどり 氏 [NPO 法人全国移動ネットサービス事務局長] 〔参加〕 13人 [南平地区社協役員・運営委員8人・その他5人]</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・南平ちょこっとお助け隊は、少しずつ地域に浸透し実績が上がってきた。2か月に1回行う南平まちづくり協議会で、実績や課題等を共有した。現状の課題として「活動内容(危険性や時間、人数等を考慮)の範囲」や「協力者が限定的」等が挙げられた。 ・(社福)友遊の家が主催する「買い物お助けサービス」は令和元年から継続的に実施(協力)しているなかで、他の地区での買い物支援立ち上げのきっかけとなった。 ・自家用車等を活用した南平地区社協の移送サービスに向けた勉強会を通じて、制度の仕組みや先進事例、リスクマネジメント等について役員を含めた関係者で共有することができた。新たに南平2丁目地区の買い物支援について検討を進めた。
内 容	3. 地域福祉活動団体への支援
実績報告	<p>ぬくもりテラス定例会、南平駅西交流センター運営委員、地域包括支援センターすずらん・いきいきタウンが行うイベントの企画や周知の手伝い等の支援をした。</p> <p>9回 (7/13, 8/10, 9/14, 10/6, 11/8, 12/6, 1/12, 2/7, 3/6)</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンが継続して活動できるように今後も情報提供等を行っていく。

事業名	日野市生活支援体制整備事業	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	地域支援係・在宅サービス係	
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる	
目的	介護保険制度の枠にとらわれない住民主体による生活支援サービスの仕組みづくりを検討し、高齢者ができるだけ住み慣れた地域で生活できる体制を構築する。	
内容	1. 第1層協議体および第1層生活支援コーディネーター	
実績報告	日野市全体の生活支援のコーディネート機能を果たす第1層生活支援コーディネーターを受託し、第1層協議体の運営を行う。また、第2層生活支援コーディネーターと協力しながら第2層協議体の運営を行い、日野市における生活支援の基盤整備を図る。	
	1) 第1層協議体の開催（年2回）	
	開催日	内容
	参加	
6/20	1. 新任委員紹介 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 活動状況の報告 ケアマネ協議会協働研修報告 互近助サービスちょこすけの現状 体力測定会報告 多職種連携のうごき [協議] <ul style="list-style-type: none"> 通いの場、インフォーマルサービスの見える化について 	委員 10人 事務局 6人
2/20	1. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 南平の保健室 通いの場の創設 移動（買い物）支援 互近助サービスちょこすけの現状 フレイル予防リーダーの取組み報告 <ul style="list-style-type: none"> 体力測定会報告 てくてく健康ウォーキング報告 リーダー養成講座報告 フレイル予防大作戦報告 2. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 見える化事業 <ul style="list-style-type: none"> 来年度事業計画 	委員 11人 事務局 7人
2) 委員構成（任期 令和4年9月1日～令和7年3月31日）（敬称略）		
No.	氏名	所属
1	土屋和子 氏	ひの市民活動ネットワーク
2	岡信行 氏	日野市シルバー人材センター
3	佐々木裕史 氏	ひのケアマネ協議会
4	本間義崇 氏	ひのリハビリテーションネットワーク

5	正木直子 氏	南多摩地域栄養士協議会日野地域
6	佐藤春俊 氏	日野市介護保険関連施設連絡協議会
7	渡辺妙子 氏	訪問型サービスB実施団体（市民委員）
8	今井真美 氏	日野市民生委員・児童委員協議会
9	川田利子 氏	地域包括支援センター
10	平敦子 氏	日野市高齢福祉課
11	大久保江理	第1層生活支援コーディネーター

[事務局] 高齢福祉課在宅サービス係、日野市社会福祉協議会地域支援係
 ※異動等に伴い、一部委員交代あり。

3) 第2層生活支援コーディネーター連絡会

開催日	内容	参加
6/27	1. 第1層協議体報告 2. 情報交換 ・互近助サービスちょこすけ ・通いの場 ・活動記録 ・委託費の使途 等 3. 今年度計画	16人 [内訳] 9包括 10人 市高齢 3人 社協 3人
9/27	1. 情報交換 ・各地域の情報共有 ・今年度委託金の使途について ・通いの場、インフォーマルサービスの情報収集について ・情報収集後のまとめ方 2. その他 ・地域で行う移送サービスについて	19人 [内訳] 9包括 9人 市高齢 3人 社協 4人 実習生 3人
3/1	1. 情報交換 ・地域ケア会議からの地域課題 ・事前課題のワーク発表 ・互近助サービスちょこすけについて ・フレイル予防リーダーの取り組み ・インフォーマルサービスの見える化 2. その他 ・令和6年度計画	25人 [内訳] 9包括 14人 市高齢 6人 社協 3人 実習生 2人

4) 関係機関との連携

①地域包括支援センター連絡会

包括所長会（全域）や各4圏域における連絡会において、生活支援体制整備事業についての事業報告や情報交換を行った。

エリア	開催日
所長会	4/11, 9/25, 12/20, 1/16
ひの	5/19, 7/21, 9/15, 11/17, 1/19
とよだ	5/25, 8/24, 11/24, 1/26
ひらやま	5/26, 7/28, 9/22, 11/24, 1/26
たかはた	5/24, 8/30, 11/15, 2/14

②地域ケア会議（地域包括支援センター実施）

高齢者の地域生活への支援力向上のために実施する地域ケア会議に参加し、情報の収集・提供を行った。

開催日	エリア	開催日	エリア
7/25	あさかわ	8/29	もぐさ
10/19	いきいきタウン	10/30	すてっぴ
12/14	あいりん	2/15	せせらぎ
2/28	かわきた	3/13	多摩川苑

※専門職：理学療法士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士、民生委員
デイケア等担当者、担当ケアマネジャーほか

③介護保険運営協議会の参加（運営委員）

第5期日野市高齢者福祉総合計画について検討を行った。

6回（7/6, 8/14, 10/30, 11/20, 1/25, 2/19）

④わがまる委員会の参加（運営委員）

「我が事・丸ごと」地域作り・包括的な支援体制の整備について、関係機関と検討を行った。3回（11/22, 2/14, 3/27）

5) 住民主体の支え合い活動の普及啓発の企画

①互近助サービスちょこすけ 実施団体（3月31日現在）

No.	団体名	地区
1	ふれあいサロンこいい〜な	大坂上、多摩平、神明
2	京王平山困りごとお助けクラブ	平山1〜3丁目
3	ちょこっと・ひの助	市内全域
4	大坂上都営ちょっとお助け隊	大坂上都営内
5	南平ちょこっとお助け隊	南平
6	高幡台団地自治会互近助おたすけ隊	高幡台団地内
7	西宮下自治会	東平山2・3丁目、西平山1丁目
8	ちょこっとサービスえんこらしょ	東豊田1〜3丁目・川辺堀之内 豊田1・2丁目
9	特定非営利活動法人 愛隣舎	市内全域（主に多摩平）
10	たきあいのひかり	東平山1丁目、平山4〜6丁目
11	川北地域コミュニティ協議会 困りごとお助け部会	東平山2丁目の一部・西平山の一部 西平山2〜4丁目
12	グリーンコープ日野ちょこすけ	グリーンコープ日野内
13	百草おたすけ隊	百草地域
14	いちほ会	日野市全域 （主に大坂上、神明、多摩平）

②ちょこすけ団体情報交換会

「互近助サービスちょこすけ」実施団体及び立ち上げ検討団体及び第2層生活支援コーディネーターに参加を呼びかけ、活動報告を含めた情報交換会を企画、開催した。

開催日	参加団体
7/19	参加者数 23人 [内訳] 6団体 (9人) ふれあいサロンこいい〜な、ちょこっと・ひの助、南平ちょこっとお助け隊、愛隣舎、グリーンコープ日野ちょこすけ、百草おたすけ隊

地域包括支援センター9箇所（10人）、高齢福祉課4人

6) 多職種（専門職）の連携

フレイル予防（社会参加）を通じた地域づくりを進めるため、理学療法士や作業療法士、管理栄養士、保健師、看護師等の専門職と体力測定会等を継続的に開催することで連携強化を図った。

日程	内容	場所	専門職
6/11	年齢・性別を問わず気軽にできる測定（4項目）を実施し、結果を基に理学療法士が評価	イオンモール多摩平の森中央ビレッジ	理学療法士 2人

7) 高齢者の在宅生活を支えるインフォーマルな活動の検討

高齢者の在宅生活（移動支援）を支えるインフォーマルな活動の検討を行うため、関係会議で意見の提言・情報収集を行った

日程	内容	参加
6/21	日野市の移動支援に関する情報交換	福祉政策課・高齢福祉課・障害福祉課 日野市社会福祉協議会ほか
8/4	福祉有償運送運営協議会	福祉有償運送実施団体、関係機関、市民委員、障害当事者ほか [事務局] 福祉政策課

8) 市民啓発事業

通いの場を創設していくにあたり、市民のニーズ及び協力者の体制（フレイル予防リーダーが通いの場を運営していくことができるか）を知る場として開催。当日の会場設営、受付、誘導等の運営はすべてフレイル予防リーダーが行った。（各回定員30人）

日程	内容	参加者	フレイル予防リーダー
2/16	イオンでたいそう！	77人	9人
2/16	イオンでうたおう！	85人	10人

内容

2. 第2層協議体の事務局運営

各地域包括支援センター（以下、包括という。）のエリアごとに、年2回ずつ開催。昨年度に引き続き、各包括に配置された第2層生活支援コーディネーターと、社会福祉協議会に配置されている第1層生活支援コーディネーターを中心に社会福祉協議会が運営事務を担って進めてきた。

第2層協議体の開催 [主な検討課題・取り組み]

1) ひの圏域（せせらぎ・多摩川苑）

- ・ちょこすけサービス団体（グリーンコープ日野）の相談支援
- ・見守り支援活動（神明地区）
- ・若年性神経難病のサロンづくり
- ・福祉施設と連携した買い物支援（日野台2丁目地区）
- ・ペット同行避難
- ・通いの場づくり（上田・万願寺・万願荘地区）

2) とよだ圏域（すてっぷ・あいりん）

- ・プラチナ会議（自治会・老人クラブ・民生委員・居宅介護支援事業所等との地域課題の共有）
- ・「介護」をテーマとした実践報告会

実績報告

	<ul style="list-style-type: none"> ・映画会（多摩平の森自治会との連携協力・三世代交流の場） ・豊田小地区防災活動（コア会議への参加） ・フレイル予防講座（老人クラブとの連携） ・ちょこすけサービス団体（ここい〜な）の相談支援 ・映画会（多摩平の森自治会との連携協力・三世代交流の場） ・あおぞら体操教室の継続支援（日野台地域） <p>3) ひらやま圏域（すずらん・かわきた・いきいきタウン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわきたコミュニティ協議会 （新たなちょこすけサービス団体と情報共有） ・見守り支援活動（ふれあいサロンソレイユ等） ・ひらやま縁日への参加 ・ぬくもりテラス オレンジ広場の開催 ・ちょこすけサービス団体（たきあいのひかり）の相談支援 ・相談協力員連絡会 ・平山苑（平山6丁目と長沼地区の交流） ・南平ボランティアマップの作成（南平地域の資源の掘り起こし） ・南平ちょこっとお助け隊（ケース検討） ・ななおBONまつり実行委員会 ・南平の保健室（気軽な専門職相談の場） ・ぬくもりテラス オレンジ広場の開催 ・福祉事業者と連携した買い物支援 ・ちょこすけ団体立ち上げ支援（平山地区） ・オレンジCaféの立ち上げ（たきあいあいの活用） <p>4) たかはた圏域（もぐさ・あさかわ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防に関する勉強会 ・ちょこすけ団体立ち上げ支援（百草団地地区） ・百草団地自治会ならびにふれあいサロンとの見守り支援体制づくり ・URと連携した地域医療福祉拠点化 ・高幡台団地における地域主体の見守り支援（手と手の会） ・防災ワークショップ ・ほどくぼんまつり（運営協力） ・図書館や児童館等との近況報告会（地域ネットワーク） ・程久保ハロウィン（運営協力） ・南新井サロンにおける「相続と終活のお話」の実施
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、互近助サービスちょこすけが制度化されたことにより、地域で活動したいという思いを形にすることができるようになり、令和5年度末現在で14団体にまで広がった。一方で、地域の中で偏りができてしまったり、活動団体の中で活動者同士の思いの差が生じる事態も発生し、活動継続に困難が生じるケースも出てきた。 ・第2層生活支援コーディネーター連絡会では、地域ケア会議で抽出された課題を基にグループワークを行ったことで、具体的な課題について他圏域の第2層生活支援コーディネーターからの意見を参考にできるようになり、困りごとを話す場を持つことができた。 ・今年度は特に、第2層生活支援コーディネーターのいる包括と一緒に地域での実践を検討しながら進めてきたこともあり、包括から相談を受けることも多くなってきた。市民から互近助サービスちょこすけを立ち上げたいとい

	<p>う相談を受けた時は、包括（第2層）、社協（第1層）、市と一緒に話を聞き、立ち上げを支援することによって互いの関係性を築くこともできてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互近助サービスちょこすけ実施団体やこれから立ち上げる団体の情報交換会を開催したことで、各団体の活動状況を知ることができ、これまでの活動内容を振り返る場が必要であることが分かった。 ・互近助サービスちょこすけ実施団体との関係性を密にするためにも、第2層生活支援コーディネーターとの定期的な対話の場を作る必要がある。 ・必ずしも第2層生活支援コーディネーターでなくても、包括内で生活支援につながる動きがある際には、相談・協議の場を経て形にしていこうと一緒に行動する。
--	---

事業名	介護予防・フレイル予防推進業務																												
事業形態	受託事業（日野市）																												
財源内訳	受託金																												
担当係	地域支援係																												
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																												
目的	介護予防・フレイル予防推進員を配置し、住民主体の通いの場づくりや介護予防・フレイル予防活動につながる地域づくりを推進する。																												
内容	1. 介護予防・フレイル予防活動の普及啓発																												
実績報告	<p>1) 介護予防・フレイル予防推進員の配置 2人（令和3年度～）</p> <p>2) 介護予防団体等へフレイル予防の啓発活動 フレイル予防推進員による介護予防団体等へのモニタリングを活用し、「フレイル予防（三本の矢・口腔ケア）」等を案内し、地域のフレイル予防活動の普及啓発を図る。</p> <p>3) 介護予防・フレイル予防活動の実態把握 ①介護予防事業に関する打合せ（6/5, 10/27, 11/14, 3/7） ②健康課とフレイル予防事業や通いの場についての情報交換（12/7, 8）</p>																												
内容	2. 「フレイル予防リーダー」による地域介護予防活動への側面的支援																												
実績報告	<p>1) フレイル予防リーダー養成講座修了者への実践実習（OJT）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>内容</th> <th>参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時</td> <td>フレイル予防リーダー公式LINEで情報発信（交流会実施やウォーキング・体力測定会の開催）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4/26</td> <td>リーダー交流会</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>6/16</td> <td>日野市老人クラブ連合会主催体力測定会の運営協力</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>7/4</td> <td>リーダー交流会</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>10/18</td> <td>ウォーキング事前説明会</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>11/28</td> <td>リーダー交流会</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>12/18</td> <td>ウォーキングについて考える</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>3/7</td> <td>ウォーキング事前説明会</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) てくてく健幸ウォーキングの開催 コロナの影響が落ち着いてきたことにより、「おうちでひの筋」参加者を</p>		日程	内容	参加数	随時	フレイル予防リーダー公式LINEで情報発信（交流会実施やウォーキング・体力測定会の開催）	—	4/26	リーダー交流会	9人	6/16	日野市老人クラブ連合会主催体力測定会の運営協力	9人	7/4	リーダー交流会	10人	10/18	ウォーキング事前説明会	5人	11/28	リーダー交流会	8人	12/18	ウォーキングについて考える	4人	3/7	ウォーキング事前説明会	6人
日程	内容	参加数																											
随時	フレイル予防リーダー公式LINEで情報発信（交流会実施やウォーキング・体力測定会の開催）	—																											
4/26	リーダー交流会	9人																											
6/16	日野市老人クラブ連合会主催体力測定会の運営協力	9人																											
7/4	リーダー交流会	10人																											
10/18	ウォーキング事前説明会	5人																											
11/28	リーダー交流会	8人																											
12/18	ウォーキングについて考える	4人																											
3/7	ウォーキング事前説明会	6人																											

対象に「てくてく健幸ウォーキング」と称したウォーキングを開催した。

日程	内容
10/25	「正しい歩き方講座」 講師 本間義崇 氏 (介護老人保健施設ロベリア理学療法士) 協力 日野市地域包括支援センターせせらぎ、高齢福祉課 参加者13人 フレイル予防リーダー7人
3/19	「皆で楽しく歩く」 協力 日野市地域包括支援センターせせらぎ、健康課 参加者12人 フレイル予防リーダー11人

内 容

3. 専門職等の多職種・他機関との連携

実績報告

1) 理学療法士等の専門職との連携

①高齢者の社会参加を円滑に進めるために、高齢者自身が自分の体力を知る機会とした体力測定会と、理学療法士等専門職による「お身体個別相談」を実施した。

日程	内容	場所	専門職
6/16	体力測定 (6項目) および保健師、理学療法士等専門職による「お身体個別相談」	南平体育館	保健師 4人 管理栄養士 4人 理学療法士 4人
10/3	体力測定 (6項目) および保健師、理学療法士等専門職による「お身体個別相談」	新町交流センター	保健師 4人 管理栄養士 2人 理学療法士 2人
10/4	体力測定 (6項目) および保健師、理学療法士等専門職による「お身体個別相談」	平山交流センター	保健師 4人 管理栄養士 2人 理学療法士 2人
10/11	体力測定 (6項目) および保健師、理学療法士等専門職による「お身体個別相談」	ラペ日野	保健師 4人 管理栄養士 2人 理学療法士 2人
10/12	体力測定 (6項目) および保健師、理学療法士等専門職による「お身体個別相談」	多摩平交流センター	保健師 4人 管理栄養士 2人 理学療法士 2人
2/6	体力測定 (6項目) および保健師、理学療法士等専門職による「お身体個別相談」	イオンモール多摩平の森	保健師 6人 管理栄養士 3人 理学療法士 4人 歯科衛生士 1人 薬剤師 1人

②リハビリネットワークとフレイル予防事業の関わり方の話し合い
2回 (4/25, 11/17)

③南多摩地域栄養士協議会とフレイル予防事業の関わり方の整理
1回 (5/2)

④介護予防活動団体 (おうちでひの筋含む) へ専門職の講師派遣依頼
6回 (6/13, 6/17, 6/27, 7/26, 8/26, 12/5)

⑤介護予防活動団体へ健康課から講義を実施 2回 (10/25, 11/10)

2) 各圏域の地域包括支援センター連絡会において今年度日野社協が行う介護予防活動 (主にフレイル予防リーダー養成講座) の説明・情報共有
4回 (5/19, 5/24, 5/25, 5/26)

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 各地域包括支援センターへ社協が行う介護予防事業についての情報提供ができたことで、互いの役割分担が明確になった。また、地域の通いの場について複数の地域包括支援センターから相談を受け共に動くことができた。 専門職と体力測定会を中心に連携し、強固な関係性ができあがった。
-----------------	---

事業名	地域介護予防活動支援事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	地域支援係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	高齢者が、自ら要介護・要支援状態になることの予防に努めることができる環境を整備、地域住民による自主的な介護予防活動を育成、支援することで介護予防・フレイル予防につながる地域づくりを行う。		
内容	1. 介護予防活動団体への支援（立ち上げ・継続モニタリング・交流）		
実績報告	1) 地域介護予防活動団体の推移		
		登録団体数	ひの筋実施団体
	5年度	57団体	44団体
	4年度	57団体	43団体
	2) 地域介護予防活動団体への各種支援		
	ひの筋体操立ち上げ支援団体 3団体		
	団体名	実施場所	支援期間
	寿会	新町交流センター	7/6, 20
	ひまわり体操会	川北地区センター	8/23
	胡蝶蘭	平山住宅集会所	7/28, 9/1 9/8, 10/20
※立ち上げ支援の助成金の交付、それに伴う書類作成相談			
3) 介護予防活動団体交流会			
フレイル予防・介護予防に取り組むグループやサロンが参加する情報交換や交流会を行った。高齢福祉課主催のサロン団体交流会と共同開催。			
[日時] 3/27 (水) 13:30~15:30			
[場所] 中央福祉センター集会室			
[参加] 20人			
4) フレイル予防に関するアンケート調査			
介護予防団体の現況把握のため、アンケート調査を行った。			
[期間] 3/1 (金) ~3/19 (火)			
[対象] 60団体 [回答数] 22団体			
5) ひの筋体操DVDの販売			
自宅で体操が実施できるよう「ひの筋体操DVD」を販売（6枚）し、ひの筋で使うおもりの販売（2団体6人分）も行った。			
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染者数の減少に伴いひの筋体操の立ち上げ相談が増えた。引き続き、デモ等の機会を増やして立ち上げに結び付ける。 		

	<ul style="list-style-type: none"> 既存の団体には専門職の派遣を通じて正しいフレイル予防の理解や意識の向上を図っていく。 活動を休止している団体や新規の参加者の受入れに消極的な団体へヒアリングを行い、支援方法を検討する。また、今後の助成金について、用途や対象、上限の検討を行う。 																						
内 容	2. フレイル予防リーダーの確保・育成																						
実績報告	<p>フレイル予防の基礎的な知識を習得した市民ボランティア「フレイル予防リーダー」養成講座を企画、実施した。 ○講座修了者：12人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時</td> <td>日野市の現状/栄養講座/グループワーク (理想の通いの場) 講師 辻澤美由紀 氏 (地域包括支援センターもぐさ) 蒲祥子 氏 ((株)ヘルシーネットワーク・管理栄養士) 大屋祥子 氏 (フレイル予防リーダー1期生) 高齡福祉課</td> </tr> <tr> <td>4/26</td> <td>ひの筋体操について/フレイルを予防する理学療法 体力測定の様子について/グループワーク 講師 本間義崇 氏 (介護老人保健施設ロベリア理学療法士) 日高美和子 (日野市社会福祉協議会)</td> </tr> <tr> <td>6/16</td> <td>フレイル予防大作戦測定編/体力測定会 講師 日野市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>7/4</td> <td>体力測定会振り返り/グループ発表・講評/修了式 講師 深津拓也 (日野市社会福祉協議会)、高齡福祉課</td> </tr> </tbody> </table>	日程	内容	随時	日野市の現状/栄養講座/グループワーク (理想の通いの場) 講師 辻澤美由紀 氏 (地域包括支援センターもぐさ) 蒲祥子 氏 ((株)ヘルシーネットワーク・管理栄養士) 大屋祥子 氏 (フレイル予防リーダー1期生) 高齡福祉課	4/26	ひの筋体操について/フレイルを予防する理学療法 体力測定の様子について/グループワーク 講師 本間義崇 氏 (介護老人保健施設ロベリア理学療法士) 日高美和子 (日野市社会福祉協議会)	6/16	フレイル予防大作戦測定編/体力測定会 講師 日野市社会福祉協議会	7/4	体力測定会振り返り/グループ発表・講評/修了式 講師 深津拓也 (日野市社会福祉協議会)、高齡福祉課												
日程	内容																						
随時	日野市の現状/栄養講座/グループワーク (理想の通いの場) 講師 辻澤美由紀 氏 (地域包括支援センターもぐさ) 蒲祥子 氏 ((株)ヘルシーネットワーク・管理栄養士) 大屋祥子 氏 (フレイル予防リーダー1期生) 高齡福祉課																						
4/26	ひの筋体操について/フレイルを予防する理学療法 体力測定の様子について/グループワーク 講師 本間義崇 氏 (介護老人保健施設ロベリア理学療法士) 日高美和子 (日野市社会福祉協議会)																						
6/16	フレイル予防大作戦測定編/体力測定会 講師 日野市社会福祉協議会																						
7/4	体力測定会振り返り/グループ発表・講評/修了式 講師 深津拓也 (日野市社会福祉協議会)、高齡福祉課																						
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は「通いの場」というテーマでリーダー養成を開催し、より実践的な内容を学んでいただくことができた。また、会場を高幡にすることで今までリーダーの少なかった地域に養成することができた。 																						
内 容	3. オンライン型「ひの健幸貯筋体操」の実施・継続																						
実績報告	<p>コロナ禍でも自宅で介護予防体操ができるよう、Zoomを活用し「ひの健幸貯筋体操」を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期間</th> <th>日時</th> <th>回数</th> <th>参加者 (延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第12弾</td> <td>4/11~6/13</td> <td>火曜 10時~11時30分</td> <td rowspan="4">全10回</td> <td>203人</td> </tr> <tr> <td>第13弾</td> <td>7/11~9/12</td> <td>火曜 10時~11時30分</td> <td>179人</td> </tr> <tr> <td>第14弾</td> <td>10/10~12/12</td> <td>火曜 10時~11時30分</td> <td>178人</td> </tr> <tr> <td>第15弾</td> <td>1/9~3/26</td> <td>火曜 13時30分~15時</td> <td>143人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※第14及び15弾 全10回のうち1回は「てくてく健幸ウォーキング」</p>		期間	日時	回数	参加者 (延べ)	第12弾	4/11~6/13	火曜 10時~11時30分	全10回	203人	第13弾	7/11~9/12	火曜 10時~11時30分	179人	第14弾	10/10~12/12	火曜 10時~11時30分	178人	第15弾	1/9~3/26	火曜 13時30分~15時	143人
	期間	日時	回数	参加者 (延べ)																			
第12弾	4/11~6/13	火曜 10時~11時30分	全10回	203人																			
第13弾	7/11~9/12	火曜 10時~11時30分		179人																			
第14弾	10/10~12/12	火曜 10時~11時30分		178人																			
第15弾	1/9~3/26	火曜 13時30分~15時		143人																			
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響が落ち着き、おうちでひの筋の参加者数のうち、新規参加者数は微増となった。参加者を増やすためモニタリングや体力測定会、市報等で広く周知していく。 おうちでひの筋参加者向けにウォーキングを2回行った。これまで画面上で会っていた仲間に実際に会えてとても嬉しかった等ご意見をいただき、誰かと話しながら歩くことが楽しいフレイル予防に繋がること分かった。 																						

事業名	障害者および高齢者団体等のバス借上補助			
事業形態	自主事業			
財源内訳	会費、歳末たすけあい配分金			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	高齢者や障害者等の外出機会の促進、市民活動の活性化を図るため、障害者団体や高齢者団体等が実施する研修やボランティア活動等で利用した借り上げたバス費用の一部を補助する。			
内容	1. 助成金申請受付および交付			
実績報告	申請内容に基づいた利用区分に応じ、民間バスを借り上げた費用の一部を補助した。			
	1) 補助内容			
	対象団体	補助率	限度額	
	障害者団体 ①	補助対象経費 の1/2	上限30,000円	
	高齢者団体 ②		リフト付きバス利用の場合上限40,000円	
	市内地域団体 ③	補助対象経費 の1/4	上限20,000円	
その他の団体 ④	リフト付きバス利用の場合上限30,000円			
交付回数	12回	5回	2回	0回
2) 補助実績				
年度	合計			
5年度	19件	684,500円		
4年度	10件	403,400円		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響が落ち着き、対象団体による借り上げバスを利用した研修や視察が増えたことにより、交付件数及び補助額ともに増加した。 ・本事業の財源となっている会員会費と歳末たすけあい募金が減少傾向にあることから、事業継続のため、それに応じた助成の仕組みを検討したい。 			

事業名	みんなといっしょの運動会（障害者運動会）
事業形態	共催事業（東京日野ライオンズクラブ）
財源内訳	寄附金、歳末たすけあい募金配分金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	ソーシャル・インクルージョンの理念に基づき、だれもが楽しめる場を作ること。また、この場を通して、様々な団体や個人がつながりを作ることを目的とする。
事業内容	1. 障害者運動会の開催
実績報告	1) 日時 10月1日（日）13:30-16:30 2) 場所 日野市民の森ふれあいホール 3) 参加者 194人 4) 内容 ボッチャ、パン食い競走、綱引き
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策の一環として行っていたボッチャが好評だったため、今年度も実施した。それに加えて、これまでも人気競技であった団体競技やパン食い競走等の競技もプログラムに取り入れて行った。 ・人数制限を解除して行ったことにより、去年の倍の参加者数となった。 ・多様な方々が交流しながら大会を開催することができた。

事業名	日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務（あんしん住まいる日野）																		
事業形態	受託事業（日野市）																		
財源内訳	受託金																		
担当係	総務係																		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																		
目的	住宅確保要配慮者（低額所得者、高齢者、障害者等）を対象とした住宅相談窓口を設置し、必要となる居住支援サービスの案内と併せて民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する。また、相談者のニーズを把握し、入居に至らない要因の整理や課題解決の方法等の検討、住宅セーフティネット機能の強化を図る。																		
内容	1. 相談窓口の設置																		
実績報告	<p>相談業務はNPO法人東京オレンヂが担い、下記のとおり実施した。</p> <p>1) 日時 毎週木曜日 13:00~/14:00~/15:00~/16:00~(各1時間)</p> <p>2) 場所 日野市役所内会議室等</p> <p>3) 相談実績 ※相談者内訳は重複あり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談者数</th> <th>高齢</th> <th>障害</th> <th>低所得 生保</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>119人</td> <td>62人</td> <td>26人</td> <td>67人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>110人</td> <td>63人</td> <td>13人</td> <td>58人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他 ひとり親世帯、DV被害、外国人等</p>		相談者数	高齢	障害	低所得 生保	その他	5年度	119人	62人	26人	67人	11人	4年度	110人	63人	13人	58人	15人
	相談者数	高齢	障害	低所得 生保	その他														
5年度	119人	62人	26人	67人	11人														
4年度	110人	63人	13人	58人	15人														

実績報告	4) 転宅実績 (事業開始平成30年6月7日から)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談人数</th> <th>成約者数</th> <th>成約率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30年度</td> <td>58人</td> <td>13人</td> <td>22.4%</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>51人</td> <td>11人</td> <td>21.5%</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>80人</td> <td>14人</td> <td>17.5%</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>93人</td> <td>19人</td> <td>20.4%</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>110人</td> <td>30人</td> <td>27.2%</td> </tr> </tbody> </table>		相談人数	成約者数	成約率	30年度	58人	13人	22.4%	元年度	51人	11人	21.5%	2年度	80人	14人	17.5%	3年度	93人	19人	20.4%	4年度	110人	30人	27.2%
		相談人数	成約者数	成約率																					
	30年度	58人	13人	22.4%																					
	元年度	51人	11人	21.5%																					
	2年度	80人	14人	17.5%																					
3年度	93人	19人	20.4%																						
4年度	110人	30人	27.2%																						
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・5年度の相談者数は過去最高を更新した。 ・生活保護受給者からの案件が増加している。ケースワーカー等の支援者から相談を受けるケースも多く、住宅確保要配慮者に特化した相談窓口として認識されている。 ・相談員が話を伺う中で気になる相談者がいた場合、必要に応じて相談者の自宅を訪問し世帯状況等の確認を行った。相談者が安心して日野市に住み続けられるように努めている。 																								
内 容	2. 関係機関との連携																								
実績報告	<p>1) 日野市居住支援協議会 2回 (7/14, 3/21)</p> <p>2) 定例会 3回 (8/24, 12/21, 3/21)</p> <p>月例報告、相談者への支援方法、相談窓口と関係機関との連携方法等を話し合うための定例会に出席した。</p>																								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会では、相談員が気になるケースを日野市関係部署と共有し対応策について検討した。相談者が日野市で安心して生活し続けるために何か必要か意見交換を行った。今後も定期的に続けていきたい。 																								
内 容	3. 広報・周知																								
実績報告	<p>1) 日野精神障害者家族会 日野いずみ会にて事業周知 (8/22)</p> <p>2) チラシの作成</p> <p>新しいチラシを作り、来年度から配布するため準備を進めた。</p>																								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業開始以降、チラシを作り直しておらず、手書きで修正しながら使用し続けてきた。市役所の関係部署で事業説明にチラシを使用していることから、新たなチラシを作り来年度から使用することになった。事業内容が伝わりやすいものを作り、効果的な周知を図れるようにしていきたい。 																								

事業名	日野市子どもの学習・生活支援事業 (ほっとも南平)
事業形態	受託事業 (日野市)
財源内訳	受託金、利用料
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目 的	生活困窮世帯等で家庭環境や社会生活上の課題を抱えた子どもを対象とし、居場所や学習の支援を通じコミュニケーション能力や学習習慣等の育成を行うと同時に、高校への進学を目的とした学習支援を行い、貧困の連鎖を食い止め困難を抱えた生活困窮者等の子どもの社会的自立を図る。

内 容	1. 利用者支援および状況把握																										
実績報告	<p>「ほっとも南平」は、生活困窮者自立支援法に基づき日野市が実施する子どもの学習等支援事業で、主な学区は七生中学校と平山中学校としている。</p>																										
	<p>1) 事業内容</p>																										
	<p>子ども家庭支援センターや日野市発達・教育支援センター「エール」（以下、エール）、生活保護ケースワーカー等からセーフティネットコールセンターに推薦された家庭の子どもを対象に、居場所や学習の支援を実施。</p>																										
	<p>[日時] 毎週月・木 16:30～20:00 (祝日は休み)</p>																										
	<p>[夕食] 300円 [送迎] 帰宅時に車による送迎</p>																										
	<p>2) 職員体制</p>																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>職務</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理者</td> <td>1人</td> <td>地域支援係長(事務局職員兼務)</td> </tr> <tr> <td>事務局職員</td> <td>3人</td> <td>地域支援係(各日:1人)</td> </tr> <tr> <td>学習支援コーディネーター</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>居場所指導員</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習・居場所サポーター</td> <td>7人</td> <td>交代勤務(各日:3~4人)</td> </tr> <tr> <td>調理員</td> <td>3人</td> <td>月曜:2人/木曜:1人</td> </tr> <tr> <td>運転協力者</td> <td>2人</td> <td>月・木曜(各日:1人)</td> </tr> </tbody> </table>			職務	人数	備考	管理者	1人	地域支援係長(事務局職員兼務)	事務局職員	3人	地域支援係(各日:1人)	学習支援コーディネーター	1人		居場所指導員	1人		学習・居場所サポーター	7人	交代勤務(各日:3~4人)	調理員	3人	月曜:2人/木曜:1人	運転協力者	2人	月・木曜(各日:1人)
	職務	人数	備考																								
	管理者	1人	地域支援係長(事務局職員兼務)																								
	事務局職員	3人	地域支援係(各日:1人)																								
学習支援コーディネーター	1人																										
居場所指導員	1人																										
学習・居場所サポーター	7人	交代勤務(各日:3~4人)																									
調理員	3人	月曜:2人/木曜:1人																									
運転協力者	2人	月・木曜(各日:1人)																									
<p>3) 利用者登録者</p>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内訳</th> <th>支援</th> <th>学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">20人</td> <td>小学生 9人</td> <td>居場所</td> <td rowspan="3">南平小・平山小・潤徳小・滝合小・七生中・平山中・日野第三中・三沢中 ※高校生は除く</td> </tr> <tr> <td>中学生 9人</td> <td>学習</td> </tr> <tr> <td>高校生 2人</td> <td>居場所</td> </tr> </tbody> </table>				内訳	支援	学校	20人	小学生 9人	居場所	南平小・平山小・潤徳小・滝合小・七生中・平山中・日野第三中・三沢中 ※高校生は除く	中学生 9人	学習	高校生 2人	居場所													
	内訳	支援	学校																								
20人	小学生 9人	居場所	南平小・平山小・潤徳小・滝合小・七生中・平山中・日野第三中・三沢中 ※高校生は除く																								
	中学生 9人	学習																									
	高校生 2人	居場所																									
<p>4) 開所日・利用者数(延べ人数)</p>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>5年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①開所日数</td> <td>94日</td> <td>93日</td> </tr> <tr> <td>②利用者数</td> <td>957人</td> <td>953人</td> </tr> <tr> <td>③平均利用者数</td> <td>10.18人</td> <td>10.25人</td> </tr> </tbody> </table>				5年度	4年度	①開所日数	94日	93日	②利用者数	957人	953人	③平均利用者数	10.18人	10.25人													
	5年度	4年度																									
①開所日数	94日	93日																									
②利用者数	957人	953人																									
③平均利用者数	10.18人	10.25人																									
<p>5) 新規登録者 2人(滝合小学校6年・平山小学校4年)</p>																											
<p>6) 研修・企画等の実施</p>																											
<p>ほっともサマー教室 夏休み期間に日中活動や外出の機会を設けた。通常の夜間帯ではできない企画を実施。</p>																											
<p>①研修</p>																											
<p>「あのね ほんとはね ～心に傷つきを抱えた子どもとのかかわり」</p>																											
<p>(主催 いのちのプロジェクト委員会・日野市教育委員会)</p>																											
<p>[スタッフ参加] 5人</p>																											
<p>②イベント企画</p>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/7(月) 11:00～15:00</td> <td>料理体験「手巻き寿司」&科学研究「ダイラタンシー」 (管理栄養士協力による料理教室)</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>8/14(月)</td> <td>料理体験「サンドウィッチ」&科学研究「リ</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>			日時	内容	参加者	8/7(月) 11:00～15:00	料理体験「手巻き寿司」&科学研究「ダイラタンシー」 (管理栄養士協力による料理教室)	5人	8/14(月)	料理体験「サンドウィッチ」&科学研究「リ	8人																
日時	内容	参加者																									
8/7(月) 11:00～15:00	料理体験「手巻き寿司」&科学研究「ダイラタンシー」 (管理栄養士協力による料理教室)	5人																									
8/14(月)	料理体験「サンドウィッチ」&科学研究「リ	8人																									

	11:00~15:00	ニアモーターのしくみ&工作」(市民ボランティア協力による科学実験教室)	
	8/19(土) 16:00~20:00	サマーナイト@TAMAZOO	15人
	10/26(木) 16:30~20:00	ハロウィンナイト	18人
	12/21(木)	クリスマス会	17人
	12/25(月) 11:00~15:00	モルック体験・ランチ&スイーツづくり	9人
	1/4(木) 11:00~15:00	高幡不動尊初詣	8人
内 容	2. 関係機関との連携・情報共有		
実績報告	1) エール スクールソーシャルワーカーとの話し合い (7/3, 12/11, 3/11) 2) 子ども包括支援センター主催中卒後支援検討委員会に出席 (9/28) 3) 子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会七生中地区に出席 (6/9, 1/12) 4) 福祉政策課主催ヤングケアラー支援検討部会に出席 (7/24, 2/14)		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとも南平の利用者は、昨年度とほぼ同数であった。 ・大型休みの日中時間帯に開所することで料理体験や科学教室(自由研究)、スポーツ体験等、通常の時間帯では体験できないプログラムを設けることができた。 ・家庭内の課題(ネグレクト・障害や疾病による生活上の支障・親子関係不和)により家に帰りたがらない子どもが目立ち、夜間時の対応に苦慮した。 ・血糖値管理の必要な子どもがあり、医療の支援体制の課題を強く感じた。 ・児童館等の地域の関係機関から直接子どもに関する相談(引きこもり・虐待・生活困窮等)が寄せられることが増えている。 ・中学3年生5人は、全員高校に進学することができた。 ・フードバンク TAMA から継続的な支援を受け、運営面における大きな力となっている。 		

事業名	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務										
事業形態	受託事業（日野市）										
財源内訳	受託金										
担当係	地域支援係										
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる										
目的	日野市の情報のデージー版を作成（録音・編集）し、視覚に障害のある方へ日常生活に必要な情報の提供を行う。										
内容	1. 朗読（デージー）版「広報ひの」の作成										
実績報告	視覚障害者（登録）へ「広報ひの」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。（委託元）市長公室										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発行回数</th> <th>内容内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>16回</td> <td>通常号 12回/32頁（9回）・40頁（3回） 臨時号 2回/4頁（1回）・2頁（1回） ごみ情報誌エコー 2回/増刷含む</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>16回</td> <td>通常号 12回/32頁（11回）・40頁（1回） 臨時号 2回/4頁（1回）・2頁（1回） ごみ情報誌エコー 2回/増刷含む</td> </tr> </tbody> </table>		発行回数	内容内訳	5年度	16回	通常号 12回/32頁（9回）・40頁（3回） 臨時号 2回/4頁（1回）・2頁（1回） ごみ情報誌エコー 2回/増刷含む	4年度	16回	通常号 12回/32頁（11回）・40頁（1回） 臨時号 2回/4頁（1回）・2頁（1回） ごみ情報誌エコー 2回/増刷含む
		発行回数	内容内訳								
5年度	16回	通常号 12回/32頁（9回）・40頁（3回） 臨時号 2回/4頁（1回）・2頁（1回） ごみ情報誌エコー 2回/増刷含む									
4年度	16回	通常号 12回/32頁（11回）・40頁（1回） 臨時号 2回/4頁（1回）・2頁（1回） ごみ情報誌エコー 2回/増刷含む									
内容	2. 朗読（デージー）版「ひの市議会だより」の作成（年4回）										
実績報告	視覚障害者（登録）へ「ひの市議会だより」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。（委託元）議会事務局										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発行回数及び発行日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>4回（6/1, 9/1, 12/1, 3/1）</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>4回（6/1, 9/1, 12/1, 3/1）</td> </tr> </tbody> </table>		発行回数及び発行日	5年度	4回（6/1, 9/1, 12/1, 3/1）	4年度	4回（6/1, 9/1, 12/1, 3/1）			
		発行回数及び発行日									
5年度	4回（6/1, 9/1, 12/1, 3/1）										
4年度	4回（6/1, 9/1, 12/1, 3/1）										
内容	3. 朗読（デージー）版「新型コロナウイルスワクチンNEWS」の作成										
実績報告	視覚障害者（登録）へ「新型コロナウイルスワクチンNEWS」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。 （委託元）コロナワクチン担当										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発行回数及び発行日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>2回（4/16, 9/1）</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>7回（4/1, 4/15, 5/1, 5/25, 6/22, 8/1, 9/1）</td> </tr> </tbody> </table>		発行回数及び発行日	5年度	2回（4/16, 9/1）	4年度	7回（4/1, 4/15, 5/1, 5/25, 6/22, 8/1, 9/1）			
		発行回数及び発行日									
5年度	2回（4/16, 9/1）										
4年度	7回（4/1, 4/15, 5/1, 5/25, 6/22, 8/1, 9/1）										
内容	4. 朗読（デージー）版「日野市防災ガイドブック」の作成										
実績報告	日野市防災ガイドブック発行に伴い、視覚障害者等の情報保障のため音訳版の作成を行った。（委託元）防災安全課										
	発行 令和6年2月										
事業効果・評価方向性等	・コロナ禍以降、不定期の特別号等の発行があったが、今年度から平常に戻ってきた。月1回の発行となった広報ひのは、その分ページ数が増え音訳、編集作業を行う負担は増している。										

事業名	ICT（情報通信技術）を活用したシニア支援事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	地域支援係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	コロナ禍で急速に進むスマートフォン等の活用に高齢者が対応できるよう地域やテーマ、レベルに合わせた「スマートフォン講座」を開催し、ICT（情報通信技術）を活用した高齢者福祉の向上を目指す。		
内容	高齢者等を対象とした「スマートフォン講座」の開催		
実績報告	<p>サロン等の地域団体へ「出張型スマホ講座」を実施。「はじめてのスマホ講座」や「個別相談形式」に加えて「フレイル予防アプリ」や「ネットスーパーの使い方」等の主催団体の要望に適した講座を実施。</p> <p>年間：最低36回 講師：日野市社会福祉協議会、(株)アミュー、スマホお助け隊</p>		
	団体名	内容（開催日）	人数
	南平 ふれあいサロン	個別相談（4/20, 5/25, 6/22, 7/20, 8/24 9/21, 10/19, 11/16, 12/21, 1/18, 2/15, 3/21）	計57人
	多摩平の森自治会	個別相談会・講座 （4/25, 5/15, 6/19, 7/3, 8/4, 8/21, 9/4, 10/23 11/20, 12/18, 1/22, 2/26, 3/18）	計154人
	旭が丘 青春グループ	個別相談会（7/14）	7人
	グランループ 老人会	基本講座・LINE・個別相談 （5/20, 7/15, 9/16, 11/18）	計49人
	ケアサービス	個別相談会（9/29, 3/21）	計26人
	デュオセーヌ豊田	個別相談会（9/22, 9/29, 12/1, 12/8, 12/22）	計33人
	ひの筋体操 日野高幡	個別相談会（9/19, 9/26）	19人
	下田自治会	個別相談会（10/6）	6人
	縁側サロン	LINE講座（10/10）	12人
	地域協働課	キャッシュレス決済（11/29）	12人
	平山住宅自治会	初心者講座&個別相談会 （11/17, 12/15, 1/19, 2/16, 3/15）	計50人
	ぷらっと南平	個別相談会 （12/6, 12/20, 1/17, 2/7, 2/21, 3/6, 3/20）	計26人
	地域包括支援 センターかわきた	個別相談会（3/13）	11人
	南新井 ふれあいサロン	初心者講座・LINE講座・個別相談会 （1/31, 2/28）	計44人
	百草団地 ふれあいサロン	初心者講座・ネットスーパー講座 LINE講座・個別相談会 （11/15, 12/13, 1/17, 3/26）	計39人
		61回	545人

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none">・サロン団体等主催のスマホ講座ではただスマホの使い方を伝えるだけではなくフレイル予防アプリやネットスーパーの使い方といった生活により直結するテーマで実施した。また、前年度に引き続きボランティアセンターが養成したスマホお助け隊と連携をしながらスマホ講座を進められた。・今年度で終了する事業なのでできる限り地域で自走できるよう意識して開催し、来年度以降4つのグループが自走できる形になった。
-----------------	--

在宅福祉事業

事業名	在宅高齢者ケアサービス事業				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	参加費、利用料、補助金				
担当係	在宅サービス係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	日常生活に支援が必要な在宅高齢者に、市民参加による会員制の家事援助等の活動や体操、サロン、クラブ活動等の交流事業を実施することで、市民相互の支え合いの仕組みをつくりながら在宅生活を支援する。				
内容	1. 利用会員（在宅高齢者）の生活支援				
実績報告	1) 職員の体制 日野市高齢者福祉総合計画において取り入れられた4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）に合わせて相談員（職員）を地域担当制で配置し、高齢者食事宅配サービス、第1号訪問事業生活援助型(A・B)も含めた複合的な相談に対応している。				
	2) 活動実績 新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたが、感染症予防のため利用会員および協力会員一人ひとりに、活動前の検温、マスク着用等の咳エチケット、こまめな手洗い等で会員相互の協力による感染予防対策を実施しつつ、利用会員への支援活動を続けた。				
	①会員数およびサービス利用者・活動者数				
		利用会員		協力会員	
		会員数	月平均利用者数	会員数	月平均活動者数
	5年度	424人	132人	118人	54人
	4年度	413人	135人	129人	50人
	※月平均は小数点以下四捨五入。				
	②延べ利用時間と延べ利用件数				
		利用時間	利用件数		
5年度	7,402.5時間	5,181件			
4年度	7,820.5時間	5,591件			
③サービス内容 ※重複があるため合計数は利用件数と異なる。					
	家事援助	身の回りの世話	外出の付き添い	その他	
5年度	1,631件	98件	231件	235件	
4年度	1,735件	156件	169件	157件	
事業効果・評価方向性等	・引き続き感染症対策については会員の安全を最優先した対応を行い、会員や家族、ケアマネジャー等の支援者、日野市の協力により活動を続けた。				

内 容	2. 協力会員（市民の協力者）の活動支援																													
実績報告	<p>1) 感染予防のための物品提供 活動中の食事の支度、外出付添等利用会員との対人間隔を取ることが困難な活動を行う協力会員向けに、予防対策としてマスクやゴム手袋等の物品提供を行った。</p> <p>2) 協力会員入会時研修の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/19</td> <td>多摩平の森ふれあい館</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>1/22</td> <td>福祉支援センター</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	参加者	1/19	多摩平の森ふれあい館	5人	1/22	福祉支援センター	4人																				
開催日	会場	参加者																												
1/19	多摩平の森ふれあい館	5人																												
1/22	福祉支援センター	4人																												
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたが、感染予防をしながら活動をした。																													
内 容	3. 会員募集の強化																													
実績報告	ひの社協だより及び広報ひの、日野市公式LINE、チラシ等を活用して新規の協力会員募集のための事業説明会を開催した。																													
事業効果・評価 方向性等	・今年度初めて日野市公式LINEで広報したところ、参加者が増え、入会したので、今後も引き続きSNSを活用していく。																													
内 容	4. 地域での支えあいの仕組みづくり																													
実績報告	<p>1) クラブ活動 協力会員と利用会員の希望者が行っている自主的な活動。新型コロナウイルス感染症の影響のため、未だほとんどのクラブが活動休止中だが、一部のクラブが再開し始めた。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>女性限定麻雀クラブ</td> <td>毎月第2,4月曜日午後定期的に集まり、複数の卓で交代しながらの健康麻雀。活動再開。</td> </tr> <tr> <td>将棋クラブ</td> <td>定期活動（第4金）と自主練習日（第2火）を設けて活動。駒を並べるところからお互いに教え合いながら活動。活動休止。</td> </tr> <tr> <td>英会話クラブ</td> <td>仕事での経験を活かしてとの申し出のあった利用会員が講師となり、月に1回実用英会話の講習会。活動休止。</td> </tr> <tr> <td>料理クラブ</td> <td>参加する会員が意見を出し合って毎回の担当者メニューを決めることから始め、工夫しておいしくできる料理を教え合う場。活動休止。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) おしゃべりサロン 利用会員と協力会員の会員相互の交流の場としての活動。はつらつ体操終了後に開催したが、今年度は半分程度しか開催できなかった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/30</td> <td>熱中症予防</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>7/28</td> <td>ベジチェック</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>9/29</td> <td>スマホお悩み相談会</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>11/24</td> <td>おなかの菌学</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>12/15</td> <td>契約トラブルにあわないために</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>1/26</td> <td>DVD鑑賞会</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>	女性限定麻雀クラブ	毎月第2,4月曜日午後定期的に集まり、複数の卓で交代しながらの健康麻雀。活動再開。	将棋クラブ	定期活動（第4金）と自主練習日（第2火）を設けて活動。駒を並べるところからお互いに教え合いながら活動。活動休止。	英会話クラブ	仕事での経験を活かしてとの申し出のあった利用会員が講師となり、月に1回実用英会話の講習会。活動休止。	料理クラブ	参加する会員が意見を出し合って毎回の担当者メニューを決めることから始め、工夫しておいしくできる料理を教え合う場。活動休止。	開催日	内容	参加者	6/30	熱中症予防	14人	7/28	ベジチェック	11人	9/29	スマホお悩み相談会	13人	11/24	おなかの菌学	14人	12/15	契約トラブルにあわないために	10人	1/26	DVD鑑賞会	12人
女性限定麻雀クラブ	毎月第2,4月曜日午後定期的に集まり、複数の卓で交代しながらの健康麻雀。活動再開。																													
将棋クラブ	定期活動（第4金）と自主練習日（第2火）を設けて活動。駒を並べるところからお互いに教え合いながら活動。活動休止。																													
英会話クラブ	仕事での経験を活かしてとの申し出のあった利用会員が講師となり、月に1回実用英会話の講習会。活動休止。																													
料理クラブ	参加する会員が意見を出し合って毎回の担当者メニューを決めることから始め、工夫しておいしくできる料理を教え合う場。活動休止。																													
開催日	内容	参加者																												
6/30	熱中症予防	14人																												
7/28	ベジチェック	11人																												
9/29	スマホお悩み相談会	13人																												
11/24	おなかの菌学	14人																												
12/15	契約トラブルにあわないために	10人																												
1/26	DVD鑑賞会	12人																												

	3/21	スマホ個別相談会	10人																																
	<p>3) はつらつ体操 毎月1回、楽しく気軽に介護予防になる体操教室（利用・協力会員向け）を開催。 講師：木村明美 氏（介護予防指導士）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/23</td> <td>12人</td> <td>5/26</td> <td>14人</td> <td>6/30</td> <td>11人</td> <td>7/28</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>8/25</td> <td>14人</td> <td>9/29</td> <td>16人</td> <td>10/27</td> <td>15人</td> <td>11/24</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>12/15</td> <td>13人</td> <td>1/26</td> <td>15人</td> <td>2/16</td> <td>13人</td> <td>3/15</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	4/23	12人	5/26	14人	6/30	11人	7/28	13人	8/25	14人	9/29	16人	10/27	15人	11/24	14人	12/15	13人	1/26	15人	2/16	13人	3/15	13人
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者																												
4/23	12人	5/26	14人	6/30	11人	7/28	13人																												
8/25	14人	9/29	16人	10/27	15人	11/24	14人																												
12/15	13人	1/26	15人	2/16	13人	3/15	13人																												
	<p>4) バスハイク 利用会員と協力会員の会員相互の交流活動。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11/13</td> <td>バスハイク「勝沼方面(シャトー勝沼、ダイニング竜、浅間神社、里の駅いちのみや)」</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	内容	参加者	11/13	バスハイク「勝沼方面(シャトー勝沼、ダイニング竜、浅間神社、里の駅いちのみや)」	20人																										
開催日	内容	参加者																																	
11/13	バスハイク「勝沼方面(シャトー勝沼、ダイニング竜、浅間神社、里の駅いちのみや)」	20人																																	
	<p>5) 会報誌「ねっとわーく」の発行 4月・5月・7月・9月・10月・12月・1月・3月の各月に約600部を会員向けに発行。事業や地域に関する情報を提供し、協力会員および利用会員の暮らしや活動の充実を促した。</p>																																		
事業効果・評価 方向性等	<p>・新型コロナウイルスの感染は落ち着いたものの、ほとんどの自主クラブの活動は休止ではあったが、おしゃべりサロンやはつらつ体操は感染症予防対策を取りながら徐々に開催した。参加した会員からは久しぶりの交流や身体を動かす機会を喜ぶ声が聞かれた。</p>																																		

事業名	第1号訪問事業生活援助型（訪問型サービスA）																		
事業形態	介護保険事業（日野市）																		
財源内訳	介護保険事業収入（公費・利用料）																		
担当係	在宅サービス係																		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																		
目的	高齢者が住み慣れた自宅でいつまでも安心して暮らせるよう、ヘルパーが訪問して高齢者自身の自らの能力を最大限に活かしながら生活援助を行うことで、要介護状態にならないように予防することを目指す。																		
内容	1. 要支援認定者および事業対象者への生活援助																		
実績報告	<p>平成28年4月より開始した日野市介護予防・日常生活支援総合事業において、要支援1・2の認定もしくは地域包括支援センターが実施する基本チェックリストで事業対象となった方を対象に、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等が作成する介護予防ケアプランに基づいて、あらかじめ登録したヘルパーによる掃除食事づくり等の生活援助を行う。</p> <p>1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> <th>利用時間</th> <th>新規契約</th> <th>終了(解約)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>168</td> <td>797</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>190</td> <td>868</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					利用者数	利用時間	新規契約	終了(解約)	5年度	168	797	3	5	4年度	190	868	1	1
	利用者数	利用時間	新規契約	終了(解約)															
5年度	168	797	3	5															
4年度	190	868	1	1															

	2) 利用登録者数・登録ヘルパー数									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用登録者数</th> <th>登録ヘルパー数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>16人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>18人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>		利用登録者数	登録ヘルパー数	5年度	16人	22人	4年度	18人	21人
	利用登録者数	登録ヘルパー数								
5年度	16人	22人								
4年度	18人	21人								
事業効果・評価 方向性等	・登録ヘルパー数、利用者数ともに安定している。									
内 容	2. 日常生活圏域ごとの相談員配置									
実績報告	日野市介護保険事業計画における4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）ごとに地域担当相談員（職員）を配置。利用者やその家族からの相談に応じ、関係機関等との調整を行った。									
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられたが、高齢者宅に訪問することから、ヘルパーの検温や手洗い、マスク着用を続け、また利用者にもサービス提供前の検温や咳エチケット等を依頼して感染予防対策を行った。									
内 容	3. 登録ヘルパー向け研修の提供									
実績報告	登録ヘルパーを対象とした資質向上を目的とする研修を、ケアサービス協力会員研修や福祉人材育成研修等の実施に併せて案内を行った。									
事業効果・評価 方向性等	・参加者は少ないが、今後も引き続き案内、実施する予定。									
内 容	4. 登録ヘルパー募集説明会等による人材確保									
実績報告	市生活援助型スタッフ研修修了者への仕事相談会やケアサービス事業説明会の時に随時案内をした。									
事業効果・評価 方向性等	・今年度の登録ヘルパー数は充足していたが、引き続き案内をする予定。									

事業名	第1号訪問事業生活援助型（訪問型サービスB）
事業形態	介護保険事業（日野市）
財源内訳	介護保険事業収入（利用料）
担当係	在宅サービス係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目 的	孤立しがちな高齢者が地域の中で安心していきいきと暮らせるよう、一人暮らし高齢者等のちょっとした困りごとへの支援を通じて、必要に応じて福祉サービスや支援機関につなげることを目的とする。
内 容	1. 事業対象者への生活援助
実績報告	<p>1) 対象者 市内に住所を有し、次の各号のいずれかの要件を満たす者</p> <p>①おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯</p> <p>②その他、会長が特に必要と認める者</p> <p>2) 内容 あらかじめ登録した活動協力者による専門技術を必要としない概ね30分以内で終了する継続性のない作業 （電池や電球等の交換、ごみ出し（粗大ごみ）、廃棄物の整理等）</p>

	<p>3) サービス概要</p> <p>①サービス提供時間 月曜日から金曜日の8:30から17:00(国民の祝日、年末年始を除く。)</p> <p>②利用料 1回につき500円(概ね30分以内)</p> <p>③サービス開始日 令和4年6月1日</p> <p>4) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>活動件数</th> <th>利用者数</th> <th>利用時間</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>45</td> <td>30</td> <td>38.5</td> <td>電球交換、小家具移動・組立、古紙廃棄、掃除等</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>22</td> <td>13</td> <td>23.0</td> <td>電球交換、買物代行、古紙廃棄等</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 活動協力者数 10人</p>		活動件数	利用者数	利用時間	活動内容	5年度	45	30	38.5	電球交換、小家具移動・組立、古紙廃棄、掃除等	4年度	22	13	23.0	電球交換、買物代行、古紙廃棄等
	活動件数	利用者数	利用時間	活動内容												
5年度	45	30	38.5	電球交換、小家具移動・組立、古紙廃棄、掃除等												
4年度	22	13	23.0	電球交換、買物代行、古紙廃棄等												
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市生活支援体制整備事業(地域支援係担当)において、市内の空白地帯が無いように他団体と連携しながら実施しているが、活動協力者の調整がつかない時は職員が直接対応することもあった。 															
内 容	2. 日常生活圏域ごとの相談員配置															
実績報告	4つの日常生活圏域(ひの・たかはた・とよだ・ひらやま)ごとに地域担当相談員を配置。利用者やその家族からの相談に応じ、他の互近所サービス団体や関係機関等との連携、調整を行った。															
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアサービス、訪問A、高齢者食事宅配サービス等と相互に連動して相談、援助を実施している。 															
内 容	3. 活動協力者の人材確保															
実績報告	安定したサービス提供ができるよう、必要に応じてケアサービス協力会員から活動協力者を募った。															
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・活動協力者の活動できる地域にばらつきがあるので、引き続き活動協力者を確保していく。 															

事業名	移送サービス（日野ハンディキャブ）事業			
事業形態	補助事業（日野市）			
財源内訳	補助金、利用料			
担当係	地域支援係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	身体機能もしくは認知機能を理由に一人で公共交通機関での移動が困難な市内在住・在宅の高齢者や障害者が気軽に外出できるよう、福祉車両を使い外出支援を行う。			
内容	1. 福祉車両による高齢者や障害者の移動・外出支援			
実績報告	1) 保有車両 普通車（車いす対応不可）を1台廃車し、同サイズの車いす対応ができる車両（バネット）を11月より導入した（2台搭載もしくはストレッチャー1台搭載可）。大型ワゴン車よりも車体が小さいため、市内の狭小道路事情等も考慮した配車ができるようになった。			
		形式	台数	内訳
	8台	大型ワゴン車	2台	キャラバン・ハイエース
		普通車	3台	セレナ（車いすリフトあり） バネット（車いす対応スロープあり） プレマシー（車いす対応なし）
軽自動車		3台	AZワゴン（車いす対応スロープあり）	
2) 利用支援				
①実績				
	利用登録者	利用件数	走行距離	
5年度	269人	2,214件	23,986Km	
4年度	264人	2,220件	22,921Km	
②担当者による訪問 新規利用希望のあった利用希望者宅を訪問し、身体状況や自宅付近の確認と併せ、事業説明や利用手続きを行い、必要に応じて他サービスの紹介を行った。				
③利用件数と走行距離の実態 利用の件数等は大きく変わらないが、都心部や遠方へ通院する方が増えていることから走行距離が増えている。				
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 新規登録時に80～90代の高齢者が増加しているとともに、50代等の若い世代の難病等の利用希望者が増加傾向にある。 必ずしも車いす利用ではないが、歩行もしくは認知に課題があり公共交通機関の利用が困難となっている要支援認定者の利用希望が増加傾向にある。 事業の収支形態、車両整備等について検討が急務となっており、日野市高齢福祉課および福祉政策課と関係を密にし、調整を行っていく。 			

内 容	2. 運転協力者の確保（養成）																												
実績報告	<p>1) ハンディキャブ車両の運転協力者を確保・育成 ひの社協だよりやホームページ、日野市公式LINE等を利用して説明会等実施し、運転協力者の募集（確保）を行った。</p> <p>2) 運転協力者に対する継続的な研修 ①運転協力を始める方を対象とした「福祉有償運送運転者講習会」 4人（職員・運転協力者）</p> <p>②患者搬送乗務員研修 A 基礎講習 1人</p> <table border="1" data-bbox="480 544 799 629"> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> <tr> <td>2/26, 27</td> <td>1人</td> </tr> </table> <p>B 再講習 8人</p> <table border="1" data-bbox="480 674 1437 853"> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> <tr> <td>6/9</td> <td>1人</td> <td>6/21</td> <td>1人</td> <td>7/5</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>7/14</td> <td>2人</td> <td>8/4</td> <td>1人</td> <td>10/1</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>12/15</td> <td>1人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3) 運転協力者連絡会 11回 (4/4, 5/9, 6/6, 7/4, 8/1, 9/5, 10/3, 11/7, 12/5, 1/9, 3/5) 利用状況の情報共有のため毎月1回開催した。 ※2月は降雪のため書面開催とした。</p>	開催日	参加者	2/26, 27	1人	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	6/9	1人	6/21	1人	7/5	1人	7/14	2人	8/4	1人	10/1	1人	12/15	1人				
開催日	参加者																												
2/26, 27	1人																												
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者																								
6/9	1人	6/21	1人	7/5	1人																								
7/14	2人	8/4	1人	10/1	1人																								
12/15	1人																												
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・常時専任の職員が事務所に待機することにより、利用者支援を行う運転協力者と情報共有を図り、スムーズな運行やより良い利用者支援につながった。 ・日野市公式LINEを活用し、運転協力者の説明会を周知、開催したことにより、協力者増に生かすことができた。 ・運転協力者3人を迎え入れることができたが、未だ運転協力者不足のため予約を断ることも増えており、今後も運転協力者を募集する必要がある。 																												
内 容	3. 車両等の環境整備																												
実績報告	<p>高齢者や障害者の在宅生活（移動支援）を支えるインフォーマルな活動の検討を行うため、関係会議で意見の提言・情報収集を行った。</p> <table border="1" data-bbox="440 1469 1422 1749"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/21</td> <td>日野市の移動支援に関する情報交換</td> <td>福祉政策課、高齢福祉課、障害福祉課、都市計画課、日野市社会福祉協議会ほか</td> </tr> <tr> <td>8/4</td> <td>福祉有償運送運営協議会</td> <td>福祉有償運送実施団体、関係機関、市民委員、障害当事者ほか [事務局] 福祉政策課</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	参加	6/21	日野市の移動支援に関する情報交換	福祉政策課、高齢福祉課、障害福祉課、都市計画課、日野市社会福祉協議会ほか	8/4	福祉有償運送運営協議会	福祉有償運送実施団体、関係機関、市民委員、障害当事者ほか [事務局] 福祉政策課																			
開催日	内容	参加																											
6/21	日野市の移動支援に関する情報交換	福祉政策課、高齢福祉課、障害福祉課、都市計画課、日野市社会福祉協議会ほか																											
8/4	福祉有償運送運営協議会	福祉有償運送実施団体、関係機関、市民委員、障害当事者ほか [事務局] 福祉政策課																											
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者等の移動困難者に対する社会参加・移動支援策の必要性が大きくなるなか、本事業への利用・期待も大きくなっている一方、運転協力者の確保や事業運営（ランニングコスト）等で大きな課題を抱えているのが現状である。 ・安全運行ができるよう車両の整備・点検に気を配っているが、管理車両3台が初年度登録から10年が経過している。 ・高齢者から障害者まで利用している本事業では、市内でも最大規模で運行し、利用者や福祉関係者から大きな支持を得ているが、課題の解消を図って 																												

	<p>いくことが急務であり、今後の事業のあり方について、引き続き日野市の関係部署等と検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉充実計画により普通車両1台を入れ替えることができたが、軽車両については老朽化も激しいため新規購入（リース含む）の検討が急務となっている。 ・令和7年度に向け、利用料金の変更について検討を進める。
--	---

事業名	移動困難高齢者ワクチン接種会場移送支援業務事業									
事業形態	受託事業（日野市）									
財源内訳	受託金									
担当係	地域支援係									
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる									
目的	移動困難高齢者の新型コロナウイルスワクチンの速やかな接種を促進するため、福祉車両を活用し大規模接種会場まで送迎・付き添いを行う。									
実績報告	<p>高齢福祉課や地域包括支援センターからの要請を受け、移動困難等の事情により新型コロナウイルス感染症ワクチンが接種できない方を接種会場までの移送支援業務を行う。歩行不安等の事情で現地での付き添いが必要な場合は適宜、介助者も併せて派遣する。</p> <p>1) 実施体制</p> <table border="1"> <tr> <td>日程</td> <td>法人名</td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td>(社福) 日野市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>第1・3土曜</td> <td>(社福) 友遊の家</td> </tr> <tr> <td>第2・4土曜、日曜祝日</td> <td>(社福) マザアス</td> </tr> </table> <p>2) 実績 2件（内訳：往復移送2件/付添い支援2件）</p>		日程	法人名	平日	(社福) 日野市社会福祉協議会	第1・3土曜	(社福) 友遊の家	第2・4土曜、日曜祝日	(社福) マザアス
	日程	法人名								
	平日	(社福) 日野市社会福祉協議会								
第1・3土曜	(社福) 友遊の家									
第2・4土曜、日曜祝日	(社福) マザアス									
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍も落ち着き、利用は2件に留まった。 ・運転者だけでなく必要に応じて付添者も同行したことにより、家族や支援者以外の人との会話ができる場面を作れたことで、利用者から喜んでもらうことができた。 									

事業名	高齢者食事宅配サービス事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	在宅サービス係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	身体状況や疾病等により買い物・調理が困難となった在宅高齢者等を対象に、栄養管理した昼食弁当を提供し、食の確保や健康状態の維持を支援する。また、配達時は利用者へ直接手渡すことで見守り・安否確認を行う。		
内容	1. 在宅高齢者への栄養管理した昼食の提供		
実績報告	新規申込者数		
		<table border="1"> <tr> <td>申込者数</td> <td>内訳</td> </tr> </table>	申込者数
申込者数	内訳		

	5年度	114人	ひとり暮らし：60件 日中ひとり：11件	高齢者世帯：41件 その他：2件
	4年度	124人	ひとり暮らし：62件 日中ひとり：9件	高齢者世帯：48件 その他：5件
内容	2. 利用者の見守り・安否確認の実施			
実績報告	1) 配食事業者 4事業所(業務委託) ①マザアス ②夢ふうせん ③ベルハート・エール ④福祉カフェテリア			
	2) 配食実績			
		利用者数	配食数	内訳
	5年度	3,845人	57,244食	① 17,369食 ② 7,467食 ③ 15,193食 ④ 17,215食
4年度	3,665人	54,511食	① 17,661食 ② 6,920食 ③ 13,149食 ④ 16,781食	
事業効果・評価 方向性等	3) 安否確認			
		対応件数	安否確認結果	
	5年度	360件	無事354件・救急2件・逝去1件・その他3件	
	4年度	299件	無事296件・救急1件・逝去2件	
内容	3. 安定したサービス体制の確保			
実績報告	1) 情報交換会 1回 市・配食事業者・社協による情報交換会。今年度は「制度の見直し」に論点を絞り、情報交換および意見交換を行った。			
		開催日	参加者	内容
	2/19	高齢福祉課、社協 配食4事業者	高齢者食事宅配サービス(昼食) 見直しの方向性について	
2) 配食事業者調理施設訪問 以下の日程で調理施設の訪問を実施。調理環境を確認するとともに、各事業者が抱える課題のヒアリングを行った。				
	訪問日	事業者	訪問者数	
7/18	福祉カフェテリア マザアス	9人 (子ども家庭支援センター 高齢福祉課、社協)		
7/28	ベルハート・エール 夢ふうせん			

	3) 制度改正に向けた市との打合せ 令和4年度行政評価において、本制度の抜本の見直しが必要との評価を受け、高齢福祉課と見直しに向けて打合せを重ねた。(5/23, 6/22, 8/17)
事業効果・評価 方向性等	・制度の見直しについては年度当初から打合せを重ね、年度末によりやく方向性が決まり、配食事業者にも説明を行うことができた。次年度は利用者／家族／支援者に向けて、市とともに丁寧な説明を行いたい。

事業名	産後家庭向け配食サービス事業				
事業形態	受託事業（日野市）				
財源内訳	受託金				
担当係	在宅サービス係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	産後の母親を対象に栄養管理した昼食弁当を提供することで健康を保持し、安定した新生児の育児支援を目指す。また、配達時は産後の母親の健康状態等の見守りを行う。				
内容	1. 産後の母親への栄養管理した昼食の提供				
実績報告	新規申込者数				
		件数及び申込者数		内訳	
	5年度	95件	115人	申込時期 産前：27件 産後：68件	
4年度	96件	131人	申込時期 産前：27件 産後：69件		
内容	2. 利用者の見守り・安否確認の実施				
実績報告	1) 配食事業者 4事業所（業務委託） ①マザアス ②夢ふうせん ③ベルハート・エール ④福祉カフェテリア				
	2) 実績				
		利用者数	配食数	内訳	安否確認 対応件数
5年度	193人	1,731食	①441食 ②269食 ③777食 ④244食	0件	無事 0件 救急 0件 その他 0件
4年度	253人	2,174食	①501食 ②296食 ③1091食 ④286食	0件	無事 0件 救急 0件 その他 0件
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・初回契約のための訪問時や利用延長相談時に利用者より聞き取りをし、体調や生活状況等気になることがある場合は子ども家庭支援センターと情報を共有した。 ・新型コロナウイルスがやや収束し里帰り出産が可能になったためか、利用者数がやや減少した。ポストコロナの本事業の在り方について、子ども家庭支援センターとともに、今一度検討を行っていきたい。 				

内 容	3. 安定したサービス体制の確保										
実績報告	<p>1) 情報交換会 開催なし 今年度は産後配食に関する情報交換を行わなかった。次年度開催したい。</p> <p>2) 配食事業者調理施設訪問 以下の日程で調理施設の訪問を実施。調理環境を確認するとともに、各事業者が抱える課題のヒアリングを行った。</p>										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 405 608 450">訪問日</th> <th data-bbox="608 405 932 450">事業者</th> <th data-bbox="932 405 1422 450">訪問者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 450 608 539" rowspan="2">7/18</td> <td data-bbox="608 450 932 495">福祉カフェテリア</td> <td data-bbox="932 450 1422 633" rowspan="4">9人 (高齢福祉課、子ども家庭支援センター、社協)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 495 932 539">マザアス</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 539 608 629" rowspan="2">7/28</td> <td data-bbox="608 539 932 584">ベルハート・エール</td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 584 932 629">夢ふうせん</td> </tr> </tbody> </table>	訪問日	事業者	訪問者数	7/18	福祉カフェテリア	9人 (高齢福祉課、子ども家庭支援センター、社協)	マザアス	7/28	ベルハート・エール	夢ふうせん
	訪問日	事業者	訪問者数								
	7/18	福祉カフェテリア	9人 (高齢福祉課、子ども家庭支援センター、社協)								
		マザアス									
7/28	ベルハート・エール										
	夢ふうせん										
<p>3) 産前産後弁当宅配事業連絡会 同様の事業を行っている他団体(狭山市 comono、津山市 HELLO BABY プロジェクト)や他自治体(鎌倉市)と令和4年7月より「産前産後弁当宅配事業者交流会」を発足し、定期的に情報交換を行っている。</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 826 608 871">日時</th> <th data-bbox="608 826 1422 871">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 871 608 1532">7/23</td> <td data-bbox="608 871 1422 1532"> <p>【会場】 サンパーク奥富多目的ホール (埼玉県狭山市)</p> <p>【名称】 産前産後弁当宅配事業から「孤育て」支援を考える “つながる”シンポジウム</p> <p>【内容】 ①各団体の取り組み ②パネルディスカッション ③質疑応答</p> <p>【登壇団体】 こそだて支援 comono (埼玉県狭山市) HELLO BABY PROJECT (岡山県津山市) はらかわ助産院 (埼玉県狭山市) 日野市社会福祉協議会 日野市子ども家庭支援センター</p> <p>【参加者】 50~60人</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1532 608 1939">2/29</td> <td data-bbox="608 1532 1422 1939"> <p>【会場】 オンライン</p> <p>【内容】 ①産前産後弁当宅配事業の現状と課題について ②守随教授よりコメント</p> <p>【参加団体】 こそだて支援 comono (埼玉県狭山市) HELLO BABY PROJECT (岡山県津山市) 狭山市保健センター (埼玉県狭山市) 日野市社会福祉協議会、日野市子ども家庭支援センター 守随香 氏 (共立女子大学家政学部教授)</p> </td> </tr> </tbody> </table>	日時	詳細	7/23	<p>【会場】 サンパーク奥富多目的ホール (埼玉県狭山市)</p> <p>【名称】 産前産後弁当宅配事業から「孤育て」支援を考える “つながる”シンポジウム</p> <p>【内容】 ①各団体の取り組み ②パネルディスカッション ③質疑応答</p> <p>【登壇団体】 こそだて支援 comono (埼玉県狭山市) HELLO BABY PROJECT (岡山県津山市) はらかわ助産院 (埼玉県狭山市) 日野市社会福祉協議会 日野市子ども家庭支援センター</p> <p>【参加者】 50~60人</p>	2/29	<p>【会場】 オンライン</p> <p>【内容】 ①産前産後弁当宅配事業の現状と課題について ②守随教授よりコメント</p> <p>【参加団体】 こそだて支援 comono (埼玉県狭山市) HELLO BABY PROJECT (岡山県津山市) 狭山市保健センター (埼玉県狭山市) 日野市社会福祉協議会、日野市子ども家庭支援センター 守随香 氏 (共立女子大学家政学部教授)</p>					
日時	詳細										
7/23	<p>【会場】 サンパーク奥富多目的ホール (埼玉県狭山市)</p> <p>【名称】 産前産後弁当宅配事業から「孤育て」支援を考える “つながる”シンポジウム</p> <p>【内容】 ①各団体の取り組み ②パネルディスカッション ③質疑応答</p> <p>【登壇団体】 こそだて支援 comono (埼玉県狭山市) HELLO BABY PROJECT (岡山県津山市) はらかわ助産院 (埼玉県狭山市) 日野市社会福祉協議会 日野市子ども家庭支援センター</p> <p>【参加者】 50~60人</p>										
2/29	<p>【会場】 オンライン</p> <p>【内容】 ①産前産後弁当宅配事業の現状と課題について ②守随教授よりコメント</p> <p>【参加団体】 こそだて支援 comono (埼玉県狭山市) HELLO BABY PROJECT (岡山県津山市) 狭山市保健センター (埼玉県狭山市) 日野市社会福祉協議会、日野市子ども家庭支援センター 守随香 氏 (共立女子大学家政学部教授)</p>										
<p>4) 利用者へアンケートの実施 配食利用終了時に利用者へアンケートを実施している。</p>											

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 産後配食のシンポジウムにおいては、産後配食の重要性を全国に発信できたことに加え、今までオンラインで交流していたメンバーが初めて顔を合わせて情報交換を行うことができ、非常に有意義な時間となった。 アンケートでは概ね高評価をいただいているが「産後2か月以上利用したい」「量が物足りない」「配達時間が早すぎる」といった声も寄せられているため、市や事業者とともに改善策を検討していきたい。
-----------------	---

事業名	車椅子貸出事業		
事業形態	自主事業		
財源内訳	利用料		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	高齢、障害、怪我等で歩行が困難な方に短期間の車椅子の貸出を行う。		
内容	1. 利用状況の把握、在庫管理		
実績報告		貸出件数	
	5年度	201件	
	4年度	229件	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年5月8日以降に新型コロナウイルス感染症が5類に移行された影響で外出機会が増えたのか、貸出件数がコロナ禍前の水準に戻った。 経年劣化による車椅子の故障が相次いだ。日野事務所及び高幡事務所の在庫管理及び点検を徹底しつつも車椅子が不足している状況が続いたため、今後は貸出用車椅子の購入も検討していきたい。 		

事業名	コミュニケーション支援事業			
事業形態	受託事業（日野市）			
財源内訳	受託金			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	聴覚障害者の情報保障やコミュニケーションの円滑化を図り、社会参加の機会向上のため、手話通訳者等を派遣する。 聴覚障害者が地域で安心して暮らせるよう相談を受け、関係機関と連携して支援する。			
内容	1. 利用者支援			
実績報告	聴覚障害者に対して手話通訳者・要約筆記者を派遣し、当該聴覚障害者の日常生活を支援。			
	1) 利用実績			
	①手話通訳 () 内は東京手話通訳等派遣センターによる派遣数			
		利用者数	利用件数	派遣人数
	5年度	47人	410件 (86件)	531人 (103人)
	4年度	38人	404件 (74件)	476人 (81人)

	<p>②要約筆記</p> <table border="1" data-bbox="480 138 1125 280"> <tr> <td></td> <td>利用者数</td> <td>利用件数</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>3人</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>3人</td> <td>4件</td> </tr> </table> <p>2) 遠隔手話通訳</p> <p>令和5年7月からの事業開始にあわせ、システム提供会社の(株)プラスヴォイス、日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会、日野市障害福祉課とともに準備を進めた。</p> <p>①日野市登録手話通訳者向け説明会 4/13 (木) 出席 17人 (通訳者 15人、聴覚障害者 2人)</p> <p>②利用者向け説明会 5/24 (水) 出席 17人 (通訳者 10人、聴覚障害者 7人)</p> <p>③遠隔手話通訳 周知動画作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入編の撮影 6/13 (火) 協力：日野市聴覚障害者協会 2人、日野市登録手話通訳者 2人 ・本編の撮影 7/21 (金) 協力：日野市聴覚障害者協会 2人、日野市登録手話通訳者 2人 日野市障害福祉課 <p>④利用実績 (再掲)</p> <table border="1" data-bbox="480 1010 1125 1104"> <tr> <td></td> <td>利用者数</td> <td>利用件数</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>2人</td> <td>9件</td> </tr> </table>		利用者数	利用件数	5年度	3人	29件	4年度	3人	4件		利用者数	利用件数	5年度	2人	9件
	利用者数	利用件数														
5年度	3人	29件														
4年度	3人	4件														
	利用者数	利用件数														
5年度	2人	9件														
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から日野市の補助事業から委託事業となった。 ・令和5年4月から日野市コミュニケーション支援事業実施要綱が改正されたことを受け、聴覚障害者が事前に利用契約をする必要がなくなり、新規で利用する方の利便性が向上した。 ・遠隔手話通訳について、手話通訳者及び聴覚障害者向け説明会をそれぞれ開催した。実際の機器を利用した実践的な説明会を開くことができた。 ・昨年度までは日野市からの依頼はすべて障害福祉課が利用者（申請者）となっていたが、5年度から担当課からの直接依頼となったため手話通訳の利用者数が増加した。また、要約筆記の利用件数も約7倍増加した。 ・手話通訳者から利用者支援に関する報告を受け、必要に応じ関係機関と情報共有を図った。 															
内 容	2. 手話通訳者の確保・定着															
実績報告	<table border="1" data-bbox="480 1615 940 1758"> <tr> <td></td> <td>登録者数</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>19人</td> </tr> </table>		登録者数	5年度	17人	4年度	19人									
	登録者数															
5年度	17人															
4年度	19人															
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・4年度末に通訳者3人が退職したが、5年度新たに2人が手話通訳者として活動を開始した。 ・年度途中で当年度登録した通訳者1人がご家庭の都合で退職、年度末に1人が仕事の都合で退職した。人材が定着せず登録者数が横ばいもしくは減少する状況が続いている。 															
内 容	3. 手話通訳者の資質向上															
実績報告	新人（経験歴3年未満の者）を対象に新人研修を行った。対象者4人のう															

	<p>ち3人が受講した。</p> <p>①打合せ R5年3/20(月)</p> <p>②内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/23</td> <td>日野市障害者関係団体連絡協議会 総会 見学</td> </tr> <tr> <td>5/11</td> <td>オリエンテーション・聞き取り表現</td> </tr> <tr> <td>6/8</td> <td>講演「手話通訳者の心構えについて」 講師 渡邊早苗 氏 (東京手話通訳等派遣センター)</td> </tr> <tr> <td>6/22</td> <td>読み取り練習 協力 田原直幸 氏 (日野市聴覚障害者協会)</td> </tr> <tr> <td>6/29</td> <td>読み取り練習 協力 有山一博 氏 (日野市聴覚障害者協会)</td> </tr> <tr> <td>7/2</td> <td>夏の体験ボランティア参加者説明会 見学</td> </tr> <tr> <td>7/6</td> <td>模擬通訳・まとめ</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	4/23	日野市障害者関係団体連絡協議会 総会 見学	5/11	オリエンテーション・聞き取り表現	6/8	講演「手話通訳者の心構えについて」 講師 渡邊早苗 氏 (東京手話通訳等派遣センター)	6/22	読み取り練習 協力 田原直幸 氏 (日野市聴覚障害者協会)	6/29	読み取り練習 協力 有山一博 氏 (日野市聴覚障害者協会)	7/2	夏の体験ボランティア参加者説明会 見学	7/6	模擬通訳・まとめ
開催日	内容																
4/23	日野市障害者関係団体連絡協議会 総会 見学																
5/11	オリエンテーション・聞き取り表現																
6/8	講演「手話通訳者の心構えについて」 講師 渡邊早苗 氏 (東京手話通訳等派遣センター)																
6/22	読み取り練習 協力 田原直幸 氏 (日野市聴覚障害者協会)																
6/29	読み取り練習 協力 有山一博 氏 (日野市聴覚障害者協会)																
7/2	夏の体験ボランティア参加者説明会 見学																
7/6	模擬通訳・まとめ																
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会の全面的な協力のもと研修を実施した。今後も連携を図り、手話通訳者の技術向上に努めたい。 ・5年度から委託事業となり公費の予算がついたことから、外部講師を招くことができ、より充実したプログラムとなった。 																
内 容	4. 関係機関との連携																
実績報告	<ol style="list-style-type: none"> 1) 意思疎通支援に関する運営委員会 2回 (8/4, 2/19) 2) 日野市登録手話通訳者の会 定例会への出席 4回 (4/20, 7/20, 8/17, 10/19) 																
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関とは日頃から率直な意見交換をして事業を運営している。今後も連携を図りながら取り組んでいきたい。 																

事業名	ウクライナ避難者支援				
事業形態	受託事業（日野市）				
財源内訳	受託金				
担当係	在宅サービス係・権利擁護係・地域支援係・ボランティア係・総務係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	ロシアによる軍事侵攻により、ウクライナからの避難を余儀なくされた方達の市内における生活を支援すること。				
内容	1. 訪問支援				
実績報告	避難者の居宅を職員が直接訪問し、困りごと等の聞き取りを行い、買い物同行、行政サービスに繋ぐ等の支援を行う。また、必要に応じてウクライナ避難者との通訳が可能な通訳支援員が同行する。把握している市内の避難者は5人。				
		利用者数	主な内容	利用件数	時間
	4月	3人	フードパントリー、ハローワークへの日本語学習申込同行、家具の買い物同行、地域イベントの情報提供	5	10
	5月	3人	同居人との生活面での相談への同席、ゴミ出しルールの説明、日本語学習の情報提供	3	3
	6月	3人	市外の都営住宅への転居に向けた確認、在留資格とマイナンバーカード更新手続き同行、寝具買い物同行	2	6
	7月	3人	市営住宅の更新に向けた面談、転居後の居宅清掃に関する業者調整、光熱水費の未納対応	3	5
	8月	2人	生活保護申請手続きおよび光熱水費滞納分支払い同行、冷房器具の寄贈支援調整	6	14
	9月	2人	暗号通貨詐欺被害に関する申立書類記入支援、郵送物や書類の確認、税金や公共料金の支払い同行	7	13
	10月	2人	暗号通貨詐欺被害に関する申立書の不備修正および再送の支援、給付金の手続きに関する生活保護ケースワーカーとの調整	2	3
	11月	2人	申し立てに関する東京弁護士会とのオンライン会議の支援、金融ADR（※1）手続きに向けた市担当課への引き継ぎ、スーツケースの開閉確認、ライフラインの状態確認、給湯器の電池交換支援	3	4
	12月	1人	金融ADR手続きに向けた市担当課および東京弁護士会との打合せ	1	3
	1月	0人	なし	0	0
	2月	1人	金融ADRの調停の結果、全額返金となり、東京弁護士会への書類手続き等を支援	2	5
	3月	1人	診療所受診に関して市担当ケースワーカーと連携支援	2	3
	5年度 合計			36	69
	4年度 合計			25	76
※1 金融ADRとは、①金融機関と利用者とのトラブル（紛争）を、②業界ごとに設立された金融ADR機関において、③公正・中立な専門家（弁護士等の紛争解決委					

	員)が和解案を提示する等して、④裁判以外の方法で解決を図る制度。			
内 容	2. 相談支援			
実績報告	訪問支援以外において、ウクライナ避難者からの相談を受け対応した。			
		利用者数	主な内容	利用 件数
	4月	2人	光熱水費の高騰による現金不足、身元保証人変更、近隣住民からの相談、買い物先の店舗情報	5
	5月	1人	ゴミ出しルールの確認	3
	6月	2人	手術予定の確認、転居に向けた段取りの確認	3
	7月	0人	訪問支援のみ	0
	8月	1人	自治会の情報提供、給付金に関する情報確認	4
	9月	1人	避難者の安否確認	1
	10月	1人	給付金請求手続きの方法確認	1
	11月	0人	訪問支援のみ	0
	12月	0人	訪問支援のみ	0
	1月	1人	生活状況の確認およびイベント出演の段取り確認	1
	2月	0人	訪問支援のみ	0
	3月	0人	訪問支援のみ	0
		5年度 合計		18
		4年度 合計		19
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者の生活状況の違いによって、自治会等の近隣住民、家具取扱店、清掃業者、電気・ガス・水道等のインフラ企業、ハローワーク、日野市役所といった行政機関等、多彩な関係者との連絡調整を行った。 ・ウクライナ語での通訳が可能な社会資源がかなり限定的なため、日本語の理解や習熟度によって、繊細なやり取りや詳細な説明が必要な場合に、普段の支援以上の時間とエネルギーを求められることがあった。 ・現在市内に居住している避難者が転入してきてから6か月を越えているため、ケースカンファレンス等で今後の生活上の希望を確認していくことになった。 ・利用者から暗号通貨詐欺被害に巻き込まれたという訴えがあったため、市担当課と相談して生活支援面を社協、それ以外を市で役割分担することとした。 			

ボランティア活動推進事業

事業名	日野市ボランティア・センター																												
事業形態	自主事業																												
財源内訳	参加費、手数料、会費、寄附金、歳末たすけあい募金配分金																												
担当係	ボランティア係																												
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる																												
目的	市民ボランティアや市民活動団体の活動の支援を行うこと。 市民からの相談を受け、解決まで支援を行うこと。 それぞれの個人や団体の多様性を力にし、支え合える環境を作ることを目的とする。																												
事業内容	1. ボランティア相談・コーディネート																												
実績報告	<p>1) ボランティアコーディネート ボランティア活動をやりたい人と、ボランティアに手伝ってほしい個人や団体をマッチングする「ボランティアコーディネート」を行った。</p> <p>① ボランティア登録者・活動者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">個人</th> <th colspan="2">団体</th> </tr> <tr> <th>登録者</th> <th>活動者</th> <th>登録団体</th> <th>活動団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>392人</td> <td>延べ64人</td> <td>67団体</td> <td>延べ17団体</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>325人</td> <td>延べ45人</td> <td>69団体</td> <td>延べ14団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>※活動者に昨年度から継続的に活動している人数は含まない。</p> <p>② コーディネート結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ニード受付</th> <th>成立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>72件</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>60件</td> <td>46件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 窓口相談業務 新型コロナウイルス感染症が5類になった頃から少しずつ施設や地域からのボランティア依頼が増えたため、コロナ禍前のようなボランティア窓口相談員（ボランティアコーディネート等の補助員）によるボランティアコーディネート業務を行えるようになってきた。</p> <p>3) 多様で複雑な課題を抱える方への相談対応 不登校・引きこもり・精神疾患・低所得等多様で複雑な課題を抱える方からの相談に対して、電話や訪問での相談対応や他機関への紹介を行った。</p>		個人		団体		登録者	活動者	登録団体	活動団体	5年度	392人	延べ64人	67団体	延べ17団体	4年度	325人	延べ45人	69団体	延べ14団体		ニード受付	成立	5年度	72件	55件	4年度	60件	46件
	個人		団体																										
	登録者	活動者	登録団体	活動団体																									
5年度	392人	延べ64人	67団体	延べ17団体																									
4年度	325人	延べ45人	69団体	延べ14団体																									
	ニード受付	成立																											
5年度	72件	55件																											
4年度	60件	46件																											
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が5類になり、ボランティアの依頼件数が上半期だけでも昨年を上回った。 下半期もイベントが多数開催され、ボランティア依頼件数が増加した。 窓口相談員の増員を図り、ボランティアコーディネートを安定してできる環境を整備する。 																												

事業内容	2. 多様なネットワークの構築			
実績報告	1) 市民活動団体との連携			
	①まちづくり市民フェア2023 実行委員会企画の企画			
	昨年対面による通常開催を行うようになり、昨年好評であった市民のチャレンジの場としてのハンドメイドショップやフリーマーケット等継続して開催し、昨年に続き多くの市民に参加いただけるような企画となった。			
	【実行委員会】			
	開催日	内容		
	4/27	市民フェア実行委員会の運営について		
	5/24	企画、スケジュール等について		
	6/6	企画、部会担当決めについて		
	6/20	各部会の進捗、広報、会場レイアウトについて		
	7/4			
	7/11			
	7/31			
	8/30	実行委員会 各部会進捗報告、全体説明会について		
	9/15	全体説明会 市民フェアの概要説明、参加形態別説明		
	9/26	各部会の進捗、前日当日のスケジュール確認		
10/5	各部会からの報告及び検討事項 アンケートについて パンフレット確認 準備から当日までの段取り最終確認			
10/15	まちづくり市民フェア2023 本番			
11/15	反省会			
【まちづくり市民フェア2023】				
開催日	会場	参加団体	来場者数	
10/15	日野市市民の森 ふれあいホール	97団体	約2,000人	
②東京日野ロータリークラブ、東京飛火野ロータリークラブによるフードドライブ活動への協力				
開催日	会場	寄付量		
5/21	イオンモール多摩平の森	385.6kg		
③まち活 ボランティア・市民活動を共に行う仲間づくりと、定年退職前後の市民の社会参加促進を目的とした交流イベント。				
開催日	内容		参加者	
5/20	①市民活動はじめて講座 ②パネルディスカッション		27人	
6/3	①市民活動PR ②市民活動はじめて相談会		58人	
④「みんなの遊・友ランド」企画・運営協力 毎年6月に開催される、障害の有無に関わらず子どもたちが風船遊びを楽しむイベント。当日の手伝い及びボランティア派遣（主にIWUSA）の調整等を行った。				

開催日	会場	内容	参加者数
6/11	日野市市民の森 ふれあいホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ポッチャ ・工作コーナー ・またがる風船 ・作品展示 ・お絵描き風船 ・わいわい文庫 	359人

2) 大学との連携強化

①多摩地域の大学と地域によるネットワーク（ボラネット多摩）

開催日	内容
4/24	<ul style="list-style-type: none"> ・近況報告 ・みんなの遊・友ランドについて

②国際ボランティア学生協会（IVUSA）との協定に基づいた活動 令和3年3月に協定を締結。さらなる連携に向けて定例会を開催した。

開催日	内容
4/24	年間計画について
5/22	カウンターパート祭りについて
6/26	情報交換
7/31	カウンターパート祭り
9/20	まちづくり市民フェアについて 防災・減災シンポジウムについて
10/30	ヤングスマホお助け隊について
11/27	災害ボランティア・センター立ち上げ訓練の打合せ
12/20	中央大学にて災害ボランティア・センター 立ち上げ訓練を実施
1/30	立ち上げ訓練の振り返り 被災地支援の物品購入を検討
2/27	みんなの遊・友ランドについて 防災・減災シンポジウムについて
3/18	対面にて次年度代表と顔合わせ 購入した被災地支援の希望物品を確認

③東京都立大学スポーツボランティア事前学習への講師派遣

開催日	内容
7/15	スポーツボランティアの意義や効果について

④明星大学人文学部ゲストスピーカー派遣

開催日	内容
7/18	地域のニーズに応じた日野市オリジナル活動～防災

3) 他団体との連携強化

①NPO法人フードバンクTAMAとの連携

- 社会福祉協議会と協働しているフードパントリー事業の箱詰め作業等へボランティア派遣調整と、作業の支援を行った。
(配布実績は、組織運営事業で報告)

●2023フードバンクTAMA第7回シンポジウムの共催

	開催日	場所	内容	参加者				
	7/15	イオンモール多摩平森 3Fイオンホール	子ども・若者の未来	57人				
	<p>②日野市セーフティネットコールセンター事業との連携 セーフティネットコールセンター就労支援準備事業と連携し、利用者がフードパントリー事業の箱詰め作業やボランティア・センターの軽作業等を行った。</p> <p>③南多摩ブロックボランティア担当者会議 南多摩ブロック（日野、ハ王子、町田、多摩、稲城）および東京ボランティア・市民活動センターのボランティア担当者が集い、市境で災害が発生した際の近隣市の対応について協議・訓練を行った。</p>							
	開催日	内容		会場				
	9/28	南多摩ブロック災害ボランティア備品研修		日野市社協				
	11/30	近況報告・合同勉強会について		稲城市社協				
	1/23	近況報告・防災街歩きについて		多摩市社協				
	<p>④ご近所会議 中央公民館、ひの児童館、ボランティア・センター、日野図書館による連携会議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/13, 5/25, 6/22, 7/20, 8/31, 9/28 11/30, 12/14, 1/18, 2/29, 3/21</td> <td>各館の情報共有 七タイトの企画 地域連携についての相談 四館合同防災訓練について</td> </tr> </tbody> </table>				開催日	内容	4/13, 5/25, 6/22, 7/20, 8/31, 9/28 11/30, 12/14, 1/18, 2/29, 3/21	各館の情報共有 七タイトの企画 地域連携についての相談 四館合同防災訓練について
開催日	内容							
4/13, 5/25, 6/22, 7/20, 8/31, 9/28 11/30, 12/14, 1/18, 2/29, 3/21	各館の情報共有 七タイトの企画 地域連携についての相談 四館合同防災訓練について							
	<p>⑤IVUSA日野クラブとの連携 令和6年元日に発災した能登半島地震の災害ボランティア活動に際しての活動支援として資機材提供を行った。</p> <p>⑥日野市社協をストックヤードに東京都社会福祉協議会の災害用備品を保管しているため、災害用備品の活用方法や道具の使い方等の研修を多摩地域の社協に呼び掛けて実施した。</p>							
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり市民フェア2023は、昨年に引き続き参加者が2,000人を超える大きなイベントとなり、市民活動団体や個人の活動報告、体験、チャレンジする場として定着しつつある。 ・国際ボランティア協会IVUSA日野クラブと企画したカウンターパート（関係機関）との情報交換の場をオンラインで開催することができた。IVUSAが日野市内の様々な場面で活動していることから、地域のHUBの役割を担う可能性を感じることができた。 							
事業内容	3. ボランティア情報の発信							
実績報告	<p>1) 情報紙「ボランティア①インフォメーション」の発行 発行日：毎月5日 発行数：各月3500部 掲載内容：①ボランティア募集情報 ②市内のイベント・講座情報 ③市民活動団体の紹介 ④助成金情報 等 配布先：ボランティア登録者、公共施設、福祉施設、</p>							

	<p>図書館、飲食店、スーパー 等 配布方法：配布ボランティアによる戸別配布、郵送、交換便</p> <p>2) SNS (公式LINE、Facebook、X (旧Twitter)) の運営 イベント開催時等で随時更新</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>4年度</td> <td>5年度</td> </tr> <tr> <td>公式LINE</td> <td>346人</td> <td>568人</td> </tr> <tr> <td>Facebook</td> <td>672人</td> <td>715人</td> </tr> <tr> <td>X (旧Twitter)</td> <td>211人</td> <td>290人</td> </tr> </table>		4年度	5年度	公式LINE	346人	568人	Facebook	672人	715人	X (旧Twitter)	211人	290人																																																						
	4年度	5年度																																																																	
公式LINE	346人	568人																																																																	
Facebook	672人	715人																																																																	
X (旧Twitter)	211人	290人																																																																	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 公式LINEのリッチメニューをリニューアルし、ボランティアを随時募集している情報を見られる様にした。公式LINEをみてボランティアに繋がったケースが数件あった。 リッチメニューからボランティア登録・団体登録・関心のあるボランティア情報を収集できるフォームを実装した。 																																																																		
事業内容	4. 福祉体験講座																																																																		
実績報告	<p>体験や当事者の講演を通して、福祉や障害のある方について学ぶ機会を提供することを目的に、福祉施設職員、ボランティア等と講座を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/8</td> <td>車いす体験・ブラインドウォーク体験 (社会福祉法人おおぞらと共同開催)</td> <td>日野第四中学校</td> </tr> <tr> <td>10/4</td> <td>福祉体験スタートアップ授業</td> <td>東光寺小学校</td> </tr> <tr> <td>10/12</td> <td>高齢者疑似体験</td> <td>滝合小学校</td> </tr> <tr> <td>11/20</td> <td>車いす体験・ブラインドウォーク体験</td> <td>東光寺小学校</td> </tr> <tr> <td>11/22</td> <td>講話 堀場照美 氏 (聴覚障害) 手話講座 (ひの手話サークル)</td> <td>夢が丘小学校</td> </tr> <tr> <td>11/24</td> <td>講話 宮野谷義傑 氏 (車いす利用者) 講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害)</td> <td>七生中学校</td> </tr> <tr> <td>12/1</td> <td>車いす体験・ブラインドウォーク体験</td> <td>七生中学校</td> </tr> <tr> <td>12/7</td> <td>車いす体験</td> <td>明星大学建築学科</td> </tr> <tr> <td>12/13</td> <td>講話 竹本功 氏 (認知症の家族)</td> <td>滝合小学校</td> </tr> <tr> <td>12/14</td> <td>福祉体験スタートアップ授業</td> <td>平山小学校</td> </tr> <tr> <td>12/15</td> <td>講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験</td> <td>平山小学校</td> </tr> <tr> <td>12/16</td> <td>講話 堀場照美 氏 (聴覚障害) 手話講座 (ひの手話サークル)</td> <td>実践女子大学</td> </tr> <tr> <td>12/18</td> <td>講話 齋藤あきの 氏講話(LGBTQ+)</td> <td>平山小学校</td> </tr> <tr> <td>1/15</td> <td>福祉体験スタートアップ授業</td> <td>潤徳小学校</td> </tr> <tr> <td>1/19</td> <td>講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験</td> <td>潤徳小学校</td> </tr> <tr> <td>1/25</td> <td>手話講座 (ひの手話サークル)</td> <td>潤徳小学校</td> </tr> <tr> <td>1/27</td> <td>福祉学習発表</td> <td>平山小学校</td> </tr> <tr> <td>1/27</td> <td>命の授業</td> <td>豊田小学校</td> </tr> <tr> <td>2/1</td> <td>福祉体験スタートアップ授業</td> <td>日野第一小学校</td> </tr> <tr> <td>2/5</td> <td>講話 中野健吾 氏 (肢体不自由) 車いす体験</td> <td>日野第一小学校</td> </tr> <tr> <td>2/13</td> <td>講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験</td> <td>南平小学校</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	対象者	9/8	車いす体験・ブラインドウォーク体験 (社会福祉法人おおぞらと共同開催)	日野第四中学校	10/4	福祉体験スタートアップ授業	東光寺小学校	10/12	高齢者疑似体験	滝合小学校	11/20	車いす体験・ブラインドウォーク体験	東光寺小学校	11/22	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害) 手話講座 (ひの手話サークル)	夢が丘小学校	11/24	講話 宮野谷義傑 氏 (車いす利用者) 講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害)	七生中学校	12/1	車いす体験・ブラインドウォーク体験	七生中学校	12/7	車いす体験	明星大学建築学科	12/13	講話 竹本功 氏 (認知症の家族)	滝合小学校	12/14	福祉体験スタートアップ授業	平山小学校	12/15	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験	平山小学校	12/16	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害) 手話講座 (ひの手話サークル)	実践女子大学	12/18	講話 齋藤あきの 氏講話(LGBTQ+)	平山小学校	1/15	福祉体験スタートアップ授業	潤徳小学校	1/19	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験	潤徳小学校	1/25	手話講座 (ひの手話サークル)	潤徳小学校	1/27	福祉学習発表	平山小学校	1/27	命の授業	豊田小学校	2/1	福祉体験スタートアップ授業	日野第一小学校	2/5	講話 中野健吾 氏 (肢体不自由) 車いす体験	日野第一小学校	2/13	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験	南平小学校
	開催日	内容	対象者																																																																
	9/8	車いす体験・ブラインドウォーク体験 (社会福祉法人おおぞらと共同開催)	日野第四中学校																																																																
	10/4	福祉体験スタートアップ授業	東光寺小学校																																																																
	10/12	高齢者疑似体験	滝合小学校																																																																
	11/20	車いす体験・ブラインドウォーク体験	東光寺小学校																																																																
	11/22	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害) 手話講座 (ひの手話サークル)	夢が丘小学校																																																																
	11/24	講話 宮野谷義傑 氏 (車いす利用者) 講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害)	七生中学校																																																																
	12/1	車いす体験・ブラインドウォーク体験	七生中学校																																																																
	12/7	車いす体験	明星大学建築学科																																																																
	12/13	講話 竹本功 氏 (認知症の家族)	滝合小学校																																																																
	12/14	福祉体験スタートアップ授業	平山小学校																																																																
	12/15	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験	平山小学校																																																																
	12/16	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害) 手話講座 (ひの手話サークル)	実践女子大学																																																																
	12/18	講話 齋藤あきの 氏講話(LGBTQ+)	平山小学校																																																																
	1/15	福祉体験スタートアップ授業	潤徳小学校																																																																
	1/19	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験	潤徳小学校																																																																
	1/25	手話講座 (ひの手話サークル)	潤徳小学校																																																																
	1/27	福祉学習発表	平山小学校																																																																
	1/27	命の授業	豊田小学校																																																																
	2/1	福祉体験スタートアップ授業	日野第一小学校																																																																
	2/5	講話 中野健吾 氏 (肢体不自由) 車いす体験	日野第一小学校																																																																
	2/13	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験	南平小学校																																																																

	2/14	講話 中野健吾 氏 (肢体不自由) 車いす体験	南平小学校																
	2/16	社会福祉法人青い鳥福祉会利用者及び職員 (知的障害)	平山小学校																
	2/21	福祉体験スタートアップ授業	三沢中学校																
	2/21	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害) 手話講座 (ひの手話サークル)	日野第一小学校																
	2/22	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験	日野第一小学校																
	2/26	ブラインドウォーク体験	七生緑小学校																
	3/21	①講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験 ②講話 藤田博文 氏 (肢体不自由) 車いす体験 ③講話 堀場照美 氏 (聴覚障害) 手話講座 (ひの手話サークル)	三沢中学校																
事業内容	5. 傾聴ボランティアの養成・活動支援																		
実績報告	<p>傾聴ボランティア養成講座の受講者を対象に、傾聴ボランティア同士の横の連携や、多面的な活動を展開していくことを目指し支援を行った。</p> <p>1) 情報交換会 7回開催 傾聴ボランティア同士の交流やスキルアップのため、奇数月の第3金曜日に情報交換会を開催した。場所：中央福祉センター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/19</td> <td>情報交換会</td> </tr> <tr> <td>7/21</td> <td>引きこもりや生きづらさを抱えている方についての勉強会</td> </tr> <tr> <td>8/18</td> <td>臨時開催 傾聴ボランティア居場所づくり会議</td> </tr> <tr> <td>9/15</td> <td>傾聴ボランティア居場所づくり会議</td> </tr> <tr> <td>11/15</td> <td>活動情報共有・ドレミの部屋振り返り</td> </tr> <tr> <td>1/17</td> <td>活動情報共有・ドレミの部屋振り返り</td> </tr> <tr> <td>3/21</td> <td>活動情報共有・ドレミの部屋振り返り</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 居場所活動運営の支援 ひきこもり状態の方、生きにくいと感じている方の居場所「ドレミの部屋」(2023/10/23開始)と認知症家族と認知症のある当事者・地域高齢者の居場所「茶屋よりそい」(2024/1/15開始)の運営支援を行った。 ①ドレミの部屋 開催日：第2・4月曜日 14:00～16:00 (祝日は休み) ②茶屋よりそい 開催日：第1・3月曜日 14:00～16:00 (祝日は休み)</p>			開催日	内容	5/19	情報交換会	7/21	引きこもりや生きづらさを抱えている方についての勉強会	8/18	臨時開催 傾聴ボランティア居場所づくり会議	9/15	傾聴ボランティア居場所づくり会議	11/15	活動情報共有・ドレミの部屋振り返り	1/17	活動情報共有・ドレミの部屋振り返り	3/21	活動情報共有・ドレミの部屋振り返り
	開催日	内容																	
	5/19	情報交換会																	
	7/21	引きこもりや生きづらさを抱えている方についての勉強会																	
	8/18	臨時開催 傾聴ボランティア居場所づくり会議																	
	9/15	傾聴ボランティア居場所づくり会議																	
	11/15	活動情報共有・ドレミの部屋振り返り																	
	1/17	活動情報共有・ドレミの部屋振り返り																	
	3/21	活動情報共有・ドレミの部屋振り返り																	
	<p>・地域包括支援センターやケアマネジャー等に傾聴ボランティアチラシを配布してPRを行った。</p> <p>・傾聴ボランティアの活動として、ひきこもり状態や生きづらさを感じている方の居場所「ドレミの部屋」と認知症家族と認知症のある当事者・地域高齢者の居場所「茶屋よりそい」を開催、毎回当事者の方々が参加している。</p> <p>・この活動を通して、傾聴ボランティアの方々の活動の幅が広がってきている。</p>																		
事業効果・評価 方向性等																			

事業内容	6. 夏の体験ボランティア																																
実績報告	<p>1) 夏の体験ボランティア2023 夏休み期間に福祉施設やボランティア・NPO団体でボランティア活動を体験できる毎年恒例のイベント。今年度は新型コロナウイルス感染症対策に配慮し実施できる範囲で対面でのボランティア募集を再開した。</p> <p>①実施期間 7/20 (木) ~8/31 (木)</p> <p>②参加団体 41団体</p> <p>③プログラム数 45種類</p> <p>④活動者数 196人</p> <p>⑤事前説明会</p>																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/2</td> <td>説明会 (会場開催)</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>6/20~8/20</td> <td>説明会 (YouTube 開催)</td> <td>視聴回数 446回</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	参加人数	7/2	説明会 (会場開催)	63人	6/20~8/20	説明会 (YouTube 開催)	視聴回数 446回																							
	開催日	内容	参加人数																														
	7/2	説明会 (会場開催)	63人																														
	6/20~8/20	説明会 (YouTube 開催)	視聴回数 446回																														
	<p>⑥ボランティア・センター主催プログラム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/21</td> <td rowspan="2">工房アルテ (手芸)</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>7/28</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>8/9</td> <td rowspan="2">せせらぎ農園</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>8/18</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>7/31</td> <td>手話体験</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>8/7</td> <td>中央図書館 (点字体験)</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>8/21</td> <td>中央図書館 (点字体験)</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>7/29</td> <td rowspan="3">ウクレレ教室</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>8/6</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>8/19</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>8/10~24</td> <td>夏休みスマホでポン ゴミ拾い大作戦</td> <td>随時活動のため、集計なし</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	参加人数	7/21	工房アルテ (手芸)	6人	7/28	2人	8/9	せせらぎ農園	1人	8/18	3人	7/31	手話体験	6人	8/7	中央図書館 (点字体験)	4人	8/21	中央図書館 (点字体験)	3人	7/29	ウクレレ教室	中止	8/6	1人	8/19	4人	8/10~24	夏休みスマホでポン ゴミ拾い大作戦	随時活動のため、集計なし
	開催日	内容	参加人数																														
	7/21	工房アルテ (手芸)	6人																														
	7/28		2人																														
	8/9	せせらぎ農園	1人																														
	8/18		3人																														
	7/31	手話体験	6人																														
8/7	中央図書館 (点字体験)	4人																															
8/21	中央図書館 (点字体験)	3人																															
7/29	ウクレレ教室	中止																															
8/6		1人																															
8/19		4人																															
8/10~24	夏休みスマホでポン ゴミ拾い大作戦	随時活動のため、集計なし																															
<p>2) 夏の大学生ボランティアプログラム in イオンモール 大学生を対象にボランティアの機会の提供と夏休み期間中の子ども (主に小学生) のボランティア体験の場を提供した。</p>																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/1</td> <td>中央大学カエルキャラバン</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>8/2</td> <td>プラバンアクセサリー作り</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>8/3</td> <td>はらぺこあおむし作り</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>8/4</td> <td>ダンボールカスタネット作り</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>8/5</td> <td>しんぶん紙エコバッグづくり (市民サポートセンター日野日野菜ママ)</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>8/6</td> <td>ひも人形&ミニ縁日</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>8/1-8/20</td> <td>東京都立大学いきものサークル 不思議な昆虫の展示会</td> <td>展示のため集計なし</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	参加者	8/1	中央大学カエルキャラバン	40人	8/2	プラバンアクセサリー作り	80人	8/3	はらぺこあおむし作り	56人	8/4	ダンボールカスタネット作り	30人	8/5	しんぶん紙エコバッグづくり (市民サポートセンター日野日野菜ママ)	24人	8/6	ひも人形&ミニ縁日	105人	8/1-8/20	東京都立大学いきものサークル 不思議な昆虫の展示会	展示のため集計なし									
開催日	内容	参加者																															
8/1	中央大学カエルキャラバン	40人																															
8/2	プラバンアクセサリー作り	80人																															
8/3	はらぺこあおむし作り	56人																															
8/4	ダンボールカスタネット作り	30人																															
8/5	しんぶん紙エコバッグづくり (市民サポートセンター日野日野菜ママ)	24人																															
8/6	ひも人形&ミニ縁日	105人																															
8/1-8/20	東京都立大学いきものサークル 不思議な昆虫の展示会	展示のため集計なし																															

<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の体験ボランティアでは、プログラムも昨年の倍となったことに加え、参加者も昨年に比べ倍以上だった。 ・参加者の利便性を考慮し、事前説明会をイオンホールで開催したが、想定していたほどの参加者を募ることができなかった。一方、動画視聴が昨年より300件近く増加した（前年度143件）。会場までは行けない人が必要最低限の情報を得るツールとして機能した結果と思われる。 ・活動者数も前年度よりも多くなったものの、活動先が保育関係に偏っていたため、幅広い分野で活動してもらえらる機会を増やすという課題が残った。 												
<p>事業内容</p>	<p>7. まちづくり人プロジェクト委員会の運営</p>												
<p>実績報告</p>	<p>ボランティア・市民活動を推進することにより、市民の一人ひとりが、くらしや生活の課題を自分事として考え行動し、共に豊かな地域社会を築くことを目的とした委員会。（平成30年度設立）</p> <p>1) 委員会の開催</p> <table border="1" data-bbox="464 669 1406 848"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/26</td> <td>今年度の取組について</td> </tr> <tr> <td>8/28</td> <td>ヒューマンライブラリーについて コミュニティガーデンについて</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 委員（順不同）</p> <p>委員長 惟住浩太郎 氏（日野掃除に学ぶ会世話人） 副委員長 粟澤雅富美 氏（日野社会教育センター） 渡戸 一郎 氏（明星大学名誉教授） 溝口 常之 氏（一般市民） 大村佳代子 氏（日野市民生・児童委員） 佐藤美千代 氏（せせらぎ農園代表） 藤田 博文 氏（CIL、障害者差別解消検討委員会委員長） 藤浪 里佳 氏（子どもへのまなざし事務局長） 福村真紀子 氏（多文化ひろばあいあい代表） 福原 冬彦 氏（元日野市立豊田小学校教諭） 佐藤 新哉 氏（東京ボランティア・市民活動センター） 景谷 弓子 氏（地域サロン縁がわ） 浅沼 俊熙 氏（日野市ボランティア・センター窓口相談員） 斉藤あきの 氏（マイノリティサークル あるでばらん代表） 国際ボランティア学生協会 VUSA 日野市地域協働課 三好 毅 （日野市ボランティア・センター長）</p> <p>3) ヒューマンライブラリー（にんげん図書館）</p> <table border="1" data-bbox="480 1677 1034 1771"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2/3</td> <td>中央福祉センター</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【本の紹介】</p> <p>①木内晴美 氏（PTA会長から53歳で教員になった本） ②湯口裕 氏（脱サラ後に日野市の市民活動や福祉業界を牽引してきた本） ③中川ひろみ 氏（子どもへのまなざし代表 活動のエネルギーを感じてほしい本） ④佐藤理佐 氏、山本麻理氏（小児がんと闘ってきた母親の本） ⑤仁藤夏子 氏（すみれ塾代表 本人がヤングケアラー経験から今につながる</p>	開催日	内容	5/26	今年度の取組について	8/28	ヒューマンライブラリーについて コミュニティガーデンについて	開催日	会場	参加者数	2/3	中央福祉センター	50人
開催日	内容												
5/26	今年度の取組について												
8/28	ヒューマンライブラリーについて コミュニティガーデンについて												
開催日	会場	参加者数											
2/3	中央福祉センター	50人											

	<p>った訳を語る本)</p> <p>⑥増島清人 氏 (豊田ビールを生まれた背景と、思いを語る本)</p> <p>⑦中村静江 氏 (戦争体験を語る本)</p> <p>⑧齋藤元気 氏 (立教大学ボランティアセンター 学生ボランティアに関わる理由を語る本)</p> <p>⑨大高美和 氏 (重度心身障害児の施設を立ち上げた、重度心身障害児の子のいる本)</p> <p>⑩ドゥブニコバウリアナ 氏 (ウクライナ難民としての経験談を語る本)</p>																																																																				
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンライブラリー (にんげん図書館) を拡大して開催した。多くの本と市民が参加し多様性の理解の場を作ることができた。 ・ヒューマンライブラリーに加え多様性が力になる地域づくりを広めていくため、コミュニティガーデンの取り組みを様々な関係者と共に引き続き検討していく。 																																																																				
事業内容	8. スマートフォンボランティア活動支援																																																																				
実績報告	<p>1) スマホお助け隊養成講座の開催</p> <p>中央公民館が主催する「スマホお助け隊養成講座」について、ガイダンスの講師および各コースの開催協力を行った。今年度は前年度に比べてブロンズコース (スマホ講座でサポートできる程度のレベル) の回数を増やして複数箇所で開催した。シルバー・ゴールドコースはステップアップの意味付けで実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブロンズコース</td> <td>7/3</td> <td>平山交流センター</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>ブロンズコース</td> <td>7/5</td> <td>中央福祉センター</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>ブロンズコース</td> <td>7/7</td> <td>福祉支援センター</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>シルバーコース</td> <td>7/14</td> <td>中央福祉センター</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>ゴールドコース</td> <td>7/21</td> <td>中央福祉センター</td> <td>14人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) スマホお助け隊コーディネート事業</p> <p>地域支援係や中央公民館からのボランティア募集の要請を受け、スマホお助け隊との連絡調整を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>要請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域主催のスマホ講座</td> <td>40回</td> </tr> <tr> <td>スマホ個別相談会</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>スマホサロンぽちぽち</td> <td>12回</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) スマホ個別相談会の開催</p> <p>スマホお助け隊の活躍の場として、高齢者を対象としたスマートフォンのお悩み相談会を、市内3か所の会場で定期的に開催した。</p> <p>【中央福祉センター】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>協力者数</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>協力者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/10</td> <td>20人</td> <td>8人</td> <td>5/8</td> <td>11人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>5/15</td> <td>13人</td> <td>7人</td> <td>6/5</td> <td>11人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>7/10</td> <td>15人</td> <td>9人</td> <td>8/14</td> <td>15人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>9/11</td> <td>16人</td> <td>10人</td> <td>10/16</td> <td>14人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>11/13</td> <td>16人</td> <td>9人</td> <td>12/11</td> <td>17人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	内容	開催日	会場	参加者数	ブロンズコース	7/3	平山交流センター	6人	ブロンズコース	7/5	中央福祉センター	12人	ブロンズコース	7/7	福祉支援センター	11人	シルバーコース	7/14	中央福祉センター	21人	ゴールドコース	7/21	中央福祉センター	14人	内訳	要請件数	地域主催のスマホ講座	40回	スマホ個別相談会	24回	スマホサロンぽちぽち	12回	開催日	参加者数	協力者数	開催日	参加者数	協力者数	4/10	20人	8人	5/8	11人	10人	5/15	13人	7人	6/5	11人	7人	7/10	15人	9人	8/14	15人	8人	9/11	16人	10人	10/16	14人	8人	11/13	16人	9人	12/11	17人	10人
内容	開催日	会場	参加者数																																																																		
ブロンズコース	7/3	平山交流センター	6人																																																																		
ブロンズコース	7/5	中央福祉センター	12人																																																																		
ブロンズコース	7/7	福祉支援センター	11人																																																																		
シルバーコース	7/14	中央福祉センター	21人																																																																		
ゴールドコース	7/21	中央福祉センター	14人																																																																		
内訳	要請件数																																																																				
地域主催のスマホ講座	40回																																																																				
スマホ個別相談会	24回																																																																				
スマホサロンぽちぽち	12回																																																																				
開催日	参加者数	協力者数	開催日	参加者数	協力者数																																																																
4/10	20人	8人	5/8	11人	10人																																																																
5/15	13人	7人	6/5	11人	7人																																																																
7/10	15人	9人	8/14	15人	8人																																																																
9/11	16人	10人	10/16	14人	8人																																																																
11/13	16人	9人	12/11	17人	10人																																																																

1/15	17人	10人	2/19	17人	10人
3/11	19人	10人			

【多摩平交流センター】

開催日	参加者数	協力者数	開催日	参加者数	協力者数
6/27	10人	6人	7/25	14人	10人
9/25	8人	10人	11/27	14人	10人
1/25	16人	10人	3/25	14人	10人

【福祉支援センター】

開催日	参加者数	協力者数	開催日	参加者数	協力者数
4/27	12人	7人	5/16	9人	7人
8/31	16人	8人	10/30	17人	10人
12/25	14人	10人	2/26	14人	10人

4) スマホサロンぽちぽちの開催

今年度から、スマホを買い替えたばかりの超初心者向けにぽちぽちの位置づけや内容を変更し、講師もスマホお助け隊を中心に展開する形にした。

開催日	内容
4/10	2次元バーコードの読み取り
5/8	スマホの活用術
6/5, 7/10, 8/14, 9/11, 10/16 11/13, 12/11, 1/15, 2/19, 3/11	<ul style="list-style-type: none"> • 電話をかけてみよう • 物の名前を調べよう • スマホと会話しよう

事業効果・評価
方向性等

- スマホ個別相談会を広い地域で開催したことによりスマホお助け隊も色々な地域にお住まいの方の登録が増えた。
- スマホサロンぽちぽちでは、スマホお助け隊養成講座を企画していた当初に構想していた住民主体のスマホ講座が実現できた。
- 個別相談会では中央福祉センターの参加人数が減ってきている。来期は中央福祉センターの開催頻度を抑えて別の会場の開催も検討していく。
- 地域団体からの依頼によるスマホ講座が徐々に増えてきている。中にはボランティアセンターが調整しなくとも当事者同士で企画・実施しているところも出てきた。

事業内容	9. その他											
実績報告	<p>1) だれでもすぐに参加できるボランティア活動（すぐボラ）</p> <p>①使用済み切手、ペットボトルキャップの収集 協力件数 延べ 158 件</p> <p>②軽作業ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校・引きこもりのお子さん等何らかの課題を抱えた方が安心して活動できるよう、本人に配慮したプログラムを提案し活動を行った。 ・日野第一中学校、大坂上中学校ボランティア部の生徒が毎週木曜日放課後の1時間程度、フードパントリーの仕分け作業等の活動を行った。 ・東京都立七生特別支援学校の2年生3人の実習受入を行った。 <p>フードパントリー仕分け作業、ボランティア①インフォメーション封入作業、車椅子清掃等（1/29～30）</p> <p>2) ボランティア保険取扱事業</p> <p>①東京都社会福祉協議会「ボランティア保険」加入取扱</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">団体</th> <th>個人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>101件</td> <td>1,720人</td> <td>320人</td> </tr> </tbody> </table> <p>②東京都社会福祉協議会「行事保険」加入取扱</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>128件</td> <td>5,399人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 研修会・関係会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツレクリエーションフェスティバル実行委員会 		団体		個人	5年度	101件	1,720人	320人	5年度	128件	5,399人
	団体		個人									
5年度	101件	1,720人	320人									
5年度	128件	5,399人										
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア保険が昨年の年間加入者数とほぼ同数だったのに対して、行事保険は大幅に増えた。その背景には、子ども食堂の活動が増えたことに加えて、地域での活動が活発になってきたことがあったと捉えている。 ・軽作業ボランティアには、フードパントリー活動を中心に学校へ行くのを選ばない子どもや休職中の若者が参加し、職員や地域のボランティアと交流しながら、和やかに活動していた。 											

事業名	防災・減災をテーマにした地域づくり
事業形態	自主事業、受託事業（日野市）
財源内訳	参加費、手数料、会費、寄附金、歳末たすけあい募金配分金、受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	「災害に強いまち＝地域のつながりが強いまち」をテーマに市民と関係機関と共に防災・減災活動に取り組むことを目的とする。
事業内容	1. みんなでつくる日野の防災プロジェクトの運営
実績報告	みんなでつくる日野の防災プロジェクトは、災害に強い地域づくりのために必要なネットワークを形成することを目的に設置。災害ボランティア・センターの運営訓練、防災(減災)学習プログラムの実施ネットワークの構築を目標に、委員会形式でプロジェクトを推進する。（5年度未実施）

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで作る日野の防災プロジェクトの目的である災害に強い地域づくりのために必要なネットワーク形成が、日野市民で作る防災・減災シンポジウムの発展により、市民自ら継続的にネットワークを広げていくことで形作られてきた。このことから、今後の役割整理について検討していきたい。 		
事業内容	2. 日野市民で作る防災・減災シンポジウム		
実績報告	1) 実行委員会の開催 市民有志とみんなで作る日野の防災プロジェクト委員との実行委員会を開催した。 会場 中央福祉センター、web ①意見交換会 1回 (5/29) ②実行委員会 6回 (6/12, 6/26, 7/10, 7/24, 8/7, 9/11)		
	2) 「日野市民で作る防災・減災シンポジウム2023」 4年ぶりに完全対面式で実施。 ※換気やマスク配布(任意)等の配慮は行った。		
	日時	内容	参加者
	9/23 10:00 ～12:30	第1分科会 「災害時につながる普段からの行動 ～近所から近助へ～」 【出演者】 鈴木直美 氏 (万願荘自治会防災防犯会) 中村マコト 氏 (御林山防災安全会自治会)	39人
	9/23 14:00 ～16:00	第2分科会 「安心・安全な避難所づくり～台風19号から学ぶ～」 【出演者】 上吉原良実 氏 (独立行政法人国立病院機構本部 厚生労働省DMAT事務局 災害医療課 小児救急看護認定看護師)	28人
10/7 10:00 ～12:30	第3分科会 「防災井戸端会議大作戦!～日野市民の輪を広げよう～」 【出演者】 障害福祉課、高齢福祉課	27人	
10/7 14:00 ～16:00	第4分科会 「日野で起きてる都市型洪水～あなたは大丈夫だと思っていませんか!?～」 【出演者】 西本サチ子 氏 (大牟田市みなと校区民生委員児童委員会 副会長) 緑と清流課	26人	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会で企画から運営まで、一人ひとりが積極的に参画していただき実施することができた。今回初めて実行委員になった方が多くいた。 ・第3分科会では、障害のある方が参加され日頃からの顔の見える関係づくりと、日頃から障害のある人が出掛けていきやすい環境づくりが有事の際にも力になることを参加者に伝えることができた。 ・企画を作る中で、実行委員同士のつながりを深めることができた。 		

事業内容	3. 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練																																											
実績報告	<p>災害時の様々なシチュエーションを想定し、IVUSAの学生と社協職員が一緒にDIG(災害図上訓練)を行った。ZOOMを活用し、参加者はメイン会場、サテライト会場、自宅からの参加となった。</p> <p>日時 12/20 参加人数 20人</p>																																											
事業内容	4. 地域の防災・減災活動の支援																																											
実績報告	<p>自治会・自主防災組織等地域の防災訓練や学校等教育機関が行う防災教育の支援を行うことで、市民同士の連携を深め、次代を担う子どもたちに知識を得てもらい災害に強い地域を目指した。</p> <p>1) つくしんぼ保育園 防災訓練の実施支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/7</td> <td>「イザ!カエルキャラバン!」</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 都立高校防災訓練の企画実施支援</p> <p>都立高校1年生を対象とした「人間と社会」の授業において、地域の方との防災訓練を行うにあたり、企画の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>開催校</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/11</td> <td>南平高校</td> <td>被災者の語り部 東日本大震災の被災講話 (小山栗 氏) 毛布で担架(協力:中央大学チーム防災)</td> </tr> <tr> <td>11/15</td> <td>日野台高校</td> <td>被災者の語り部 東日本大震災の被災講話 (小山栗 氏) 防災ワークショップ(協力:泉塚自治会)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 市内小学校地域防災会支援</p> <p>地域住民が中心となって避難所運営マニュアルを作成することを通じて、地域住民同士の連携を深め、防災会が目指す災害に強い地域に向けた支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/11, 6/8, 7/13, 9/14, 10/19, 11/9 12/14, 1/18, 2/8</td> <td>夢が丘小防災会</td> </tr> <tr> <td>6/10, 7/29, 9/2, 9/21, 10/14, 12/2 2/17</td> <td>四小地域自主防災会</td> </tr> <tr> <td>4/28, 6/27, 7/18, 10/13, 11/17, 1/27 2/17</td> <td>豊田小地域自主防災会</td> </tr> <tr> <td>6/9, 8/8, 9/29, 2/28, 3/2</td> <td>滝合小防災会</td> </tr> <tr> <td>12/19, 3/18</td> <td>潤徳小防災会</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 各種機関等への防災プログラム実施支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/12</td> <td>たかはた圏域ケアマネ交流災害研修 「災害時の利用者個別対応」</td> <td>地域包括支援センター あさかわ・もぐさ</td> </tr> <tr> <td>6/22</td> <td>BCP作成研修</td> <td>夢ふうせん</td> </tr> <tr> <td>7/22</td> <td>イザ!カエルキャラバン!</td> <td>日野一小ダンディKai</td> </tr> <tr> <td>10/21</td> <td>避難所運営 初動ボックス訓練</td> <td>四小地域自主防災会</td> </tr> <tr> <td>2/1</td> <td>防災デー イザ!カエルキャラバン!等</td> <td>日野第三小学校</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	9/7	「イザ!カエルキャラバン!」	開催日	開催校	内容	7/11	南平高校	被災者の語り部 東日本大震災の被災講話 (小山栗 氏) 毛布で担架(協力:中央大学チーム防災)	11/15	日野台高校	被災者の語り部 東日本大震災の被災講話 (小山栗 氏) 防災ワークショップ(協力:泉塚自治会)	開催日	主催	5/11, 6/8, 7/13, 9/14, 10/19, 11/9 12/14, 1/18, 2/8	夢が丘小防災会	6/10, 7/29, 9/2, 9/21, 10/14, 12/2 2/17	四小地域自主防災会	4/28, 6/27, 7/18, 10/13, 11/17, 1/27 2/17	豊田小地域自主防災会	6/9, 8/8, 9/29, 2/28, 3/2	滝合小防災会	12/19, 3/18	潤徳小防災会	開催日	内容	主催	6/12	たかはた圏域ケアマネ交流災害研修 「災害時の利用者個別対応」	地域包括支援センター あさかわ・もぐさ	6/22	BCP作成研修	夢ふうせん	7/22	イザ!カエルキャラバン!	日野一小ダンディKai	10/21	避難所運営 初動ボックス訓練	四小地域自主防災会	2/1	防災デー イザ!カエルキャラバン!等	日野第三小学校
	開催日	内容																																										
	9/7	「イザ!カエルキャラバン!」																																										
	開催日	開催校	内容																																									
	7/11	南平高校	被災者の語り部 東日本大震災の被災講話 (小山栗 氏) 毛布で担架(協力:中央大学チーム防災)																																									
	11/15	日野台高校	被災者の語り部 東日本大震災の被災講話 (小山栗 氏) 防災ワークショップ(協力:泉塚自治会)																																									
	開催日	主催																																										
	5/11, 6/8, 7/13, 9/14, 10/19, 11/9 12/14, 1/18, 2/8	夢が丘小防災会																																										
	6/10, 7/29, 9/2, 9/21, 10/14, 12/2 2/17	四小地域自主防災会																																										
	4/28, 6/27, 7/18, 10/13, 11/17, 1/27 2/17	豊田小地域自主防災会																																										
6/9, 8/8, 9/29, 2/28, 3/2	滝合小防災会																																											
12/19, 3/18	潤徳小防災会																																											
開催日	内容	主催																																										
6/12	たかはた圏域ケアマネ交流災害研修 「災害時の利用者個別対応」	地域包括支援センター あさかわ・もぐさ																																										
6/22	BCP作成研修	夢ふうせん																																										
7/22	イザ!カエルキャラバン!	日野一小ダンディKai																																										
10/21	避難所運営 初動ボックス訓練	四小地域自主防災会																																										
2/1	防災デー イザ!カエルキャラバン!等	日野第三小学校																																										

	<p>5) 防災普及活動業務委託事業の実施 市内の各種機関等への防災訓練等を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="464 203 1434 589"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/10</td> <td>防災スマホ教室 防災デジタルスタンプラリー</td> <td>第二日野万自主防災会</td> </tr> <tr> <td>7/12 7/26</td> <td>日野自動車災害研修</td> <td>日野自動車株式会社</td> </tr> <tr> <td>7/22 2/17</td> <td>避難所運営 初動ボックス訓練</td> <td>豊田小地域自主防災会</td> </tr> <tr> <td>2/25</td> <td>自分の地域で地震が起きたら -過去の震災からの教訓-</td> <td>日鉾住宅自治会</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	主催	6/10	防災スマホ教室 防災デジタルスタンプラリー	第二日野万自主防災会	7/12 7/26	日野自動車災害研修	日野自動車株式会社	7/22 2/17	避難所運営 初動ボックス訓練	豊田小地域自主防災会	2/25	自分の地域で地震が起きたら -過去の震災からの教訓-	日鉾住宅自治会
開催日	内容	主催														
6/10	防災スマホ教室 防災デジタルスタンプラリー	第二日野万自主防災会														
7/12 7/26	日野自動車災害研修	日野自動車株式会社														
7/22 2/17	避難所運営 初動ボックス訓練	豊田小地域自主防災会														
2/25	自分の地域で地震が起きたら -過去の震災からの教訓-	日鉾住宅自治会														
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種機関等への防災プログラム実施支援では、それぞれの機関に必要な内容を提供することができた。 自治会での防災訓練では、スマートフォンを活用したデジタルスタンプラリー等の手法を訓練に取り入れた。災害時、スマートフォンは情報を得るために必要だが、高齢者の中には不得意な方がいるため、スマホお助け隊の協力を得て行った。 令和元年台風19号以来、水害に関する関心が高まっている。 国の法改正に伴い、BCPの策定や個別避難計画の作成等、事業者や行政が取り組むべき内容が多くなり、プログラムの多様性が求められている。社協としてプログラム作成と実施を支援する必要性を感じている。 															
<p>事業内容</p>	<p>5. 令和6年能登半島地震災害義援金</p>															
<p>実績報告</p>	<p>令和6年1月1日の能登半島地震により被災した方達のための義援金、支援活動団体のための支援金を街頭募金活動等により募集し、中央共同募金会や日本赤十字社を通じて届けた。</p> <p>1) 街頭募金活動</p> <table border="1" data-bbox="480 1245 1366 1518"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>募金額</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/6</td> <td>421,618円</td> <td>個人ボランティア24人</td> </tr> <tr> <td>1/7</td> <td>438,476円</td> <td>個人ボランティア40人</td> </tr> <tr> <td>1/11</td> <td>230,465円</td> <td>大坂上中学校ボランティア部11人 日野自動車職員有志13人</td> </tr> <tr> <td>1/16</td> <td>75,070円</td> <td>日野自動車職員有志7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 募金実績 義援金 1,421,398円 支援金 545,707円</p>	開催日	募金額	参加者	1/6	421,618円	個人ボランティア24人	1/7	438,476円	個人ボランティア40人	1/11	230,465円	大坂上中学校ボランティア部11人 日野自動車職員有志13人	1/16	75,070円	日野自動車職員有志7人
開催日	募金額	参加者														
1/6	421,618円	個人ボランティア24人														
1/7	438,476円	個人ボランティア40人														
1/11	230,465円	大坂上中学校ボランティア部11人 日野自動車職員有志13人														
1/16	75,070円	日野自動車職員有志7人														
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアセンター公式LINEでの募集に呼応してくれた多くのボランティアの協力により、地震直後の1月6日より募金活動を実施でき、義援金と支援金を被災地域に届けることができた。 															

事業名	日野市介護サポーター制度																						
事業形態	受託事業（日野市）																						
財源内訳	受託金																						
担当係	ボランティア係																						
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																						
目的	日野市内在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等でのボランティア活動を通じ、介護予防についての理解を深めていただくこと、積極的な社会参加や地域貢献を行うことにより、いつまでも元気な高齢者を目指すことを目的とする。																						
事業内容	1. 介護サポーター制度の運営・相談支援																						
実績報告	<p>1) 内容</p> <p>① 介護サポーター制度の説明および登録手続きを行う。</p> <p>② 登録者の希望に応じて、適切な活動先を紹介する。</p> <p>③ 介護サポーター制度の周知を目的とした広報活動を行う。</p> <p>④ 介護サポーター制度に関する説明会を開催する。</p> <p>⑤ 介護サポーター制度の事務管理を行う。 (登録者情報の管理、スタンプ帳の交付、交付金の請求手続き等)</p> <p>⑥ 介護サポーター向け講座・研修会等を開催し、登録者の介護予防とボランティア活動のスキルアップを図る。</p> <p>2) 人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>383人</td> <td>357人</td> </tr> <tr> <td>新規登録者数</td> <td>7人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>登録取消者数</td> <td>20人</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>累計登録者数</td> <td>675人</td> <td>696人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 本制度登録施設および登録を希望する施設との連絡調整を適宜行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録施設数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>64施設</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>62施設</td> </tr> </tbody> </table>			4年度	5年度	登録者数	383人	357人	新規登録者数	7人	11人	登録取消者数	20人	47人	累計登録者数	675人	696人		登録施設数	5年度	64施設	4年度	62施設
	4年度	5年度																					
登録者数	383人	357人																					
新規登録者数	7人	11人																					
登録取消者数	20人	47人																					
累計登録者数	675人	696人																					
	登録施設数																						
5年度	64施設																						
4年度	62施設																						
事業効果・評価 方向性等	<p>・介護サポーター制度登録施設では、ボランティアの受入を再開し始めた施設もあり、各施設にボランティアの受入の確認をするとともに、関わりのあったボランティアにも受入再開の連絡を順次行った。</p>																						

事業名	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know! (ひのう)」							
事業形態	自主事業							
財源内訳	補助金							
担当係	ボランティア係							
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ							
目的	市内のイベント、団体・サークル活動等を紹介するポータルサイトを展開し、“新たな発見”“人との出会い”“地域とのつながり”“夢の実現”等のきっかけづくりのため、様々な団体・グループ等とともに市民目線で情報発信を行うこと。							
事業内容	1. ポータルサイト「Hi Know!」の運営							
実績報告	富士通研究所(株)が「日野市を社会参加しやすいまちにすること」を目的に実施する社会貢献活動としてWEBサイト「Hi Know!」を開発した。現在、日野市ボランティア・センターが日野市や関係事業者と連携し、事務局を担当している。平成27年度から日野市の補助事業となる。							
	1) 「Hi Know!」閲覧数							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
	アクセス数 (訪問者数)	2,018	2,131	2,191	2,692	2,686	2,760	14,478
	ページビュー (閲覧数)	12,652	15,691	14,346	16,094	16,955	16,347	92,085
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	アクセス数 (訪問者数)	2,349	2,689	2,282	2,440	2,544	2,430	14,734
	ページビュー (閲覧数)	8,307	10,162	11,042	8,502	16,690	7,866	62,569
	2) 登録団体数 301団体 (令和5年度新規登録団体 17団体)							
	3) 登録講師数 49人 (令和5年度新規登録講師 0人)							
4) 広報活動								
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館・・・・・・・・登録団体への周知 ・生涯学習課・・・・・・・・サークル団体・施設ガイド団体への周知 ・ボランティア①インフォメーション (毎月掲載) 3,500部 ・啓発イベント「イオンモールDEチャレンジ」開催 ・寄り合いまつりにてブース出展 								
5) サイトリニューアル (3C補助金)								
<ul style="list-style-type: none"> ・google サイト内検索追加 ・子どもの居場所追加 ・子どもの居場所を探す、居場所MAP、イベントカレンダーバナー追加 ・イベントカレンダーにカテゴリー絞り込みチェックボックス追加 ・子どもの居場所専用カレンダー追加 ・探す・調べるに子どもの居場所追加 ・サイトマップに子どもの居場所追加 ・子どもの居場所を登録可能にするためアドミンほかバックエンドを調整 								

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所の紹介ページが実装されたことにより、子ども関連のボランティアをしたい方や居場所を利用したい方に情報が届きやすくなった。 ・市内の団体に対し、Hi Know! に登録してもらうよう案内していく。
事業内容	2. まち記者の養成・活動支援
実績報告	<ol style="list-style-type: none"> 1) まち記者の活動支援（まち記者登録者数 73人） 2) 日野市が取り組んだ東京都の「子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業（3C区市町村包括補助事業）」の一環で行った日野市主催による寄り合いまつりでHi Know!の紹介やまち記者の活動紹介をした。
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・Hi Know!のPR活動をまち記者と共に行うことができた。 ・まち記者へ引き続き活動の場の提供等を行っていく。

助成事業

事業名	歳末たすけあい地域福祉活動助成		
事業形態	歳末たすけあい募金配分金事業		
財源内訳	歳末たすけあい配分金、寄附金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる		
目的	歳末たすけあい募金を原資とした助成金を、障害者団体や当事者団体等に交付し、地域福祉活動の推進を図る。		
内容	1. 助成対象団体への助成		
実績報告	申請団体に対し、助成金の決定及び交付		
	5年度（4年度申請）	16団体 1,050,000円	
	4年度（3年度申請）	18団体 1,050,000円	
	(5年度内訳)		
		団体名	金額
	1	無料学習塾 日野すみれ塾	90,000円
	2	日野市聴覚障害者協会	37,000円
	3	ひの手話サークル	68,000円
	4	アクトフォローアップグループ	65,000円
	5	市民サポートセンター日野	80,000円
	6	ひの・I-BASYO	60,000円
	7	日野市障害者関係団体連絡協議会	50,000円
	8	日野いずみ会	31,000円
	9	日野市老人クラブ連合会	90,000円
	10	日野市赤十字奉仕団	90,000円
	11	HINO飛ぶ教室	90,000円
	12	四小地域ペット同行避難準備会	86,000円
	13	日野失語症者交流会「すずめ」	60,000円
	14	緑を愛する会日野	55,000円
15	クイーン・マジッククラブ	48,000円	
16	環境教育ネットワーク	50,000円	
	合計	1,050,000円	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自己財源が乏しい当事者団体やボランティアグループ等に助成することで、団体が市民に向けて実施する活動の一助となった。 ・いくつかの団体の共通の課題として、役員の高齢化や担い手不足により事業運営がままならない様子が見受けられる。助成金の交付だけでなく活動支援等も考えていく必要がある。 		
内容	2. 助成金の要綱の見直し・検討		
実績報告	実施なし。		

事業名	地域支え合い福祉活動助成		
事業形態	自主事業		
財源内訳	会費、歳末たすけあい募金小地域福祉活動費		
担当係	地域支援係		
地域福祉活動計画における視点	とものつくる		
目的	地域で当事者や住民同士の仲間づくり、情報交換といった居場所づくりを行っている地域交流サロン等の非営利団体等に、会費を原資とした助成金を交付し、住民主体の地域福祉活動の活性化を図る。 原資となる会費が減収していることから、今後も助成金配分については適正に行えるよう検討を続けていく。		
内容	1. 地域支え合い活動団体への助成		
実績報告	申請団体に対し、助成金の決定及び交付		
	5年度	36団体 970,000円	
	4年度	32団体 879,000円	
	(5年度内訳)		
	No.	団体名	金額
	1	サロン程久保	30,000円
	2	日野おはなしの会	30,000円
	3	日野市ひきこもり家族会	28,500円
	4	二水会	30,000円
	5	明星地区つながりの家「アムール」	20,000円
	6	ふれあいサロン万願荘	12,600円
	7	黒川かわせみサロン	30,000円
	8	ふれあいサロン「縁がわ」世話人会	30,000円
	9	多文化ひろばあいあい	21,300円
	10	ホットやすらぎ会	30,000円
	11	健幸サロン	30,000円
	12	南新井ふれあいサロン協議会	20,000円
	13	歌で楽しむ元気会	30,000円
	14	平山ことな広場の会	30,000円
	15	なつかしい歌の会	30,000円
	16	落川元気会	30,000円
	17	エプロン・ママ	15,000円
	18	青春グループ	24,000円
	19	平山ふれあいサロン・ソレイユ	20,000円
	20	地域交流スペース「ひだまり」	30,000円
	21	NPO法人 日野福祉の学校	18,600円
	22	サークルどーなつ	30,000円
23	新町カフェ	30,000円	
24	おしゃべりカフェ	30,000円	
25	あお	30,000円	

	26	多摩友の会ぽかぽかルーム	30,000円
	27	子育て支援グループ「かるがも」	30,000円
	28	ふれあいサロンこんね	20,000円
	29	みんなの居場所「いっぷく」	30,000円
	30	ヒノキッズ	30,000円
	31	日野市パーキンソン病友の会	30,000円
	32	この街ハ坂サロン	20,000円
	33	南平駅西交流センター運営委員会	30,000円
	34	グリーンコープ日野ちょこすけ	30,000円
	35	ぽかぽか	30,000円
	36	上田自治会	30,000円
		合計	970,000円
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年度助成金に余剰金が発生した団体については、今年度の助成金で相殺した。(1団体 30,000円) 相殺後助成額(振込額) 940,000円 ・各団体の総事業費と繰越金の比率を計算し、50%以上ある団体については50%を上回る比率を申請額より差し引き、決定した。 ・今後も原資となる会費収入の落ち込みや助成団体の余剰金等を考察し、今後の助成金のあり方について総務係を含めて検討する必要がある。 		
内容	2. 地区社協助成		
実績報告	南平地区社協 150,000円		

生活福祉資金貸付事業

事業名	生活福祉資金貸付事業																												
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）																												
財源内訳	受託金																												
担当係	総務係																												
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																												
目的	<p>所得の少ない世帯、障害者世帯、介護を必要とする高齢者がいる世帯に対し、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、必要な相談援助と資金の貸付を行う。</p> <p>関係機関と連携しながら制度の周知を図るとともに、きめ細やかな相談事業を実施し、利用者との信頼関係を築く。</p>																												
内容	1. 相談支援																												
実績報告	<p>相談実績（電話・来所） ※特例貸付の償還に関する相談含む</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>1,208件</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>1,315件</td> </tr> </tbody> </table>			件数	5年度	1,208件	4年度	1,315件																					
	件数																												
5年度	1,208件																												
4年度	1,315件																												
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ特例貸付の終了に伴い、従前から運用している緊急小口資金の相談件数は昨年度より増加傾向にあるが、特例貸付と比べルールが厳格（適正）なため、相談件数の割に貸付件数は少ないのが実情である。 ・教育支援資金の相談件数は増加傾向にある。大学や専門学校へ進学する場合に利用できる給付・減免制度が充実されてきたため、過去にはあまり例の無かった生活保護世帯からの大学や専門学校への進学相談が増えてきたように思われる。 ・私立高校へ進学する場合は、就学支援金・授業料軽減助成金等の支援が手厚くなり、就学を希望する世帯にとって大きな支援となっている。 																												
内容	2. 貸付及び償還事務手続き																												
実績報告	<p>1) 貸付実績・取扱金額等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸付件数</th> <th>取扱金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>21件</td> <td>21,623,500円</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>11件</td> <td>22,860,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 貸付実績内訳 （不動産＝「不動産担保型生活資金」、要保護＝「要保護世帯向け不動産担保型生活資金」）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福祉費</th> <th>教育支援</th> <th>緊急小口</th> <th>不動産</th> <th>要保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>3件</td> <td>14件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>1件</td> <td>9件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 総合支援資金の支援活動 5年度の相談件数：1件 貸付実績：0件 平成21年10月に創設された離職者を対象とした制度で、借受人は資金の借入と共に継続的な相談支援を受けることが条件となっている。月1回の面接</p>			貸付件数	取扱金額	5年度	21件	21,623,500円	4年度	11件	22,860,000円		福祉費	教育支援	緊急小口	不動産	要保護	5年度	3件	14件	4件	0件	0件	4年度	1件	9件	0件	0件	1件
	貸付件数	取扱金額																											
5年度	21件	21,623,500円																											
4年度	11件	22,860,000円																											
	福祉費	教育支援	緊急小口	不動産	要保護																								
5年度	3件	14件	4件	0件	0件																								
4年度	1件	9件	0件	0件	1件																								

時に就職活動の報告を受け、早期就労を目指した支援を行っている。

借受人総数	44人
支援終了者	29人
現在の借受人	15人

- ①支援終了者 29人 内訳
- ・資金完済者 21人
 - ・債務整理者 4人
 - ・借受人死亡 1人
 - ・東京都社会福祉協議会へ事務移管 3人

- ②現在の借受人 15人 内訳
- ・生活保護受給者 2人
 - ・債務整理中 1人
 - ・就職者 12人 (就職率 80.0%)

4) 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付

令和2年2月頃から流行した新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金の貸付制度、「緊急小口資金・総合支援資金」の特例貸付が令和2年3月25日から運用を開始し、令和4年9月30日で終了した。(別途記載)

5) 償還等手続き

①償還免除

- 教育支援資金 1件 (債務整理のため)
- 福祉資金 1件 (債務整理のため)

②償還猶予

- 教育支援資金 1件 (病気療養のため)
- 2件 (上級学校へ進学するため)
- 1件 (復学のため)
- 1件 (母子世帯の母親が離職、生計維持のため)

③辞退届

- 教育支援資金 1件 (給付・減免の区分変更により)
- 教育支援資金 1件 (入学金)
- 教育支援資金 1件 (入学金の一部)
- 教育支援資金 1件 (都立高校合格のため、私立高校の学費)

④一括繰上償還

- 総合支援資金 1件 (借受人が病気のため、父親が残額一括償還)

⑤東京都社会福祉協議会 会長名督促

- 福祉資金 3人 3件
- 総合支援資金 6人 10件 (1人で複数債権所持しているため)

事業効果・評価
方向性等

- ・教育支援資金について、高等学校進学では就学支援金や授業料軽減助成金の活用、専門学校や大学進学では給付型奨学金の活用が増加している。その結果、母子・父子世帯や生活保護世帯からの相談が増加傾向にあり、特に母子の生活保護世帯からの申請件数が多くなっている。
- ・総合支援資金は昨年度同様、相談件数(1件)はあるものの貸付にはつながらなかった。この傾向は日野市に限ったことではなく、他の区市町村社協でも同様な状況である。

	<ul style="list-style-type: none"> 総合支援資金を利用したほとんどの借受人が償還期限を迎え、今年度は1人が償還完了（一括償還）した。現在15人が償還中となっているが、そのほとんどが償還できず滞納状態が継続したままとなっている。15人のうち6人に対して、東京都社会福祉協議会会長名督促を送付した。その結果1人から連絡があり、償還を再開することにつながった。 貸付、償還ともに滞りなく事務手続きを行うことはもちろんのこと、社協として十分な聞き取りと丁寧な対応が求められ、それが大変重要と考える。 																		
内 容	3. 関係機関との連携																		
実績報告	<p>1) 民生委員向け研修の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日にち</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/16</td> <td>テーマ「生活福祉資金と民生委員の関わり」 会場 煉瓦ホール小ホール</td> <td>70人程度</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 日野市役所との連携 セーフティネットコールセンターや生活福祉課等の関係部署と、電話によるスムーズな情報交換や情報の共有が図れている。</p>	日にち	内容	参加者	4/16	テーマ「生活福祉資金と民生委員の関わり」 会場 煉瓦ホール小ホール	70人程度												
日にち	内容	参加者																	
4/16	テーマ「生活福祉資金と民生委員の関わり」 会場 煉瓦ホール小ホール	70人程度																	
内 容	4. 日野市生活福祉資金貸付事業（平成21年度終了事業/償還業務のみ）																		
実績報告	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>貸付金残額</th> <th>償還額</th> <th>回収不能額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>11件</td> <td>10人</td> <td>529,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>11件</td> <td>10人</td> <td>529,000円</td> <td>10,000円</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table>		件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額	5年度	11件	10人	529,000円	0円	0円	4年度	11件	10人	529,000円	10,000円	0円
	件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額														
5年度	11件	10人	529,000円	0円	0円														
4年度	11件	10人	529,000円	10,000円	0円														
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 借受人に対し定期的に督促の郵送物を送付し、居住確認を行うと共に償還活動を継続していく。 日野市生活福祉資金の償還を再開してから10年を経過し、現在10人が償還リスト上に残っている。定期的な償還督促の書面を送付しているが、今年度は誰からも償還履歴は無かった。 																		

事業名	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業														
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）														
財源内訳	受託金														
担当係	総務係														
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる														
目的	東京都内において、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、高等職業訓練促進資金を貸し付け、修学を容易にすることにより、資格取得を促進し、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的とする。														
内容	1. 相談支援および貸付申請事務手続き														
実績報告	<p>1) 資金内容</p> <p>①就職に有利な資格を取得するための入学準備金</p> <p>②一定期間の研修が修了し、就職するための就職準備金</p> <p>※養成機関を修了し、かつ資格取得した日から1年以内に就職し、東京都内で取得した資格が必要な業務に従事し、5年間就業継続をした場合には、申請により返済が免除される。</p> <p>2) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談人数</th> <th>貸付件数</th> <th>取扱金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>480,000円</td> </tr> </tbody> </table>				相談人数	貸付件数	取扱金額	5年度	1件	1件	500,000円	4年度	1件	1件	480,000円
	相談人数	貸付件数	取扱金額												
5年度	1件	1件	500,000円												
4年度	1件	1件	480,000円												
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度からスタートした資金だが申請件数は少ない。 ・ひとり親家庭高等職業訓練のプラン策定や制度説明等、必要があれば日野市セーフティネットコールセンターと連携を図りながら、情報交換・共有を行っていききたい。 														

事業名	新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付事業		
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）		
財源内訳	受託金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活が困窮し日常生活の維持が困難になっている世帯に対し、生活福祉資金制度の緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例措置を設けることにより、世帯の自立促進を図ること。		
内容	1. 相談支援の実施		
実績報告	<p>本貸付は令和2年3月25日から開始され、令和4年9月末日をもって申請受付を終了した。</p> <p>緊急小口資金及び総合支援資金（初回貸付）については、償還開始時期が令和4年12月末日以前に到来する場合は据置期間が一律令和4年12月末まで延長された。令和5年1月から償還が開始されたが、今なお厳しい生活を強いられている世帯も多い。</p>		

償還については免除や猶予、減額等が整備されており、相談があった際は東京都社会福祉協議会と相談しながら対応し、状況によっては特例貸付事務センター、日野市セーフティネットコールセンターに繋ぐ等、利用者の困りごとに寄り添う支援を実施する。

1) 相談実績は生活福祉資金貸付事業「1. 相談支援」に含む。

2) 償還業務について

【日野市における貸付件数と貸付金額】

緊急小口資金	1815件	357,070,000円
総合支援資金 初回	1340件	693,140,000円
総合支援資金 延長	666件	347,900,000円
総合支援資金 再貸付	892件	468,800,000円
合計	4713件	1,866,910,000円

【5年度 償還が開始されている資金】

緊急小口資金/総合支援資金 初回/総合支援資金 延長

①償還免除件数

同一住民票の借受人と世帯主が判定年度において住民税非課税の場合

	5年度	4年度	合計
緊急小口資金	69件	568件	637件
総合支援資金 初回・延長	250件	460件	710件
合計件数	319件	1,028件	1,347件

②償還免除（任意免除）件数

償還開始以降（償還猶予期間も含む）に借受人が、次のいずれかに状態になった場合

- ・生活保護を受給した場合
- ・精神保健福祉手帳（1級）もしくは身体障害者手帳（1級もしくは2級）が交付された場合
- ・死亡・失踪した場合
- ・免責が決定した場合

	5年度	4年度	合計
緊急小口資金	14件	42件	56件
総合支援資金 初回・延長	30件	49件	79件
合計件数	44件	91件	135件

③償還猶予件数

償還が困難であるとのやむを得ない以下の事由が認められる場合

【対象要件】

1. 被災
2. 病気療養中
3. 失業、離職中
4. 奨学金等の借入金が猶予中
5. 自立相談支援機関が猶予を適当と判断した場合
6. 都道府県社協が上記と同程度の事由と認めた場合

	<table border="1" data-bbox="456 136 1445 327"> <thead> <tr> <th></th> <th>5年度</th> <th>4年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>16件</td> <td>7件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金 初回・延長</td> <td>13件</td> <td>4件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>合計件数</td> <td>29件</td> <td>11件</td> <td>43件</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象要件1. から4. 東京都社会福祉協議会 事務センターで対応する。 対象要件5. 自立相談支援機関による支援を受ける。 対象要件6. 区市町村社協での面談等により、要件に該当するかを確認する。</p>		5年度	4年度	合計	緊急小口資金	16件	7件	25件	総合支援資金 初回・延長	13件	4件	18件	合計件数	29件	11件	43件
	5年度	4年度	合計														
緊急小口資金	16件	7件	25件														
総合支援資金 初回・延長	13件	4件	18件														
合計件数	29件	11件	43件														
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・申請受付は終了したが、貸付に伴う償還業務は継続して行っている。 ・緊急小口資金と総合支援資金「初回」は令和5年1月から、総合支援資金「延長」は令和6年1月から償還開始となり、総合支援資金「再貸付」は令和7年1月から償還開始となる。 ・償還期間及び回数 緊急小口資金 2年間24回 / 総合支援資金 10年間120回 ・制度発足時から、償還開始後に借受人の生活状況を考慮し「償還免除」「償還猶予」等が制度の中に組み込まれており、緊急小口資金・総合支援資金「初回」・「延長」については令和3年度から5年度の住民税非課税世帯の償還免除(判定年度免除)の申請を受け付けている。 ・借受人が日野市から都内区部・市部に転居した場合、転居先の社協が償還業務を担当し、他府県に転居した場合は東京都社会福祉協議会が担当する。 ・日野市で貸付した借受人、転入してきた借受人双方に対し支援していくことが当会の役割だと考えている。 																

権利擁護センター事業

事業名	地域福祉権利擁護事業					
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）					
財源内訳	受託金、利用料、利息					
担当係	権利擁護係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	認知症や障害により判断能力が十分でない方が、地域で安心して暮らしていくことをサポートする。					
内容	1. 地域福祉権利擁護事業					
事業効・評価 方向性等	1) 利用状況 認知症・知的障害・精神障害等により、必要な福祉サービスを自分で適切に選択・利用することや、日常的な金銭管理が不安な方に対し、福祉サービスの利用援助・日常金銭管理・書類等預かりサービスによる支援を行った。					
	①相談件数及び3月末契約件数					
		相談・支援	新規契約	終了(解約)	3月末契約件数	
	5年度	3958件	19件	21件	74件	
	4年度	3336件	18件	15件	76件	
	②3月末契約者内訳					
		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他・不明	合計
	総数	45人	15人	8人	6人	74人
	内生活保護受給者数	16人	1人	6人	5人	28人
	2) 生活支援員連絡会（年3回実施） 事務連絡、活動状況報告の他、利用者の支援にあたる生活支援員からの状況報告を受け、情報交換を行った。2回目は地域包括支援センターによる研修を行った。また3回目は支援員同士の交流の時間を設けた。 （生活支援員登録数 28人）					
	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
	5/22	12人	9/21	12人	1/18	10人
3) 生活支援員の募集 定年や家庭の事情等で退職する支援員が数名いたため、募集をした。						
①「広報ひの」及び「ひの社協だより」で呼びかけ 「ボランティア①インフォメーション」に募集記事掲載						
②生活支援員説明会 日時 7/14（金）10:00～ 会場 福祉支援センター 参加者 4人（うち3人が登録）						

4) 地域福祉権利擁護事業のPR

- ①いづみ会 (精神障害者家族会) 学習会での事業説明
8/22 (火) 13:30～
- ②とよだ居宅支援事業所内部研修での制度説明
6/16 (金) 13:00～
- ③新人地域包括支援センター職員向け研修での事業説明
8/8 (火) 10:30～
- ④ひの社協だより 248号で事業PR

5) 権利擁護センター日野 運営委員会の開催

権利擁護センター業務全体の事業報告、市民後見人の推薦および後見監督の報告、困難事例の相談等を行った。

- ①開催日 5/19、8/28、11/20、2/16

②運営委員

- 玄東和 氏 (医師)
- 伊藤克之 氏 (弁護士)
- 北村智史 氏 (司法書士)
- 廣川理恵子 氏 (日野市社会福祉士会)
- 鈴木美和 氏 (地域包括支援センター多摩川苑社会福祉士)
- 浅野大輔 氏 (夢ふうせん施設長)
- 松田渉 氏 (日野市福祉政策課長)

6) 関係会議への参加

開催日	内容	参加者
6/29	東京都社会福祉協議会 令和5年度第1回地域福祉権利擁護事業業務連絡会	1人
11/27	東京都社会福祉協議会 令和5年度地域福祉権利擁護事業 センター長会議	1人
12/15	南多摩ブロック地権後見担当者会議	3人
2/2	令和5年度第2回地域福祉権利擁護事業業務連絡会	1人

7) 担当者の資質向上のための研修等参加

①専門員向け研修

開催日	内容	参加者
6/22	東京都立多摩総合精神保健福祉センター 令和5年度精神保健福祉基礎研修1 「精神保健福祉施策について」 「精神科で扱われる障害」	1人
7/4	東京都立多摩総合精神保健福祉センター 令和5年度精神保健福祉基礎研修2 「精神科領域の疾病の理解」	1人
7/20	東京都社会福祉協議会 専門員研修 「年金制度の基礎について」	1人
2/20	東京都社会福祉協議会 専門員研修 「事例検討」	1人

	②支援員向け研修	
	開催日	内容
	9/21	「介護保険制度について」 講師 地域包括支援センター多摩川苑 鈴木氏
	—	令和5年度新任生活支援員研修 オンライン研修 12/14 オンライン配信 10/20～3/31
—	現任支援員研修「認知症高齢者の理解」 オンライン配信 2/9～3/31	1人
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の対応に関して、一部の病院・施設を除き、ほぼ通常の支援を継続することができるようになった。 ・利用者数がなかなか増えないが、年間に契約する以上に解約になる方が多いのが実態である。また複雑な課題を抱えた方の相談も多く、簡単に契約に至らない場合もあると感じている。地域包括支援センターやケアマネジャー、障害福祉事業所等へのPRにさらに力を入れて取り組みたい。 ・生活支援員については、「広報ひの」と「ひの社協だより」に加え「ボランティア①インフォメーション」による募集が効果的であった。全体数としてそれほど不足していないものの、男性支援員が少なくなっているため、今後も様子を見て募集していきたい。 	

事業名	財産保全・管理サービス				
事業形態	自主事業				
財源内訳	利用料				
担当係	権利擁護係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	判断能力に支障はないが病弱・虚弱、障害等で日常生活が困難な方が地域で安心して暮らしていくことをサポートする。				
内容	1. 財産保全・管理サービスの実施				
実績報告	身体障害や病弱・高齢等により外出が困難な方に対し、預貯金の出し入れや日常生活に必要な各種手続き代行、書類預かりサービスを提供した。				
		相談・援助	新規契約	終了(解約)	3月末 契約件数
	5年度	9件	0件	0件	2件
4年度	14件	0件	0件	2件	
事業効果・評価 方向性等	・相談はあるが、他の方法で対応ができ、契約件数は増えていない。				

事業名	応急日常金銭管理サービス					
事業形態	自主事業					
財源内訳	利用料					
担当係	権利擁護係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	認知症や障害により判断能力に支障がある方が制度の狭間で困難に陥ることなく、地域で安心して暮らしていくことをサポートする。					
内容	1. 応急日常金銭管理サービスの実施					
実績報告	<p>成年後見制度の申立から審判が下りるまでの間の応急支援として、行政からの依頼を受け、地域福祉権利擁護事業と同様のサービスを実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>5年度 相談・支援</td> <td>157件</td> </tr> <tr> <td>4年度 相談・支援</td> <td>58件</td> </tr> </table>		5年度 相談・支援	157件	4年度 相談・支援	58件
5年度 相談・支援	157件					
4年度 相談・支援	58件					
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・制度的に整っているものではないため積極的なPRはしていないが、相談・対応件数ともに増えており、必要性は感じられる。 					

事業名	成年後見制度利用促進事業					
事業形態	受託事業（日野市）					
財源内訳	受託金					
担当係	権利擁護係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	成年後見制度を始めとする権利擁護支援について、市民・関係機関等の相談援助をおこなうとともに、専門職・関係機関等とのネットワークを構築することで、制度の利用促進を行う。					
内容	1. 成年後見制度における相談・支援の充実					
実績報告	<p>成年後見制度利用促進の中核機関として、成年後見制度が必要な方の利用を支援するため、一次相談の窓口としての役割を担った。</p> <p>広報・啓発、市内の関係機関のネットワークづくり等に力を入れた。</p> <p>後見人就任のためのマッチング、更に就任後の支援を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>5年度 相談・支援</td> <td>432件</td> </tr> <tr> <td>4年度 相談・支援</td> <td>338件</td> </tr> </table> <p>1) 成年後見制度の申立が必要な市民の相談に応じ、後見制度の内容、手続き等の説明を行った。</p> <p>2) 必要に応じて弁護士会や司法書士会、社会福祉士会等の紹介を案内し、後見人等候補者の推薦依頼の支援を行った。</p> <p>3) 検討・支援会議の実施</p> <p>今年度も試行期間として、権利擁護センター日野の運営委員会に合わせて実施する形で年4回実施した。(5/19, 8/28, 11/20, 2/16)</p>		5年度 相談・支援	432件	4年度 相談・支援	338件
5年度 相談・支援	432件					
4年度 相談・支援	338件					

	<p>4) 後見が必要な状態にもかかわらず、経済的理由や親族がない等の理由で申し立てが滞っている場合には、行政をはじめとした関係機関のネットワークにより、市長申し立ても視野に入れた総合的な支援を実施した。</p> <p>5) 担当者の資質向上のための研修等参加</p> <table border="1" data-bbox="443 309 1422 443"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/9, 16, 30</td> <td>多摩南部成年後見センター 令和5年度後見人実務研修</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>6) 広報・PR活動</p> <p>①事業パンフレットの配布</p> <p>②成年後見制度説明 とよだ居宅支援事業所内部研修 6/16 いずみ会(精神障害者家族会)学習会 8/22</p> <p>③「ひの社協だより」、「ボランティア①インフォメーション」への掲載</p>	開催日	内容	参加者	6/9, 16, 30	多摩南部成年後見センター 令和5年度後見人実務研修	1人														
開催日	内容	参加者																			
6/9, 16, 30	多摩南部成年後見センター 令和5年度後見人実務研修	1人																			
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<p>・市民や行政等の関係機関からの相談を受けた。件数は前年度より増えていることに加え、複雑な事例の相談が増えていると感じている。相談からその後の支援につながり、協力して対応することも多い。</p> <p>・今後も希望に合わせて、福祉事業所や家族会等へ説明をしていく。さらに、自治会やサロン等といった細かい範囲での説明も行っていきたい。</p>																				
<p>内 容</p>	<p>2. 後見人選任のためのマッチング、親族後見人等、後見人へのサポート</p>																				
<p>実績報告</p>	<p>1) 後見人に就任している親族や専門職後見人等から、被後見人の福祉サービスの利用や地域生活課題についての相談を受け、必要な情報提供や支援を行った。</p> <p>2) 「成年後見制度説明会」の開催 毎年開催している、行政(福祉政策課・高齢福祉課・障害福祉課)、多摩南部成年後見センターと共催の市民向け制度説明会の打合せを行った。(5/24) 社会福祉協議会が担当する4日目は、親族・市民後見人の学習・交流の場として開催した。</p> <table border="1" data-bbox="443 1406 1445 2069"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>内容</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/14(土) 13:00- 15:00</td> <td>「成年後見制度の概要と家族信託、遺言・相続について」 講師 司法書士 斎藤竜 氏</td> <td>市役所 505 会議室</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>10/21(土) 14:00- 16:00</td> <td>「終活を考えるあなたへ～任意後見・成年後見と終活について」 講師 司法書士 吉村護 氏</td> <td>市役所 505 会議室</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>10/25(水) 14:00- 16:00</td> <td>「障害のある方のための成年後見制度」 講師 行政書士・社会保険労務士 渡部伸 氏</td> <td>市役所 505 会議室</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>11/1(水) 14:00- 16:00</td> <td>「後見人の仕事実践編～親族・市民後見人向け学習会&交流会」 講師 司法書士 北村智史 氏 (交流会は権利擁護センター日野が担当)</td> <td>市役所 505 会議室</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>	日時	内容	会場	参加者	10/14(土) 13:00- 15:00	「成年後見制度の概要と家族信託、遺言・相続について」 講師 司法書士 斎藤竜 氏	市役所 505 会議室	30人	10/21(土) 14:00- 16:00	「終活を考えるあなたへ～任意後見・成年後見と終活について」 講師 司法書士 吉村護 氏	市役所 505 会議室	25人	10/25(水) 14:00- 16:00	「障害のある方のための成年後見制度」 講師 行政書士・社会保険労務士 渡部伸 氏	市役所 505 会議室	33人	11/1(水) 14:00- 16:00	「後見人の仕事実践編～親族・市民後見人向け学習会&交流会」 講師 司法書士 北村智史 氏 (交流会は権利擁護センター日野が担当)	市役所 505 会議室	9人
日時	内容	会場	参加者																		
10/14(土) 13:00- 15:00	「成年後見制度の概要と家族信託、遺言・相続について」 講師 司法書士 斎藤竜 氏	市役所 505 会議室	30人																		
10/21(土) 14:00- 16:00	「終活を考えるあなたへ～任意後見・成年後見と終活について」 講師 司法書士 吉村護 氏	市役所 505 会議室	25人																		
10/25(水) 14:00- 16:00	「障害のある方のための成年後見制度」 講師 行政書士・社会保険労務士 渡部伸 氏	市役所 505 会議室	33人																		
11/1(水) 14:00- 16:00	「後見人の仕事実践編～親族・市民後見人向け学習会&交流会」 講師 司法書士 北村智史 氏 (交流会は権利擁護センター日野が担当)	市役所 505 会議室	9人																		

事業効果・評価 方向性等	・昨年度に引き続き、親族後見人及び市民後見人等のサポートを行うため、相談対応に加え、交流の場を設けた。親族後見人については、把握が難しいため、相談等でかかわりのあった方から支援をしていく。		
内 容	3. 他機関との連携強化		
実績報告	1) 権利擁護センター日野運営委員会 (年4回開催予定) 弁護士、司法書士、社会福祉士、精神科医、地域包括支援センター、障害者支援施設、行政で構成。(5/19,8/28開催)		
	2) 成年後見制度関係機関ネットワーク会議 (年2回開催)		
	開催日	内 容	参加者
	10/20	講演及び交流会 「事例をもとに多職種連携を考える」 講師 多摩パブリック法律事務所 弁護士 秋野達彦 氏 社会福祉士 段佳江 氏 地域包括支援センターすずらん 社会福祉士 廣川理恵子 氏	42人
	2/27	講演及び交流会 「成年後見制度における中核機関の取り組み ～町田市の実践から学ぶ～」 講師 町田市社会福祉協議会 仲泊昌仁 氏	33人
	3) 関係機関の連絡会等への参加 (オンライン参加あり)		
	開催日	内 容	
	4/18, 6/13	地域包括支援センター社会福祉士連絡会	
	5/26	令和5年度第1回利用者支援区市町村連絡会	
	6/30	令和5年度厚生労働省市町村セミナー	
	7/28	令和5年度成年後見制度推進機関テーマ別研究会議	
	7/31	高齢福祉課事例検討会	
	9/12	多摩南部成年後見ネットワーク担当者会議	
	10/12	東京都 令和5年度第2回地域と家裁の連絡会	
	11/20	令和5年度東京都成年後見ネットワーク会議	
11/22	多摩南部成年後見センター 後見人連絡会		
12/20	令和5年度第2回成年後見制度推進機関テーマ別研究会議		
2/21	多摩南部成年後見センター 市外ネットワーク会議		
2/22	法テラス 多摩地方協議会		
2/26	令和5年度家事関係機関と東京家庭裁判所との連絡協議会		
3/1	令和5年度第2回利用者支援区市町村連絡会		
3/8	東京都社会福祉協議会成年後見テーマ別研修会議		
3/13	東京都社会福祉協議会第3回フォローアップ研修		
3/15	令和5年度第3回多摩地域成年後見連絡会		
事業効果・評価 方向性等	・成年後見制度利用促進のため、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、行政書士会、社会保険労務士、行政、地域包括支援センター等との地域連携ネットワークによる相談・支援の体制づくりを進めている。		

内 容	4. 法人後見実施機関への活動支援								
実績報告	現状では活動支援は特に行っていないが、連携をとるために成年後見関係機関ネットワーク会議の案内はしている。								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市内に1か所ある法人後見機関と連絡を取って、まずは緩やかにつながっていく。 ・市外の法人後見機関と連携を取り業務上も協力し合っているところもある。また、今後に向け法人後見について少しずつ検討していきたい。 								
内 容	5. 後見監督の実施（自主事業）								
実績報告	<p>1) 養成講習修了者の登録と候補者の推薦 後見人候補者として登録している方に、地域福祉権利擁護事業生活支援員として当事者支援の経験を重ねながら、「市民後見人」就任要請を受けた時に候補者推薦ができる体制を継続している。 (市民後見人候補者登録数 12人)</p> <p>2) 市民後見人等の受任と法人後見監督の実施 身寄りがなく、セーフティネットの利用対象にならない方に市民後見人等が就任することにより、被後見人等にとって意思が尊重される生活を送ることに寄与した。 当会の市民後見人等候補者の中から受任した市民後見人等に対し、当会で後見監督を受任した。 今年度新たに市民後見人が受任したケースでは、後見監督人なしでの受任となった。</p> <table border="1" data-bbox="501 1032 1382 1126"> <thead> <tr> <th>市民後見受任者</th> <th>後見監督受任件数</th> <th>申立手続中のもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人</td> <td>4件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>			市民後見受任者	後見監督受任件数	申立手続中のもの	5人	4件	0件
	市民後見受任者	後見監督受任件数	申立手続中のもの						
5人	4件	0件							
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人等から3か月ごとの定期報告を受け、適切な後見業務を行っているかということを監督することができた。 ・市民後見人等に対して監督業務だけでなく、相談にも対応した。特に今年度は2人の被後見人が亡くなられ、市民後見人による死後の対応の大変さを再認識した。 ・今後も市民後見人が受任することが適切な事例があれば進めていきたい。 								

福祉人材育成事業

事業名	手話通訳者研修事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	日野市登録手話通訳者の技能の習得およびレベルアップを目指す。		
内容	1. 登録手話通訳者の資質向上		
実績報告	1) 打合せ 1回 (6/7)		
	2) 研修の実施		
	開催日	内容	参加者
	11/2	読み取り技術 講師 北條真由美 氏 (東京手話通訳等派遣センター) ※研修の資料は、日野市聴覚障害者協会会員の手話動画を撮影し使用。テーマは次の3つ。 ・目について ・住んだことのある地域について ・趣味について	11人
11/25	医療現場の通訳、援助支援 講師 片倉和彦 氏 医師 (双葉会診療所 施設長)	14人	
12/7	LGBTQの知識と通訳者としての注意点について 講師 野村恒平 氏 ろうLGBTQ+アクティビスト (日本ろうLGBTQ+連盟 代表)	14人	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 日野市聴覚障害者協会及び日野市登録手話通訳者の会とともに、手話の技能習得及びレベルアップを図ることを目的とした研修プログラムを企画し準備を進めた。 内容の充実を図るため、研修回数を増やす検討を6年度以降進めていく。 		

事業名	手話講習会事業	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	手話言語および手話表現技術、聴覚障害（者）に関する基本的な知識を習得することを目指す。健聴者と聴覚障害者との相互理解を深め、手話全般に関する啓発および普及を図る。 また、将来に亘り日野市登録手話通訳者を増やす。	

内 容	1. 手話講習会の実施																																																						
実績報告	<p>厚生労働省「手話奉仕員」「手話通訳者」養成カリキュラムに基づき、手話の普及啓発を目的としたコミュニケーションコース、手話通訳者を指す通訳養成コースの2コース8クラス制で実施。</p>																																																						
	1) 受講生																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>定員</th> <th>申込者数</th> <th>受講決定者数</th> <th>受講者数</th> <th>修了者数 (皆勤)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入門昼</td> <td>20人</td> <td>22人</td> <td>22人</td> <td>24人</td> <td>18人 (1)</td> </tr> <tr> <td>入門夜</td> <td>20人</td> <td>35人</td> <td>35人</td> <td>34人</td> <td>25人 (8)</td> </tr> <tr> <td>基礎昼</td> <td>20人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>16人</td> <td>12人 (3)</td> </tr> <tr> <td>基礎夜</td> <td>20人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>13人 (3)</td> </tr> <tr> <td>基本昼</td> <td>15人</td> <td>7人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>6人 (2)</td> </tr> <tr> <td>基本夜</td> <td>15人</td> <td>15人</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>12人 (3)</td> </tr> <tr> <td>応用実践</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>1人 (2)</td> </tr> <tr> <td>試験対策</td> <td>8人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	定員	申込者数	受講決定者数	受講者数	修了者数 (皆勤)	入門昼	20人	22人	22人	24人	18人 (1)	入門夜	20人	35人	35人	34人	25人 (8)	基礎昼	20人	17人	17人	16人	12人 (3)	基礎夜	20人	17人	17人	17人	13人 (3)	基本昼	15人	7人	6人	6人	6人 (2)	基本夜	15人	15人	13人	13人	12人 (3)	応用実践	10人	10人	7人	7人	1人 (2)	試験対策	8人	4人	4人	3人	0人
	クラス	定員	申込者数	受講決定者数	受講者数	修了者数 (皆勤)																																																	
	入門昼	20人	22人	22人	24人	18人 (1)																																																	
	入門夜	20人	35人	35人	34人	25人 (8)																																																	
	基礎昼	20人	17人	17人	16人	12人 (3)																																																	
	基礎夜	20人	17人	17人	17人	13人 (3)																																																	
	基本昼	15人	7人	6人	6人	6人 (2)																																																	
	基本夜	15人	15人	13人	13人	12人 (3)																																																	
応用実践	10人	10人	7人	7人	1人 (2)																																																		
試験対策	8人	4人	4人	3人	0人																																																		
2) 選考																																																							
<p>①通訳養成コース受講希望者に対する面談の実施 4/18 (火) 10時～基本昼クラス、応用実践クラス 19時～基本夜クラス ※試験対策クラス 申込者が定員に達しないため面談なし。</p>																																																							
<p>②選考委員会の実施 4/26 (木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションコース 定員を超える申込があったクラスがあったが、選考委員会で話し合いの結果抽選を行わず、申込者全員の受講が決定された。 ・通訳養成コース 面談の結果、基本昼クラス申込者1人、応用実践クラス申込者3人の受講が却下された。(基本夜クラス申込者2人は面談会場に来場せず。) 																																																							
3) 開講式																																																							
<p>各クラス初日に実施。 日野市長による挨拶動画(手話通訳付き)を放映した。</p>																																																							
4) 講演会の開催																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本 (昼・夜)</td> <td>(基本昼) 日時 7/4 (火) 10:00～12:00 (基本夜) 日時 7/11 (火) 19:00～21:00 テーマ 「手話通訳者とは」 講師 萩埜友美 氏 (東京手話通訳等派遣センター)</td> </tr> <tr> <td>応用実践</td> <td>日時 7/18 (火) 10:00～12:00 テーマ 「手話通訳者の仕事と心構え」 講師 高井洋 氏 (東京手話通訳等派遣センター)</td> </tr> <tr> <td>入門・基礎 (昼・夜)</td> <td>(入門・基礎昼) 日時 8/30 (水) 10:00～12:00 (入門・基礎夜) 日時 9/6 (水) 19:00～21:00 テーマ 「手話を学ぶにあたって」 講師 佐伯富美子 氏 (東京手話通訳等派遣センター)</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	内容	基本 (昼・夜)	(基本昼) 日時 7/4 (火) 10:00～12:00 (基本夜) 日時 7/11 (火) 19:00～21:00 テーマ 「手話通訳者とは」 講師 萩埜友美 氏 (東京手話通訳等派遣センター)	応用実践	日時 7/18 (火) 10:00～12:00 テーマ 「手話通訳者の仕事と心構え」 講師 高井洋 氏 (東京手話通訳等派遣センター)	入門・基礎 (昼・夜)	(入門・基礎昼) 日時 8/30 (水) 10:00～12:00 (入門・基礎夜) 日時 9/6 (水) 19:00～21:00 テーマ 「手話を学ぶにあたって」 講師 佐伯富美子 氏 (東京手話通訳等派遣センター)																																															
クラス	内容																																																						
基本 (昼・夜)	(基本昼) 日時 7/4 (火) 10:00～12:00 (基本夜) 日時 7/11 (火) 19:00～21:00 テーマ 「手話通訳者とは」 講師 萩埜友美 氏 (東京手話通訳等派遣センター)																																																						
応用実践	日時 7/18 (火) 10:00～12:00 テーマ 「手話通訳者の仕事と心構え」 講師 高井洋 氏 (東京手話通訳等派遣センター)																																																						
入門・基礎 (昼・夜)	(入門・基礎昼) 日時 8/30 (水) 10:00～12:00 (入門・基礎夜) 日時 9/6 (水) 19:00～21:00 テーマ 「手話を学ぶにあたって」 講師 佐伯富美子 氏 (東京手話通訳等派遣センター)																																																						

	<p>5) ろうゲスト講演会</p> <table border="1" data-bbox="480 161 1442 627"> <thead> <tr> <th data-bbox="480 161 663 208">クラス</th> <th data-bbox="663 161 1442 208">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="480 208 663 333">応用実践</td> <td data-bbox="663 208 1442 333"> 日時 8/29 (火) 10:00~12:00 テーマ 「私の生き立ち」 講師 堀場照美 氏 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 333 663 459">基本 (昼・夜)</td> <td data-bbox="663 333 1442 459"> 日時 1/30 (火) 10:00~12:00/19:00~21:00 内容 交流会やミニ講演会 ゲスト 村杉真希子 氏 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 459 663 627">入門・基礎 (昼・夜)</td> <td data-bbox="663 459 1442 627"> 日時 2/7 (水) 10:00~12:00/19:00~21:00 内容 交流会やミニ講演会 ゲスト (入門・基礎昼) 吉田真弓 氏、森田由紀恵 氏 (入門・基礎昼) 有山美代子 氏、田原夏子 氏 </td> </tr> </tbody> </table> <p>6) 手話通訳者全国統一試験 合格者1人</p> <p>7) 閉講式 コロナ禍で開催することができなかった閉講式を開催した。 コミュニケーションコース 入門・基礎 (昼・夜) 合同 コミュニケーションコース 入門・基礎 (昼・夜) 合同 通訳養成コース 基本 (昼・夜) 、応用実践、試験対策クラス合同</p>	クラス	内容	応用実践	日時 8/29 (火) 10:00~12:00 テーマ 「私の生き立ち」 講師 堀場照美 氏	基本 (昼・夜)	日時 1/30 (火) 10:00~12:00/19:00~21:00 内容 交流会やミニ講演会 ゲスト 村杉真希子 氏	入門・基礎 (昼・夜)	日時 2/7 (水) 10:00~12:00/19:00~21:00 内容 交流会やミニ講演会 ゲスト (入門・基礎昼) 吉田真弓 氏、森田由紀恵 氏 (入門・基礎昼) 有山美代子 氏、田原夏子 氏
クラス	内容								
応用実践	日時 8/29 (火) 10:00~12:00 テーマ 「私の生き立ち」 講師 堀場照美 氏								
基本 (昼・夜)	日時 1/30 (火) 10:00~12:00/19:00~21:00 内容 交流会やミニ講演会 ゲスト 村杉真希子 氏								
入門・基礎 (昼・夜)	日時 2/7 (水) 10:00~12:00/19:00~21:00 内容 交流会やミニ講演会 ゲスト (入門・基礎昼) 吉田真弓 氏、森田由紀恵 氏 (入門・基礎昼) 有山美代子 氏、田原夏子 氏								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・申込者が多く、手話に対する関心の高さがうかがえる。 ・5年度は初めての試みとして、日野市長による手話通訳付き挨拶動画を作成し、各クラス初日に流した。 ・各クラスの手話レベルに合わせた外部講師による講演会を実施した。受講生の満足度が高い内容となった。 ・平成30年度ぶりに規模を縮小した形だが閉講式を開催することができた。 								
内 容	2. 保育制度								
実績報告	<p>受講生の保育希望者に対し保育サービスを提供した。 9月末までは1歳未満の子どもがいたため、NPO 法人市民サポートセンター日野で行っている保育サービス「ふれんどさん保育室」、10月以降は日野市保育協力員を活用した。 保育利用者 3人 (入門昼3人)</p>								
事業効果・評価 方向性等	<p>・30年度にコミュニケーションコース入門 (昼) クラスで保育制度を導入。その後、基礎・基本・応用実践の昼クラスへ拡充することができ、子育て世代の方の手話を学ぶ環境を整えることができている。</p>								
内 容	3. 手話通訳者全国統一試験受験合格者の輩出								
実績報告	<p>1) 「手話通訳者全国統一試験」意見交換会 (5/28) 出席 検討委員2人</p> <p>2) 「手話通訳者全国統一試験」説明会 (7/2) 出席 検討委員1人、日野市社会福祉協議会1人</p> <p>※東京手話通訳者統一試験委員会事務局主催の受験予定者向け研修会や講演会については、受験予定者が当会を通さず委員会事務局に申し込むため、申込者数や参加者数は不明。</p>								

事業効果・評価 方向性等	・東京手話通訳者統一試験委員会事務局主催の受験予定者向け研修会や講演会については、案内が届き次第すぐに受験予定者に周知することで、研修会や講演会への参加を早めに促すことができた。
内 容	4. 講師・助手会議等の開催
実績報告	1) 選考委員会 1回開催 (4/26) 2) 講師・助手会議 1回開催 (4/26) 3) 次年度検討会 2回開催 (8/1,2/8)
事業効果・評価 方向性等	・検討委員及び講師助手を担う3団体（日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会、ひの手話サークル）と障害福祉課とは日頃から密に連絡を取り合い、講習会実施に取り組んだ。この関係性を継続し、日野市の意思疎通支援の向上に寄与したい。

事業名	福祉のしごと相談会				
事業形態	第1回 東京都福祉人材センターとの共同主催、第2回 市受託				
財源内訳	第1回 歳末たすけあい配分金、第2回 受託金(日野市)				
担当係	総務係				
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ				
目 的	介護職をはじめとする日野市の福祉人材の確保・開拓を図る。				
内 容	1. 相談・面接会の実施				
実績報告	1) 共催 ハローワークハ王子、(第2回のみ) 東京都福祉人材センター 協力 日野市内社会福祉法人ネットワーク				
	2) 実績 会場はいずれもイオンモール多摩平の森イオンホール				
		開催日・主催	事業所数	参加者	採用人数
	5年度	10/6 (金) 社協、東京都福祉人材センター	15社 高齡 7社 障害 6社 保育 2社	21人	2人 高齡2人 障害0人 保育0人
		2/9 (金) 日野市	15社 高齡 4社 障害 6社 保育 5社		83人 高齡7人 障害6人 保育6人
	4年度	10/7 (金) 社協、東京都福祉人材センター	14社 高齡 5社 障害 7社 児童・保育 2社	28人	3人 高齡1人 障害2人 保育0人
2/10 (金) 日野市		15社 高齡 5社 障害 5社 障害・児童 4社 保育 1社	23人 高齡2人 障害2人 保育1人		

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回は、例年並みの参加者数だったが、比較的年齢層が若く、時間ぎりぎりまで相談している様子が見られた。 ・第2回は、新たな広報手段を取り入れたところ、歴年でも類を見ない参加者数となった。コロナウイルス感染症が第5類感染症に分類変更され、活動が活発になってきたことも一因と考えられる。 ・今年度に出展した事業所に限らず、人材確保の困難さをどの事業所でも聞くようになった。
-----------------	---

事業名	福祉人材育成研修事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	在宅サービス係、総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	市内の高齢福祉サービスおよび障害福祉サービス事業所の従事者を対象にスキルアップや就労定着の促進に向けた研修会を行う。また人材の確保のため福祉施設の就労相談のための見学会を実施する。		
内容	1. 人材育成のための研修会		
実績報告	1) 経営者・管理者向け（全1回）		
	開催日	内容	参加者
	12/22午後	“人財”を育てる！指導力養成研修	21人
	2) 施設職員・訪問介護員向け（各全2回、合同開催）		
	開催日	内容	参加者
	11/2 夕方	認知症ケア研修	15人
	2/7 夜間	看取りケアにおける介護職の視点	23人
	3) ケアマネジャー向け（全4回）		
	開催日	内容	参加者
	10/30午前	ケアマネジャーに必要なコンプライアンス／自立支援型ケアプランの作成	31人
	10/30午後	令和5年度介護保険法改正／令和6年度介護報酬改定概要確認	73人
	2/29午後	コミュニケーション力を高めるために！	20人
	3/8夜間	ストレスフリーな生活を送るために！	8人
	4) 福祉人材定着研修		
	開催日	内容	参加者
	9/15午後	接遇マナー研修	16人
	10/18午後	メンタルヘルスケア研修	14人
	2/5夜間	タイムマネジメント研修 (※降雪のためキャンセル多数、申込者は19人)	8人
	3/18	話し方・伝え方研修	17人
	5) ヤングケアラー講演会		

	<p>ヤングケアラーについて周知啓発を行うための講演会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="443 138 1452 855"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 138 619 183">開催日</th> <th data-bbox="619 138 1300 183">内容</th> <th data-bbox="1300 138 1452 183">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 183 619 855">2/10</td> <td data-bbox="619 183 1300 855"> <p>「ヤングケアラー支援のための講演会」</p> <p><u>第1部：基調講演</u> 「ヤングケアラー・若者ケアラーとは？」 【講師】 宮崎成悟 氏 (一般社団法人ヤングケアラー協会代表理事)</p> <p><u>第2部：パネルディスカッション</u> 「ヤングケアラーと家族を支えるために。いま私たちができること」 【登壇者】 宮崎成悟 氏 隅田典享 氏 (なごみ在宅介護サービス日野) 吉村正久 氏 (元日野市立中学校校長) 浅野由佳 氏 (日野市ひきこもり相談員) 三浦愛 氏 (日野市子ども家庭支援センター)</p> </td> <td data-bbox="1300 183 1452 855">84人</td> </tr> </tbody> </table> <p>6) 事業所アンケート 福祉人材に関するアンケート調査を実施し、集計結果を市に報告した。 【調査期間】 2024年2月中旬～3月中旬 【調査対象】 以下事業所の管理者 ① 訪問介護事業所 (30カ所) ② 放課後等デイサービス・児童発達支援事業所 (28カ所) 【調査内容】 人材の採用・育成・定着について 【回答数】 訪問介護事業所 18カ所 放課後等デイサービス・児童発達支援事業所 12カ所</p>	開催日	内容	参加者	2/10	<p>「ヤングケアラー支援のための講演会」</p> <p><u>第1部：基調講演</u> 「ヤングケアラー・若者ケアラーとは？」 【講師】 宮崎成悟 氏 (一般社団法人ヤングケアラー協会代表理事)</p> <p><u>第2部：パネルディスカッション</u> 「ヤングケアラーと家族を支えるために。いま私たちができること」 【登壇者】 宮崎成悟 氏 隅田典享 氏 (なごみ在宅介護サービス日野) 吉村正久 氏 (元日野市立中学校校長) 浅野由佳 氏 (日野市ひきこもり相談員) 三浦愛 氏 (日野市子ども家庭支援センター)</p>	84人
開催日	内容	参加者					
2/10	<p>「ヤングケアラー支援のための講演会」</p> <p><u>第1部：基調講演</u> 「ヤングケアラー・若者ケアラーとは？」 【講師】 宮崎成悟 氏 (一般社団法人ヤングケアラー協会代表理事)</p> <p><u>第2部：パネルディスカッション</u> 「ヤングケアラーと家族を支えるために。いま私たちができること」 【登壇者】 宮崎成悟 氏 隅田典享 氏 (なごみ在宅介護サービス日野) 吉村正久 氏 (元日野市立中学校校長) 浅野由佳 氏 (日野市ひきこもり相談員) 三浦愛 氏 (日野市子ども家庭支援センター)</p>	84人					
事業効果・評価 方向性等	<p>【経営者・管理者向け研修】 人材育成をテーマに研修を開催したところ、管理者以外の参加も多く見られた。今後管理者向け以外の枠でも開催を検討したい。</p> <p>【施設職員・訪問介護員向け研修】 「看取り」をテーマとした研修は夜間開催にもかかわらず多くの参加者が集まった。次年度の研修を検討する上での参考としたい。</p> <p>【ケアマネジャー向け研修】 ストレスマネジメントを目的とした研修は参加が振るわなかった。テーマ設定/周知方法/開催時間/開催時期等見直していきたい。</p> <p>【福祉人材定着研修】 本事業における初の試みとして、新人～中堅職員の職場定着を目的とした4回連続講座を開催した。4回続けて参加した受講者からは「連続講座は新鮮で学びが多かった。次年度以降も開催してほしい」という声が寄せられた。</p> <p>【ヤングケアラー講演会】 講師および登壇者のお話は大変分かりやすく、参加者からも好評であった。今回の学びを今後のヤングケアラー施策と地域づくりに生かしていきたい。</p> <p>【事業所アンケート】</p>						

	調査対象となった訪問介護事業所・放課後等デイサービス事業所・児童発達支援事業所は、いずれも人材の確保、特に採用において苦慮していることが分かった。
--	---

事業名	障害福祉人材育成事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	在宅サービス係、総務係、ボランティア係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	市内の障害福祉事業に携わる人材の確保のため、地域における人材の育成や福祉資格取得のための相談受付、情報提供を行う。また、障害福祉事業所の職員を対象にスキルアップや就労定着の促進に向けた研修会を開催する。		
内容	1. 人材育成のための研修会		
実績報告	従事者向け研修（全1回）		
	開催日	内容	参加者
	1/26午後	障害者グループホーム管理者向け虐待防止研修 「障害者虐待防止法の理解と虐待防止委員会について」 講師 三田優子 氏 (大阪公立大学現代システム科学域准教授) 会場 中央福祉センター	18施設 21人
事業効果・評価 方向性等	・受講者より「具体的な支援の本質について話を聞いた」「職員としての立ち位置を見直せた」「利用者についてもっと知りたいと思えた」等前向きな感想が聞かれ、実りのある有意義な研修になったことが伺い知れた。		

内 容	2. 差別解消を目的とした人権意識醸成のための活動																	
実績報告	<p>令和2年4月に施行された日野市障害者差別解消推進条例をきっかけに、障害者差別解消に向け市民の「気づき」「意識変化」「行動」が必要であると認識した。主に福祉教育を行う小学生をターゲットに実施する。福祉教育ハートフルプロジェクトを進めるにあたり、第3次日野市学校教育基本構想の掲げる「すべてのいのちがよるこびあふれる未来をつくっていく力を子どもたちと共に育む」ことに沿って実施する。</p>																	
	1) 福祉教育ハートフルプロジェクト																	
	①委員																	
	大和田邦彦 校長、須藤朋子 教諭 (両名ともに七生緑小学校)																	
	大平晴 教諭 (滝合小学校)、大沼真弓 教諭 (七生特別支援学校)																	
	大塚佳代子 教諭 (八王子東特別支援学校)																	
	藤田博文 氏 (CIL 日野事務局次長)																	
	(日野市障害者差別解消推進条例策定検討委員会委員長)																	
	廣田隆二 氏、立原直人 氏 (日野市障害福祉課)																	
	②会議の開催																	
福祉教育ハートフルプロジェクト実施について情報共有のみとした。																		
2) 福祉教育ハートフルプロジェクト パートナー校における取組み																		
①日野第三小学校																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/6</td> <td>ハートフルプロジェクトスタートアップ授業</td> </tr> <tr> <td>12/19</td> <td>講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験</td> </tr> <tr> <td>11/30</td> <td>講話 堀場照美 氏 (聴覚障害)、手話体験</td> </tr> <tr> <td>12/21</td> <td>講話 中野健吾 氏 (車いす利用者)、車いす体験</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	内容	10/6	ハートフルプロジェクトスタートアップ授業	12/19	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験	11/30	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害)、手話体験	12/21	講話 中野健吾 氏 (車いす利用者)、車いす体験								
実施日	内容																	
10/6	ハートフルプロジェクトスタートアップ授業																	
12/19	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験																	
11/30	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害)、手話体験																	
12/21	講話 中野健吾 氏 (車いす利用者)、車いす体験																	
②日野第五小学校																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/19</td> <td>ハートフルプロジェクトスタートアップ授業</td> </tr> <tr> <td>10/16</td> <td>講話 中野健吾 氏 (車いす利用者)、車いす体験</td> </tr> <tr> <td>11/10</td> <td>講話 堀場照美 氏 (聴覚障害)、手話体験</td> </tr> <tr> <td>11/22</td> <td>ブラインドウォーク体験</td> </tr> <tr> <td>11/24</td> <td>講話 菊地美由紀 氏 (視覚障害)</td> </tr> <tr> <td>12/4</td> <td>講話 斎藤あきの 氏 (LGBTQ+)</td> </tr> <tr> <td>1/18</td> <td>講話 福永悠 氏 (精神障害)</td> </tr> <tr> <td>3/8</td> <td>福祉教育ハートフルプロジェクト 発表会</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	内容	9/19	ハートフルプロジェクトスタートアップ授業	10/16	講話 中野健吾 氏 (車いす利用者)、車いす体験	11/10	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害)、手話体験	11/22	ブラインドウォーク体験	11/24	講話 菊地美由紀 氏 (視覚障害)	12/4	講話 斎藤あきの 氏 (LGBTQ+)	1/18	講話 福永悠 氏 (精神障害)	3/8	福祉教育ハートフルプロジェクト 発表会
実施日	内容																	
9/19	ハートフルプロジェクトスタートアップ授業																	
10/16	講話 中野健吾 氏 (車いす利用者)、車いす体験																	
11/10	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害)、手話体験																	
11/22	ブラインドウォーク体験																	
11/24	講話 菊地美由紀 氏 (視覚障害)																	
12/4	講話 斎藤あきの 氏 (LGBTQ+)																	
1/18	講話 福永悠 氏 (精神障害)																	
3/8	福祉教育ハートフルプロジェクト 発表会																	
③日野第六小学校																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/18, 19</td> <td>ハートフルプロジェクトスタートアップ授業</td> </tr> <tr> <td>9/14, 15</td> <td>講話 大川稔 氏、中野健吾 氏 (車いす利用者) 車いす体験</td> </tr> <tr> <td>9/28, 29</td> <td>講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	内容	7/18, 19	ハートフルプロジェクトスタートアップ授業	9/14, 15	講話 大川稔 氏、中野健吾 氏 (車いす利用者) 車いす体験	9/28, 29	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験										
実施日	内容																	
7/18, 19	ハートフルプロジェクトスタートアップ授業																	
9/14, 15	講話 大川稔 氏、中野健吾 氏 (車いす利用者) 車いす体験																	
9/28, 29	講話 佐々木拓海 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験																	

10/13	講話 河中俊樹 氏 (片耳難聴)
10/26	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害)、手話体験
11/16	講話 竹本功 氏 (認知症家族)
11/17	講話 斎藤あきの 氏 (LGBTQ+)
2/15	福祉教育ハートフルプロジェクト 公開授業
2/19	講話 菊地美由紀 氏 (視覚障害)
2/28	東京光の家訪問

④日野第七小学校

実施日	内容
5/24	ハートフルプロジェクトスタートアップ授業
5/31	講話 中野健吾 氏 (車いす利用者)、車いす体験
6/17	講話 有山一博 氏 (聴覚障害) 手話体験 (ひの手話サークル)
6/30	講話 菊地美由紀 氏 (視覚障害) ブラインドウォーク体験
9/16	講話 中山玲子 氏 (視覚障害)、点字体験
10/6	講話 福永悠 氏 (精神障害)
10/25	八王子東特別支援学校交流授業 (インクルーシブ公園)
12/7	みんなの幸せプロジェクト発表
12/21	八王子東特別支援学校交流授業 (学校訪問)
1/18	講話 緑と清流課 (インクルーシブ公園について)
2/5, 7, 15	福祉教育ハートフルプロジェクトまとめ
3/4	みんなの幸せプロジェクトイベント
3/9	福祉教育ハートフルプロジェクト特別講演会 発表

⑤旭が丘小学校

実施日	内容
7/13	ハートフルプロジェクトスタートアップ授業
10/5	講話 中野健吾 氏 (車いす利用者)、車いす体験
11/16	講話 堀場照美 氏 (聴覚障害)、手話体験
11/28	講話 菊地美由紀 氏 (視覚障害)

事業効果・評価
方向性等

- ・福祉教育ハートフルプロジェクトのパートナー校が5校になった。それぞれの学校の年間計画に基づき、学年の目標に合わせて実施した。
- ・ハートフルプロジェクトスタートアップ授業をすることにより、子どもたちが「みんなの幸せ」をキーワードにして学習に向かうことができている。
- ・多様な当事者講師の話から、子どもが相手のことを理解することで、偏見の解消に大きな役割を果たしている。
- ・今年度は、日野市内社会福祉法人ネットワークの共生社会を考えるシンポジウムで、パートナー校の日野第七小学校の児童による発表を行った。

内 容	3. 福祉の資格取得のための相談窓口および情報提供								
実績報告	福祉関係の資格取得を希望する市民からの相談があった場合、必要に応じて関係機関を紹介する等の情報提供を行った。 市生活援助型スタッフ研修 2件								
内 容	4. 移動支援従事者養成研修								
実績報告	1) 打合せ 5回 実施する研修について、受入施設と研修内容を検討した。								
	2 日野市移動支援従事者養成研修 障害児（者）の外出・余暇活動の支援のため、市内福祉施設と連携して移動支援事業に必要な講義・実習を通じた研修会を行った。研修修了生に対し移動支援従事者として雇用する受入事業者を紹介した。 〔受講・修了者〕 5人								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/22 (日)</td> <td>講義Ⅰ ア) 移動支援事業とは イ) 障害者の特性と外出支援について 講師 天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野)</td> </tr> <tr> <td>10/23 (月) ～ 11/10 (金)</td> <td>施設実習 [2日間10時間以上] ・工房夢ふうせん・東京光の家就労ホーム・あおとり日野 ・障害児放課後クラブ・生活介護事業所とちのみ</td> </tr> <tr> <td>11/12 (日)</td> <td>①外出実習 場所 高幡不動駅から多摩動物公園 (園内含む) 内容 障害当事者と高幡不動駅から多摩動物公園まで公共交通機関を利用し、外出付き添いを行うとともに園内の散策を通じ移動支援の利用中を想定した実習を行う。 ②講義Ⅱ 振り返り・グループ討議 講師 天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野)</td> </tr> </tbody> </table>		内容	10/22 (日)	講義Ⅰ ア) 移動支援事業とは イ) 障害者の特性と外出支援について 講師 天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野)	10/23 (月) ～ 11/10 (金)	施設実習 [2日間10時間以上] ・工房夢ふうせん・東京光の家就労ホーム・あおとり日野 ・障害児放課後クラブ・生活介護事業所とちのみ	11/12 (日)	①外出実習 場所 高幡不動駅から多摩動物公園 (園内含む) 内容 障害当事者と高幡不動駅から多摩動物公園まで公共交通機関を利用し、外出付き添いを行うとともに園内の散策を通じ移動支援の利用中を想定した実習を行う。 ②講義Ⅱ 振り返り・グループ討議 講師 天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野)
		内容							
	10/22 (日)	講義Ⅰ ア) 移動支援事業とは イ) 障害者の特性と外出支援について 講師 天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野)							
	10/23 (月) ～ 11/10 (金)	施設実習 [2日間10時間以上] ・工房夢ふうせん・東京光の家就労ホーム・あおとり日野 ・障害児放課後クラブ・生活介護事業所とちのみ							
	11/12 (日)	①外出実習 場所 高幡不動駅から多摩動物公園 (園内含む) 内容 障害当事者と高幡不動駅から多摩動物公園まで公共交通機関を利用し、外出付き添いを行うとともに園内の散策を通じ移動支援の利用中を想定した実習を行う。 ②講義Ⅱ 振り返り・グループ討議 講師 天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野)							
	3) 移動支援従事者フォローアップ研修 日野市移動支援従事者養成研修を修了した者に対し、①障害（利用）者の安心安全のサービスの提供②従事者の資質向上のため（地域・障害福祉の理解向上）フォローアップ研修を行った。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>(講義/グループワーク) 日時 5/21 (日) 10:00～12:00 場所 ほっとも南平 内容 ①講義「実際に活動してみでの感想と振り返り」 ②グループワーク 講師 天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野) 参加 6人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>(演習・みんなといっしょの運動会 (運営サポート)) 日時 10/1 (日) 10:00～16:00 場所 日野市市民の森ふれあいホール 内容 障害者施設等が参加する「みんなといっしょの運動会」の運営サポート (会場設営・チーム参加・利用者の付添</td> </tr> </tbody> </table>		内容	第1回	(講義/グループワーク) 日時 5/21 (日) 10:00～12:00 場所 ほっとも南平 内容 ①講義「実際に活動してみでの感想と振り返り」 ②グループワーク 講師 天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野) 参加 6人	第2回	(演習・みんなといっしょの運動会 (運営サポート)) 日時 10/1 (日) 10:00～16:00 場所 日野市市民の森ふれあいホール 内容 障害者施設等が参加する「みんなといっしょの運動会」の運営サポート (会場設営・チーム参加・利用者の付添		
		内容							
第1回	(講義/グループワーク) 日時 5/21 (日) 10:00～12:00 場所 ほっとも南平 内容 ①講義「実際に活動してみでの感想と振り返り」 ②グループワーク 講師 天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野) 参加 6人								
第2回	(演習・みんなといっしょの運動会 (運営サポート)) 日時 10/1 (日) 10:00～16:00 場所 日野市市民の森ふれあいホール 内容 障害者施設等が参加する「みんなといっしょの運動会」の運営サポート (会場設営・チーム参加・利用者の付添								

		い等) を行い、実践的な当事者理解を深めた。 参加 5人
	第3回	(障害者施設見学ならびに講義/グループ討議) 日時 3/15 (金) 9:00~17:00 内容 障害者施設見学 ①日野市発達・教育センター「エール」 ②夢ふうせん ③光の家就労ホーム、グループホーム 講義・座学 ①移動支援振り返り (30分) ②事例検討・グループ討議 (30分×2) 講師 天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野) 松田真美 氏 (相談室さくらそう) 参加 9人
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで実習施設だった(社福)すずかけの会ぶらたなすが8月末日で閉所し、新たに(社福)おおぞら障害児放課後クラブに協力を要請した。 ・フォローアップ研修は、従事者同士の繋がりや情報交換の機会としての位置づけで実施したが、学業の影響や対人援助のみに関心がある等の理由で参加者が少ない。 ・日野市移動支援従事者養成研修では、今年も5人の大学生が無事研修を修了した。また、フォローアップ研修として施設見学やケース検討等修了後の研修も併せて行った。 ・日野市内の障害者施設等の協力を得て、養成研修やフォローアップ研修を実施することができた。 	

事業名	社会福祉士養成のための実習生の受入		
事業形態	自主事業		
財源内訳	手数料		
担当係	総務係・地域支援係・ボランティア係・権利擁護係・在宅サービス係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	将来の福祉人材の育成のため、社会福祉士を目指す学生を実習生として受け入れ、専門職としての指導を行う。		
内容	1. 実習プログラムの作成・指導		
実績報告	大学や専門学校等で社会福祉士養成課程を履修する学生を実習生として受け入れ、ソーシャルワーカーの役割や支援内容等について指導を行った。		
	1) 概要および内容		
	所属養成機関(学校名)および学生	期間(日数・時間)	人数
	明星大学人文学部 福祉実践学科3年次生	9/4-10/13 (26日間・187時間)	1人
	大妻女子大学人間社会学部 人間福祉学科3年次生	9/4-9/15 (8日間・62時間)	1人
	法政大学現代福祉学部 福祉コミュニティ学科3年次生	9/15-10/25 (26日・190時間)	1人
大妻女子大学人間社会学部	2/6-3/18	2人	

	人間福祉学科3年次生	(27日・186.5時間)	
	法政大学現代福祉学部 福祉コミュニティ学科2年次生	2/7-2/19 (8日・65.5時間)	1人
	2) 実習報告会 (10/13, 3/18)		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士養成カリキュラムの変更により、昨年度から180時間および60時間の2種類の実習受入を行うようになった。併せて、大学や専門学校といった養成校からの受入依頼件数も増えた。 ・実習のねらいも養成校での学んだ知識と技術を統合して、価値と倫理に基づく実践といかに結び付けるかという視点に変わってきたため、受入にあたっての職員の意識変革も求められた。 		

法人運営事業

事業名	組織運営事業																
事業形態	自主事業、補助事業																
財源内訳	会費、寄附金、補助金、広告料、手数料、受入研修費																
担当係	総務係（12.部会活動は在宅サービス係、ボランティア係）																
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																
目的	各種法令や諸規程を遵守し、住民参加による透明性の高い法人組織として健全な運営を図る。 法人内の係間の調整や事務局管理を行い、効果的かつ効率的な経営が行われるよう努める。																
内容	1. 任期満了に伴う新役員（理事・監事）の選任																
実績報告	理事・監事の任期終期が令和5年6月の定時評議員会までだったことから、今年度の定時評議員会において改選を行った。																
内容	2. 理事会・評議員会・経営会議の開催																
実績報告	1) 理事会																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6/15</td> <td>報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第1号 令和4年度 事業報告について 審議第2号 令和4年度 決算報告ならびに監査報告について 審議第3号 新役員（理事・監事）候補者の提案について 審議第4号 定時評議員会の開催について 審議第5号 社会福祉充実残額の承認について</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>6/29</td> <td>報告第2号 役員（理事・監事）の選任について 審議第6号 会長の選任について 審議第7号 副会長の選任について 審議第8号 常務理事の選任について 審議第9号 担当委員の選任について</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>11/17</td> <td>報告第3号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第10号 令和5年度（2023年度）上半期事業報告について 審議第11号 令和5年度（2023年度）上半期決算報告ならびに監査報告について 審議第12号 職員の定年等に関する規程の制定について 審議第13号 服務規程の一部改正について 審議第14号 給与規程の一部改正について 審議第15号 再雇用職員取扱要綱の一部改正について 審議第16号 第一次補正予算の報告承認について 審議第17号 第二次補正予算の報告承認について 審議第18号 評議員会の開催について</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>3/14</td> <td>審議第19号 令和6年度（2024年度）事業計画について 審議第20号 令和6年度（2024年度）予算について 審議第21号 福祉サービス利用援助事業運営規定の一部改正について 審議第22号 評議員会の開催について</td> </tr> </tbody> </table>		実施日	内容	第1回	6/15	報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第1号 令和4年度 事業報告について 審議第2号 令和4年度 決算報告ならびに監査報告について 審議第3号 新役員（理事・監事）候補者の提案について 審議第4号 定時評議員会の開催について 審議第5号 社会福祉充実残額の承認について	第2回	6/29	報告第2号 役員（理事・監事）の選任について 審議第6号 会長の選任について 審議第7号 副会長の選任について 審議第8号 常務理事の選任について 審議第9号 担当委員の選任について	第3回	11/17	報告第3号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第10号 令和5年度（2023年度）上半期事業報告について 審議第11号 令和5年度（2023年度）上半期決算報告ならびに監査報告について 審議第12号 職員の定年等に関する規程の制定について 審議第13号 服務規程の一部改正について 審議第14号 給与規程の一部改正について 審議第15号 再雇用職員取扱要綱の一部改正について 審議第16号 第一次補正予算の報告承認について 審議第17号 第二次補正予算の報告承認について 審議第18号 評議員会の開催について	第4回	3/14	審議第19号 令和6年度（2024年度）事業計画について 審議第20号 令和6年度（2024年度）予算について 審議第21号 福祉サービス利用援助事業運営規定の一部改正について 審議第22号 評議員会の開催について
		実施日	内容														
	第1回	6/15	報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第1号 令和4年度 事業報告について 審議第2号 令和4年度 決算報告ならびに監査報告について 審議第3号 新役員（理事・監事）候補者の提案について 審議第4号 定時評議員会の開催について 審議第5号 社会福祉充実残額の承認について														
	第2回	6/29	報告第2号 役員（理事・監事）の選任について 審議第6号 会長の選任について 審議第7号 副会長の選任について 審議第8号 常務理事の選任について 審議第9号 担当委員の選任について														
第3回	11/17	報告第3号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第10号 令和5年度（2023年度）上半期事業報告について 審議第11号 令和5年度（2023年度）上半期決算報告ならびに監査報告について 審議第12号 職員の定年等に関する規程の制定について 審議第13号 服務規程の一部改正について 審議第14号 給与規程の一部改正について 審議第15号 再雇用職員取扱要綱の一部改正について 審議第16号 第一次補正予算の報告承認について 審議第17号 第二次補正予算の報告承認について 審議第18号 評議員会の開催について															
第4回	3/14	審議第19号 令和6年度（2024年度）事業計画について 審議第20号 令和6年度（2024年度）予算について 審議第21号 福祉サービス利用援助事業運営規定の一部改正について 審議第22号 評議員会の開催について															

	2) 評議員会												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定時評議員会</td> <td>6/29</td> <td>議案第1号 令和4年度 事業報告について 議案第2号 令和4年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 令和4年度 社会福祉充実残額の承認について 議案第4号 新役員(理事・監事)の承認について</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>11/27</td> <td>議案第5号 令和5年度 上半期事業報告について 議案第6号 令和5年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第7号 職員の定年等に関する規程の制定について 議案第8号 服務規程の一部改正について 議案第9号 給与規程の一部改正について 議案第10号 再雇用職員取扱要綱の一部改正について 議案第11号 第一次補正予算の報告承認について 議案第12号 第二次補正予算の報告承認について</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>3/25</td> <td>議案第13号 令和6年度(2024年度) 事業計画について 議案第14号 令和6年度(2024年度) 予算について 議案第15号 福祉サービス利用援助事業運営規程の一部改正について 議案第16号 役員(理事)候補者の選任について</td> </tr> </tbody> </table>		実施日	内容	定時評議員会	6/29	議案第1号 令和4年度 事業報告について 議案第2号 令和4年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 令和4年度 社会福祉充実残額の承認について 議案第4号 新役員(理事・監事)の承認について	第2回	11/27	議案第5号 令和5年度 上半期事業報告について 議案第6号 令和5年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第7号 職員の定年等に関する規程の制定について 議案第8号 服務規程の一部改正について 議案第9号 給与規程の一部改正について 議案第10号 再雇用職員取扱要綱の一部改正について 議案第11号 第一次補正予算の報告承認について 議案第12号 第二次補正予算の報告承認について	第3回	3/25	議案第13号 令和6年度(2024年度) 事業計画について 議案第14号 令和6年度(2024年度) 予算について 議案第15号 福祉サービス利用援助事業運営規程の一部改正について 議案第16号 役員(理事)候補者の選任について
	実施日	内容											
定時評議員会	6/29	議案第1号 令和4年度 事業報告について 議案第2号 令和4年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 令和4年度 社会福祉充実残額の承認について 議案第4号 新役員(理事・監事)の承認について											
第2回	11/27	議案第5号 令和5年度 上半期事業報告について 議案第6号 令和5年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第7号 職員の定年等に関する規程の制定について 議案第8号 服務規程の一部改正について 議案第9号 給与規程の一部改正について 議案第10号 再雇用職員取扱要綱の一部改正について 議案第11号 第一次補正予算の報告承認について 議案第12号 第二次補正予算の報告承認について											
第3回	3/25	議案第13号 令和6年度(2024年度) 事業計画について 議案第14号 令和6年度(2024年度) 予算について 議案第15号 福祉サービス利用援助事業運営規程の一部改正について 議案第16号 役員(理事)候補者の選任について											
	3) 経営会議 12回開催												
	4) 内部監査(監査) ①令和4年度決算監査 6/5(月) ②令和5年度上半期決算監査 11/6(月)												
内容	3. 福祉サービスに関する苦情申出窓口の設置												
実績報告	任期満了に伴い、苦情解決第三者委員3人の選出を行うと共に、当会福祉サービスに関する苦情申出窓口を設置して苦情受付を行った。 苦情受付件数 1件												
内容	4. 第5次日野市地域福祉活動計画の推進												
実績報告	5ヶ年(令和3年度～令和7年度)の活動計画の推進状況について、推進会議で評価を行った。 1) 第5次日野市地域福祉活動計画推進会議 推進委員(順不同敬称略) 委員長 山本美香 氏(東洋大学福祉社会デザイン学部) 副委員長 浅野大輔 氏(社会福祉法人夢ふうせん) 中澤洋 氏(日野市商工会/日野市社会福祉協議会理事) 大澤朋子 氏(実践女子大学生生活科学部/日野市社会福祉協議会理事) 中村真佐子 氏(権利擁護センター日野 生活支援員) 北村智史 氏(公益社団法人成年後見センターリーガルサポート東京支部) 矢崎功 氏(南平地区社会福祉協議会) 木下菜摘 氏(社会福祉法人マザアス) 粟沢稚富美 氏(日野市立駅前子育て応援施設 子育てカフェモグモグ) 川田利子 氏(地域包括支援センターいきいきタウン) 藤田博文 氏(NPO法人自立生活センター・日野) 丹野慶子 氏(日野市民生委員・児童委員協議会) 松田渉 氏(日野市健康福祉部福祉政策課) 西山律子 氏(日野市企画部地域協働課)												

	<p>2) 会議の開催</p> <table border="1"> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> <tr> <td>1/29</td> <td>推進状況報告及び評価等 会場：中央福祉センター</td> <td>14人</td> </tr> </table>	開催日	内容	参加者	1/29	推進状況報告及び評価等 会場：中央福祉センター	14人												
開催日	内容	参加者																	
1/29	推進状況報告及び評価等 会場：中央福祉センター	14人																	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっともや福祉教育ハートフルプロジェクト等、子ども達へ向けた事業における丁寧な取り組みが委員からの高評価につながった。 ・ちょこすけサービスや買い物支援サービス等の地域活動への市民からの期待が高まる中で、南平地区社会福祉協議会が行っている活動の振り返りの場が他の活動団体でも必要となることが確認された。 ・災害時には先の読めない様々な課題が出てくることが想定されることから地域の中でいざとなったら助け合える顔見知りができるだけ作っておくために、日野市民でつくる防災・減災シンポジウムへ期待する意見があった。 ・コロナ禍で生活福祉資金の借受人への民生委員の訪問がまならなかった時期を経て、訪問が再開できるようになったことから改めて民生委員への研修の継続や相談のサポートを求める意見があった。 																		
内 容	5. 日野市内社会福祉法人ネットワーク																		
実績報告	<p>「暮らしの支援」「福祉人材の育成（福祉教育）」「情報発信」の3つの柱に、「防災・減災」を加えてネットワーク活動を推進する。</p> <p>1) 幹事会の開催 5回（5/29, 7/31, 10/16, 12/25, 2/20）</p> <p>2) 幹事（順不同）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅野大輔 氏（夢ふうせん 工房夢ふうせん 施設長） ・岩谷健治 氏（東京緑新会 多摩療護園 園長） ・神田耕治 氏（友遊の家 理事長） ・木下菜摘 氏（マザアス マザアス日野 施設長） ・長谷川育代氏（至誠学舎立川 万願寺保育園 園長） ・野原久代 氏（のぎく会 日野保育園 園長） ・鈴木勝豊 （日野市社会福祉協議会 会長） <p>3) 報告事項</p> <p>■暮らしの支援</p> <p>①買い物お助けサービス 毎月第2, 4土曜日午後 利用者各回6人程度</p> <p>②日野市フードパントリーへの協力 受付協力実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受付窓口（社会福祉施設等）</th> <th>利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日野市社会福祉協議会（日野事務所）</td> <td>1, 176</td> </tr> <tr> <td>日野市社会福祉協議会（高幡事務所）</td> <td>821</td> </tr> <tr> <td>東京緑新会（多摩療護園）</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>夢ふうせん（工房夢ふうせん）</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>すずかけの会（ぶらたなす⇒ふらっと・すずかけ）</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>マザアス（包括多摩川苑）</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>のぎく会（日野保育園）</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>至誠学舎立川（万願寺保育園）</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	受付窓口（社会福祉施設等）	利用件数	日野市社会福祉協議会（日野事務所）	1, 176	日野市社会福祉協議会（高幡事務所）	821	東京緑新会（多摩療護園）	127	夢ふうせん（工房夢ふうせん）	256	すずかけの会（ぶらたなす⇒ふらっと・すずかけ）	171	マザアス（包括多摩川苑）	223	のぎく会（日野保育園）	45	至誠学舎立川（万願寺保育園）	39
受付窓口（社会福祉施設等）	利用件数																		
日野市社会福祉協議会（日野事務所）	1, 176																		
日野市社会福祉協議会（高幡事務所）	821																		
東京緑新会（多摩療護園）	127																		
夢ふうせん（工房夢ふうせん）	256																		
すずかけの会（ぶらたなす⇒ふらっと・すずかけ）	171																		
マザアス（包括多摩川苑）	223																		
のぎく会（日野保育園）	45																		
至誠学舎立川（万願寺保育園）	39																		

至誠学舎立川 (至誠あずま保育園)	88
至誠学舎立川 (しせい太陽の子保育園)	110
フードバンクTAMA	405
その他 (児童館等)	4
5年度 合計	3,465
4年度 合計	2,252

都フードパントリー緊急支援事業

フードパントリーの利用件数の増加に対応しながら事業継続するため、東京都の助成事業を利用した。助成交付決定額1,440,000円

■福祉教育および福祉人材の育成・確保

①福祉人材育成研修事業への協力

ヤングケアラー支援のための特別講演会 (2/10)

②福祉のしごと相談会への協力 (10/6, 2/9)

③明星大学出張講義「地域ニーズ開発」

開催日	内容	スタッフ
10/4	1年次生を対象に、社会福祉法人施設の職員等が出張講義を行った。 ○プレゼンテーション「年齢が比較的近い施設職員や学生の移動支援従事者による日頃の業務や活動について」 ○プレゼンテーション「障害当事者による普段の生活や趣味について」 ○グループディスカッション 会場：明星大学	23人

■情報発信

①ひの社協だより「福祉のしごと魅力発信」 3回掲載 (247号～249号)

②地域共生社会を考えるシンポジウム (3/9)

※福祉教育ハートフルプロジェクト特別講演会と合同開催。

■防災・減災

日野市民でつくる防災・減災シンポジウム実行委員会へ参加 (9/23, 10/7)

■ネットワーク形成

フードドライブ

開催日	内容	参加者
1/9～ 2/9	寄贈食品 約65kg	11法人 12施設

■その他

①東京都社会福祉協議会「福祉広報 (2023年9月発行/776号)」に取組掲載

②東村山市内社会福祉法人連絡会全体研修会へ講師派遣 (2/2)

事業効果・評価
方向性等

・社会福祉法人マザアスにて人事異動、当会にて会長交代があったため、幹事2人の交代があった。
・買い物お助けサービスは、社会福祉法人友遊の家の発案により、民生委員や南平地区社会福祉協議会、地域包括支援センター等地域の関係者と連携して、毎月2回の活動を継続してきた。車両1台での小規模な活動だったが、ここで利用者が2人増えることになった。また、先行事例として市内の他地域で

	<p>の活動準備に向けた見学があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードパントリー協力施設であった社会福祉法人すずかけの会「放課後等デイサービスふらたなす」が8月末をもって事業所を閉めることになったため、10月より同法人の「ふらっと・すずかけ」が新たに協力施設として活動することになった。 ・東京都社会福祉協議会「福祉広報（2023年9月発行/776号）」における日野市内社会福祉法人ネットワークの取組掲載は、新型コロナウイルス感染症流行の最中で都内の各法人が感染対策に追われる中、ネットワークとしてフードパントリーや買い物お助けサービス等、地域に必要と思われる取り組みを継続してきたことによるものだった。 ・ネットワーク加盟法人が参加しやすい活動として、フードドライブ（食料の寄附活動）を初めて実施。手応えを得て、来年度も2回程度実施することとなった。 ・東村山市内社会福祉法人連絡会より依頼があり、フードパントリーの取り組みを中心にネットワーク活動の説明のために全体研修会へ講師派遣を行った。特に、幹事法人からの活動についての話が好評をいただいた。
内 容	<p>6. 日野市を始めとする関係委員会等への委員協力</p>
実績報告	<p>(会長)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東京都社会福祉協議会区市町村社会福祉協議会 評議員会 2. 南多摩保健所協議会 3. 社会福祉法人東京都共同募金会 評議員会 4. 社会福祉法人東京緑新会理事会 5. 社会福祉法人おおぞら 評議員会 6. 日野台高等学校 防災教育推進委員会 7. 日野台高等学校 学校運営連絡協議会 8. 普段着でCO2をへらそう実行委員会 9. 日野社会教育センター運営委員会 10. 日野市民生委員推薦会 <p>(職員)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日野市地域福祉計画推進委員会 2. 日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会 3. 日野市介護保険運営協議会等 4. 日野市生活困窮者自立支援相談事業支援調整会議 5. 日野市住宅ストック活用推進協議会 6. 日野市居住支援協議会 7. 日野市献血推進協議会 8. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 9. 日野消防署住宅防火防災対策推進協議会 10. 地域力強化推進事業 支援ネットワーク委員会 11. 日野・多摩・稲城地区保護司会 保護司候補者検討協議会 12. 日野わーく・わーく 13. 日野市障害者就業支援連絡会 14. 地域自立支援協議会 15. 障害者差別解消支援地域協議会 16. 日野市中卒後支援検討委員会 17. 日野市再犯防止推進計画検討委員会 18. 日野市ヤングケアラー支援検討会

	<p>19. 市認知症対策推進会議 20. 地域生活支援センターゆうき連絡協議会 21. 日野市営住宅管理審議会 22. 日野市障害者計画等策定委員会</p>																													
内 容	7. 会員の募集・拡充																													
実績報告	<p>財源確保のため、関係団体（日野市商工会、日野市民生委員・児童委員協議会、日野市老人クラブ連合会、自治会、日野市職員）をはじめ地域へ協力依頼を行った。</p> <p>また、福祉のつどいを開催し、地域福祉の推進に多大な貢献のあった個人・団体を対象に表彰を行った。</p> <p>1) 会費実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計金額 (件数)</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">5年度</td> <td rowspan="3">3,175,000円 (682件)</td> <td>個人 346,000円 (260件)</td> </tr> <tr> <td>特別 493,000円 (99件)</td> </tr> <tr> <td>団体 2,336,000円 (323件)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4年度</td> <td rowspan="3">3,245,600円 (704件)</td> <td>個人 368,000円 (273件)</td> </tr> <tr> <td>特別 541,000円 (105件)</td> </tr> <tr> <td>団体 2,336,600円 (326件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 寄附金実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計金額 (件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>1,355,469円 (51件)</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>1,668,602円 (48件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 第39回福祉のつどい</p> <p>地域福祉の推進に多大な貢献のあった方を対象とした表彰式。表彰にあたっては、推薦を受けた方について表彰審議委員会で審議し、承認された方を対象とした。</p> <p>①表彰式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/2</td> <td>イオンホール</td> <td>表彰状・感謝状贈呈 受賞者21人（表彰状8人、感謝状13人） 受賞者挨拶 黒田明子 氏</td> </tr> </tbody> </table> <p>②推薦団体 日野市赤十字奉仕団、朗読サークル「ひの」、社会福祉法人東京光の家 日野市老人クラブ連合会、社会福祉法人日野市社会福祉協議会</p> <p>③表彰審議委員会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/22</td> <td>推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事2人・事務局</td> </tr> </tbody> </table>		合計金額 (件数)	内訳	5年度	3,175,000円 (682件)	個人 346,000円 (260件)	特別 493,000円 (99件)	団体 2,336,000円 (323件)	4年度	3,245,600円 (704件)	個人 368,000円 (273件)	特別 541,000円 (105件)	団体 2,336,600円 (326件)		合計金額 (件数)	5年度	1,355,469円 (51件)	4年度	1,668,602円 (48件)	開催日	場所	内容	3/2	イオンホール	表彰状・感謝状贈呈 受賞者21人（表彰状8人、感謝状13人） 受賞者挨拶 黒田明子 氏	開催日	内容	1/22	推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事2人・事務局
		合計金額 (件数)	内訳																											
	5年度	3,175,000円 (682件)	個人 346,000円 (260件)																											
			特別 493,000円 (99件)																											
			団体 2,336,000円 (323件)																											
	4年度	3,245,600円 (704件)	個人 368,000円 (273件)																											
			特別 541,000円 (105件)																											
			団体 2,336,600円 (326件)																											
		合計金額 (件数)																												
	5年度	1,355,469円 (51件)																												
4年度	1,668,602円 (48件)																													
開催日	場所	内容																												
3/2	イオンホール	表彰状・感謝状贈呈 受賞者21人（表彰状8人、感謝状13人） 受賞者挨拶 黒田明子 氏																												
開催日	内容																													
1/22	推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事2人・事務局																													
事業効果・評価 方向性等	<p>・前年度と比較し会費は微減し、寄附金は件数、金額ともに大きく減少した。解散する自治会からの連絡をいただいております、従来の会員制度への影響が出てきている。</p> <p>・福祉のつどいでは、1年間にボランティアや地域活動、寄附、募金等で活躍された受賞者が集まる中で、受賞者となったリトルリーグの子ども達が子</p>																													

	どもらしい表情と凛とした姿の両方を見せてくれたことで、会場が和やかな雰囲気となった。																
内 容	8. 地域福祉活動のための自己財源や共同募金の確保																
実績報告	1) 寄附金/共同募金の募集とともに使途報告に努め、継続・拡充を図った。 2) 収益事業の健全経営に努めた。 3) ひの社協だより広告掲載企業を募集した。 4) 積立金の運用方法等を検討した。																
内 容	9. 法人管理運営																
実績報告	各種法令を遵守し、法人管理事務を行った。 ・人事・給与 ・福利厚生 (健康診断・管理) ・文書類の收受 ・事業計画・報告 ・予算管理・決算事務 (会計処理) ・その他の事務																
内 容	10. 広報活動の工夫																
実績報告	広報紙「ひの社協だより」の発行 No247 (6月25日発行) 36,500部 主な記事 日野市社会福祉協議会会員募集、夏の体験ボランティア等 No248 (10月29日発行) 36,500部 主な記事 歳末たすけあいバザー、赤い羽根共同募金報告等 No249 (2月4日発行) 36,500部 主な記事 ひのしみん交流コンサート 福祉教育ハートフルプロジェクト特別講演会等																
事業効果・評価 方向性等	・「ひの社協だより」は主に新聞折込にて配布を行っているが、昨年度に比べ新聞を購読している世帯が大幅に減少し発行部数が3,500部減少した。紙媒体の効果的な配布方法の検討が必要であると感じている。																
内 容	11. 事務局体制の整備・職員の資質向上																
実績報告	1) 職員会議 12回 2) 南多摩ブロック職員の間 研修への参加 ※東京都社会福祉協議会等が主催する研修への参加状況は、事業毎に報告。																
事業効果・評価 方向性等	・職員会議では、各係が持ち回りで担当事業を他係職員に対しプレゼンする試みをした。他系の業務を学ぶ機会及び担当業務の振り返りに繋がった。																
内 容	12. 部会活動																
実績報告	1) 障害者施設職員交流会部会 障害者施設職員間の交流および知識・スキルの向上を目的とした交流会を原則月1回開催した。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/21</td> <td>情報交換 ・今後の開催方法等のアンケートについて</td> <td>web</td> </tr> <tr> <td>5/19</td> <td>情報交換 ・今後の開催方法等のアンケートについて ・フードパントリーの取り組みについて</td> <td>web</td> </tr> <tr> <td>6/16</td> <td rowspan="2">近況報告を中心とした情報交換</td> <td rowspan="2">中央福祉センター</td> </tr> <tr> <td>7/28</td> </tr> <tr> <td>9/15</td> <td>近況報告を中心とした情報交換 事業所の事業紹介 ・社会福祉法人すずかけの会「すずかけの家」</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	会場	4/21	情報交換 ・今後の開催方法等のアンケートについて	web	5/19	情報交換 ・今後の開催方法等のアンケートについて ・フードパントリーの取り組みについて	web	6/16	近況報告を中心とした情報交換	中央福祉センター	7/28	9/15	近況報告を中心とした情報交換 事業所の事業紹介 ・社会福祉法人すずかけの会「すずかけの家」	
	開催日	内容	会場														
	4/21	情報交換 ・今後の開催方法等のアンケートについて	web														
	5/19	情報交換 ・今後の開催方法等のアンケートについて ・フードパントリーの取り組みについて	web														
6/16	近況報告を中心とした情報交換	中央福祉センター															
7/28																	
9/15	近況報告を中心とした情報交換 事業所の事業紹介 ・社会福祉法人すずかけの会「すずかけの家」																

		の事業紹介（次回以降に持ち越し）	
	11/10	近況報告を中心とした情報交換	中央福祉センター
	12/10	歳末たすけあいバザー出店（焼き鳥）	
	1/19	近況報告を中心とした情報交換 次回以降の開催について（施設見学の検討）	中央福祉センター
	2/16	事務局の都合により中止	
	3/22	近況報告を中心とした情報交換 施設（すずかけの家見学）	すずかけの家
	2) 児童部会 活動なし		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より Zoom ではなく対面で行うことができたことで、参加事業所が増えた。 ・中央福祉センターで開催することでフードパントリー事業を紹介でき、各施設のイベント等でフードパントリーを利用していただき、ご利用者の方にとっても喜んでいただけた。 ・各障害者施設での新型コロナウイルス感染症の感染者数が落ち着いてきたこともあり、施設見学を行うことができた。参加事業所を更に増やすことで、様々な施設を見学できるよう検討していく。 		

公益事業拠点区分

福祉センター管理事業

事業名	日野市立中央福祉センターの管理運営																	
事業形態	指定管理者制度（令和4年4月1日～令和9年3月31日）																	
財源内訳	受託金（指定管理料）																	
担当係	総務係																	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																	
目的	各種福祉団体の連絡・調整を行い、社会福祉の啓発や市民の健康増進を通じて地域福祉の推進を図るとともに、利用者が安全に利用できるよう施設運営に努める。																	
実績報告	<p>1) 施設概要 開館日 火曜日～日曜日 ※こどもの日、敬老の日を除く祝日は休館</p> <p>2) 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">利用者</th> </tr> <tr> <th>開館日数</th> <th>利用団体数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>301日</td> <td>2,494団体</td> <td>32,272人</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>298日</td> <td>2,318団体</td> <td>27,717人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 施設管理に関わる保守委託業務 ①館内清掃 ②空調設備 ③自動扉 ④階段昇降機 ⑤消防用設備 ⑥夜間警備</p>				利用者			開館日数	利用団体数	利用者数	5年度	301日	2,494団体	32,272人	4年度	298日	2,318団体	27,717人
	利用者																	
	開館日数	利用団体数	利用者数															
5年度	301日	2,494団体	32,272人															
4年度	298日	2,318団体	27,717人															
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、第5類感染症となり、利用団体数、利用者数とも令和4年度に比べ増加した。 ・利用団体数は7.5%増、利用人数は16.4%の増となっている。 																	
内容	2. 管理内容の報告、今後について協議																	
実績報告	<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水発生機に関連するファンコイルユニットの不具合については、市と協議し、市の負担で故障機器の撤去、新しい機器の設置を行った。 ・長期間使用中止としていたヘルストロンについても、市の方針により撤去となった。 																	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・階段昇降機については、部品の経年劣化による不具合発生の可能性を保守点検業者から指摘されているが、部品によっては製造中止となっており、設備の入替等について市と協議を進める必要がある。 																	

収益事業拠点区分

事業名	自動販売機設置等管理事業																			
事業形態	収益事業																			
財源内訳	手数料、利用料																			
担当係	総務係																			
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																			
目的	公共施設の自動販売機の設置や中央福祉センター内の印刷機等を貸し出しする等、施設の利便性の向上を図り社会福祉事業における財源確保に努める。																			
内容	1. 自主財源の確保																			
実績報告	<p>1) 自動販売機の設置</p> <p>①実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>台数</th> <th>ロケマージン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>23台</td> <td>5,202,710円</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>26台</td> <td>5,080,878円</td> </tr> </tbody> </table> <p>②設置場所 14ヶ所 (23台数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野市役所1階 (5) ・クリーンセンター(2) ・福祉支援センター(1) ・中央福祉センター(2) ・生活・保健センター(1) ・ひの煉瓦ホール(3) ・中央公民館 (1) ・教育センター(1) ・勤労・青年会館(1) ・新選組のふるさと歴史館(2) ・PlanT (多摩平の森産業連携センター) (1) ・プラスチック類資源化施設 (1) ・石田環境プラザ (1) ・日野市発達・教育支援センター「エール」 (1) <p>2) 印刷機等の貸出実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>利用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>58件</td> <td>81,622円</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>59件</td> <td>77,651円</td> </tr> </tbody> </table>			台数	ロケマージン	5年度	23台	5,202,710円	4年度	26台	5,080,878円		件数	利用料	5年度	58件	81,622円	4年度	59件	77,651円
	台数	ロケマージン																		
5年度	23台	5,202,710円																		
4年度	26台	5,080,878円																		
	件数	利用料																		
5年度	58件	81,622円																		
4年度	59件	77,651円																		
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全体で見ると公共施設の利用者数が増えているという情報もあり、それを受けて自販機の利用も増えたと考えられる。 ・ここ数年の経緯としては、公共施設の統廃合や建て替え等を機に自販機の設置場所が減ってきているため、設置の協力を市や福祉施設等に呼び掛けている。 																			
内容	2. 共同募金運動への協力																			
実績報告	<p>手数料の一部を赤い羽根共同募金とし、地域の福祉施設・事業者への支援を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>台数</th> <th>ロケマージン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>18台</td> <td>414,577円</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>18台</td> <td>416,649円</td> </tr> </tbody> </table>			台数	ロケマージン	5年度	18台	414,577円	4年度	18台	416,649円									
	台数	ロケマージン																		
5年度	18台	414,577円																		
4年度	18台	416,649円																		

事業名	日野市役所内売店の運営		
事業形態	収益事業		
財源内訳	売上金、繰越金		
担当係	総務係・日野市役所内売店		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	日野市役所内売店を運営し、市役所の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。		
内容	1. 健全な経営・感染防止策の徹底		
実績	1) 営業日時 月～金曜日 (9:30～15:30) ※祝日・年末年始を除く		
	2) 従業員 管理責任者1人、補助職員3人		
	3) 実績		
		売上	商品残高
	5年度	21,089,609円	1,913,570円
	4年度	21,467,851円	2,208,737円
内容	2. 障害者の社会参加の促進		
実績	品出し・販売業務補助委託 (週2回) 社福) 日野青い鳥福祉会 訓練生1人		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者の勤務体系の変更があり、新たにパートタイム職員1人を採用した。 ・インボイス制度の施行猶予期間の満了に伴い、売店のレシートや領収書等の必要書類を変更した。 ・バーコードを読み取るためのハンディ機器が故障したため、11月に入替を行った。 ・売上は、Paypay キャンペーン開催時には上がったものの、年間を通じては前年比98.2%となった。直近10年間でのピークである平成28年度(2016年度)との比較では、87.9%と厳しい状況。 		

共同募金運動

赤い羽根共同募金運動

事業名	東京都共同募金会 日野地区協力会（募金業務）		
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）		
財源内訳	地区協力会事務費		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	東京都共同募金会日野地区協力会事務局として、日野地区における赤い羽根共同募金運動の普及・啓発に努め、社会福祉施設が行う事業の助成金として活用し、東京都ならびに日野市の社会福祉事業の推進を図る。		
内容	1. 多様な方法による募金の普及・拡大		
実績報告	東京都共同募金会日野地区協力会として、日野地区における赤い羽根共同募金運動（10/1～12/28）を展開し、市民へ協力を呼びかけた。		
	1) 募金実績		
		募金額	内訳
	5年度	1,849,025円	地区募金 814,517円 街頭募金 619,931円 自動販売機 414,577円
	4年度	1,915,631円	地区募金 881,209円 街頭募金 617,773円 自動販売機 416,649円
	2) 街頭募金活動（順不同）		
	①実施期間 10/1（日）から11/30（木）まで 9日間		
	②実施場所 豊田駅・日野駅・高幡不動駅・多摩動物公園 イオンモール多摩平の森・万願寺グラウンド 産業まつり会場		
	③募金活動ボランティア（団体6団体/個人） 日野市赤十字奉仕団・日本ボーイスカウト東京連盟日野第4団 日野市少年軟式野球連盟・東京日野リトルリーグ 10代と社会をつなぐプロジェクト・日野第一中学校ボランティア部 森悠人・赤羽美幸・有志		
	3) 関係部署窓口において募金受付 日野市福祉政策課、七生支所		
事業効果・評価 方向性等	・昨年度に引き続き大規模な街頭募金活動を実施することができたが、募金額としてはコロナ禍前の水準には程遠く、新たな手法での募金活動を検討する必要がある。		
内容	2. 広報啓発活動		
実績報告	自治会向けに日野地区協力会独自のチラシを作成し、昨年度の募金実績を報告するとともに、今年度の協力依頼をはかった。		

事業名	東京都共同募金会 日野地区配分推せん委員会（配分業務）		
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）		
財源内訳	地区配分推せん委員会事務費		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	東京都共同募金会日野地区配分推せん委員会事務局として、日野市内における社会福祉施設からの「助成金の受付」ならび「申請内容の審査・検討」を行い、東京都共同募金会へ推せん・意見書の交付を行う。		
内容	1. 審査・推せん（意見書の交付・推せん）及び配分		
実績報告	<p>1) 日野地区配分推せん委員会 委員構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野市社会福祉協議会 理事 ・日野市赤十字奉仕団 ・市内自治会（市民） ・日野市民生児童委員協議会 ・日野市ボランティア・センター ・大学ボランティアセンター ・日野市内社会福祉法人ネットワーク ・地域包括支援センター（以下、包括） ・日野市障害福祉課 <p>2) 委員会の開催 3回（9/7, 12/20, 1/25）</p> <p>3) 意見書の交付 なし</p> <p>4) 推せん 10団体・施設 1,240,000円 順位を付け東京都共同募金会へ推せんした。</p>		
	法人名（施設名）	申請内容	推せん金額
	NPO 法人あるく・自律を目指す会 つきのおあしす	ヨガと気功・バスケット ボール活動	180,000円
	NPO 法人在宅福祉サービスウイズ ケアホームともにこ	掃除機の購入	60,000円
	社会福祉法人東京と手をつなぐ育成会 まむ高幡	壁掛液晶テレビの購入	50,000円
	社会福祉法人東京と手をつなぐ育成会 おーく高幡	食器洗い乾燥機の購入	70,000円
	社会福祉法人マザアス マザアス日野	車椅子の購入	140,000円
	NPO 法人やまぼうし スローワールドおちかわ屋	焼き菓子製造用厨房機器 の購入	90,000円
	金子ベビーホーム	乳児用靴箱の購入	70,000円
	社会福祉法人清心福祉会 わらべ日野市役所東保育園	園児用絵本・紙芝居及び 玩具等一式の購入	120,000円
	NPO 法人タイセン ISAMI	災害時用発電機の購入	190,000円
	NPO 法人ゆめのめ 日野坂 CANPAS	シャワー用ストレッチャー と移乗マットの購入	270,000円

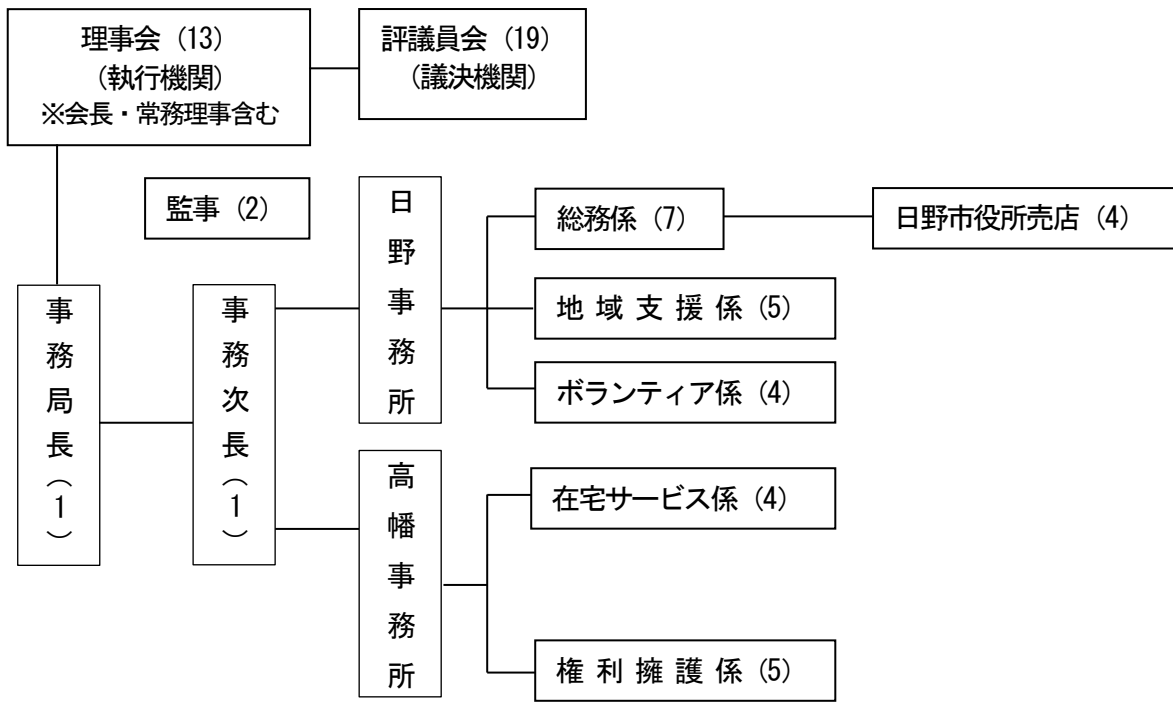
事業効果・評価 方向性等	・日野地区配分推せん委員会では、昨年度の赤い羽根共同募金運動の取り 組みや今年度の地域配分要綱の確認、二次募集の考え方の整理を行いなが ら推薦額を決定した。
内 容	2. 助成内容の調査・確認
実績報告	・配分金が正しく使われているか等の確認のための施設見学会は、コロナ 禍となり4年間実施できていない。6年度は実施できるよう施設と調整を 図っていきたい。

歳末たすけあい募金運動

事業名	歳末たすけあい運動の実施														
事業形態	歳末たすけあい運動（共同募金運動）														
財源内訳	歳末たすけあい配分金、事務費														
担当係	総務係														
地域福祉活動計画に おける視点	ともにそだつ														
目 的	日野地区における歳末たすけあい運動の実施主体（主催：東京都共同募金 会・主唱：東京都社会福祉協議会）として、運動の普及・啓発に努め、日 野市の地域福祉の推進を図る。														
内 容	1. 歳末たすけあい運動の普及・拡大														
実績報告	共同募金運動の一つとして、東京都共同募金会の主催のもと、日野地区 における『歳末たすけあい運動』を展開した。														
	1) 運動期間 12/1～12/28														
	2) 募金実績														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>募金額</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">5年度</td> <td rowspan="3">2,739,274円</td> <td>戸別募金 1,232,736円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金 0円</td> </tr> <tr> <td>バザー募金 1,506,538円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4年度</td> <td rowspan="3">2,671,102円</td> <td>戸別募金 1,457,716円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金 0円</td> </tr> <tr> <td>バザー募金 1,213,386円</td> </tr> </tbody> </table>		募金額	内訳	5年度	2,739,274円	戸別募金 1,232,736円	街頭募金 0円	バザー募金 1,506,538円	4年度	2,671,102円	戸別募金 1,457,716円	街頭募金 0円	バザー募金 1,213,386円
	募金額	内訳													
5年度	2,739,274円	戸別募金 1,232,736円													
		街頭募金 0円													
		バザー募金 1,506,538円													
4年度	2,671,102円	戸別募金 1,457,716円													
		街頭募金 0円													
		バザー募金 1,213,386円													
内 容	2. 歳末たすけあいバザー														
実績報告	歳末たすけあい運動の普及啓発と市民の交流の場とすることを目的に開催 した。収益は全額歳末たすけあい募金とした。														
	1) 担当者会議の開催 2回（9/21,1/26） 共催団体である日野市民生委員・児童委員協議会及び日野市赤十字奉仕団 の担当者とバザーの企画と実施後の振り返りについて協議した。														
	2) バザー 【日時】 12/10（日）10時～14時 【共催】 日野市民生委員・児童委員協議会、日野市赤十字奉仕団 【協力】 特非）めぐみ、ひのたま会、社福）東京光の家、特非）あいあむ 社福）日野青い鳥福祉会 あおいとり日野、花みずき、個人 【協賛】 サントリービバレッジソリューション(株)、西都ヤクルト販売(株)														

	(株)伊藤園、東京キリンビバレッジサービス(株)、(株)アペックス アサヒ飲料販売(株)、森永牛乳日野販売店、バスターフラッシュ
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・会員会費や赤い羽根共同募金と同様に、個人や自治会、企業等からの戸別募金が減少した一方、バザーの収益が増えたため、募金額全体としては増額となった。 ・日野市民生委員・児童委員協議会の中で昨年度の振り返りの引き継ぎがしっかりと行われており、円滑なバザー運営につながった。 ・コロナ禍に誕生したヒーロー「バスターフラッシュ」と「ゲンキダーJ(ジェイ)」に初登場してもらったことで、会場が大いに賑わった。 ・街頭募金は、小学生や中学生による活動を予定していたが、今年度は希望が無かった。

日野市社会福祉協議会組織図 ※（ ）内は人数。



職員人数 31人